

刈屋口公営住宅改築工事（3工区）

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-1	特記仕様書（木造）1	A-19	平面詳細図	E-1	特記仕様書
A-2	特記仕様書（木造）2	A-20	展開図1	E-2	分電盤リスト・弱電系統図
A-3	特記仕様書（木造）3	A-21	展開図2	E-3	照明器具姿図
A-4	特記仕様書（木造）4	A-22	天井伏図	E-4	電気設備図
A-5	特記仕様書（木造）5	A-23	建具表 1		
A-6	特記仕様書（木造）6	A-24	建具表 2		
A-7	特記仕様書（木造）7	A-25	採光補正係数	M-1	特記仕様書
A-8	特記仕様書（木造）8			M-2	器具表
A-9	特記仕様書（木造）9			M-3	柵表・勾配図
A-10	仕上表			M-4	機械設備配置図
A-11	全体配置図 付近見取図	S-1	構造特記仕様書（木造）1	M-5	機械設備平面図
A-12	配置図	S-2	構造特記仕様書（木造）2	M-6	換気設備 機器表・計算書
A-13	敷地丈量図	S-3	構造特記仕様書（木造）3	M-7	換気設備 平面図
A-14	平面図	S-4	基礎伏図		
A-15	立面図	S-5	木構造伏図		
A-16	断面図・建物丈量図	S-6	軸組図1		
A-17	矩計図	S-7	軸組図2		
A-18	部分詳細図	S-8	金物 平面図		



有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所23(1)1191号
 一級建築士第257054号 竹中 哲成

担当

工事名称

刈屋口公営住宅改築工事（3工区）

日付
令和7年度


製図


図面名称


表紙


縮尺

図番

仕 様 書		章		特 記 事 項		1 一般共通事項																																				
<p>I. 工事概要</p> <p>1. 工事名称 : 刈屋口公営住宅整備工事（3工区）</p> <p>2. 工事場所 : 広島県庄原市三日市町 496番地1</p> <p>3. 敷地面積 : 201.11 m²</p> <p>4. 構造規模 : 木造在来軸組工法 平屋長屋建 建築面積 105.58 m²/棟 延床面積 91.92 m²/棟</p> <p>5. 工事種目 : 長屋住宅新築 各戸物置新設 敷地構内舗装駐車場区画 外灯工事 ゴミ置場新設</p> <p>6. 別途工事 : 居室照明器具・TV電話機器類</p> <p>7. 調査協力について 本工事は工事中及び竣工後、次の調査を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。 （1）公共事業労務費調査…工事中に実施（調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等） （2）契約不適合調査…建設工事請負契約約款第46条の5に定める期間内 （3）公共建築物木材利用事例調査票…工事中に実施（調査票等の記入提出、発注者の調査実施への協力等）</p> <p>8. 公衆災害防止措置 （1）工事に際し工事関係者以外の第三者の生命・身体及び財産の危害並びに迷惑を防止するために必要な措置を執ること。 （2）上記について、「建設工事公衆災害防止対策要綱（平成5年1月12日付け建設事務次官通達）」に基づき実施すること。 （3）掘削作業前には、必ず既存の設備図面や施設の改修履歴等を確認し、配線・配管の有無を確認すること。また、掘削作業時は、必要に応じて、設備業者に立会を依頼すること。</p> <p>9. 現状復旧 工事に際し隣接建築物等に損傷を与えた場合は、速やかに現状復旧を行うこと。</p> <p>10. 主要資材 （1）この工事の施工に際し、やむを得ず工事の一部（主体的部分を除く）を第三者に請負わせようとする場合は、原則として広島県内に主たる営業所・本店を有する業者に発注するものとする。 （2）主要資材を購入しようとする場合は、極力広島県内に営業所・本店を有する業者に発注するものとし、予め購入先の名称所在地及び資材名等を発注者に通知するものとする。 （3）当該工事に使用する砂については、海砂（県外産を含む）を使用しないこと。</p>		<p>0 法規制</p> <p>① 敷地の位置 ○都市計画区域内（・市街化区域 ・市街化調整区域 ○指定なし） 用途地域（ 第一種住居地域 ） ・都市計画区域外 防火地域 ・防火 ・準防火 ○指定無し その他の区域、地域、地区、街区（ 法22条指定区域 ）</p>		<p>1 一般共通事項</p> <p>1 適用基準等 ※フラット35対応 木造住宅工事仕様書（最新版）住宅金融支援機構監修 ※日本住宅性能表示基準（最新）国土交通省 ※建築工事標準詳細図（最新版）国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（以下「標準詳細図」という） ※建設工事公衆災害防止対策要綱 ※建築工事安全施工技術指針 ※建設副産物適正処理実施要領（広島県土木局制定） ※再生資源利用促進実施要領（広島県土木局制定） ※県産木材の利用の促進に関する指針 ※庄原市公営住宅整備基準 住宅性能表示制度の評価項目 7項目 構造安定：等級1 劣化軽減：等級2 維持管理：等級2 音環境：等級2 温熱環境：等級4又は3 空気環境：等級3 高齢者配慮：等級3</p> <p>2 工事実績情報の登録 <1. 1. 4></p> <p>3 電気保安技術者 <1. 3. 3></p> <p>4 発生材の処理等 <1. 3. 8></p>		<p>6 材料の品質等 <1. 4. 2></p>		<p>1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びブチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する</p> <p>2) 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する</p> <p>3) 接着剤は、可塑剤（フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含む可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する</p> <p>4) 1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びブチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。 ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 ①建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ②建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 ホルムアルデヒド放散量 第三種 ①建築基準法施行令第20条の第7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料 ②建築基準法施行令第20条の第7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）に基づき制定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。</p> <p>材料・機材等の品質及び性能 1) 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする 2) 本工事に使用する材料のうち、3)に指定する材料の製造業者等は、次の(1)～(6)の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し）を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない (1)品質及び性能に関する試験データが整備していること (2)生産施設及び品質の管理が適切に行っていること (3)安定的な供給が可能であること (4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること (5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること (6)販売、保守等の営業体制が整えていること 3) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料</p> <table border="1"> <tr> <td>無収縮グラウト材</td> <td>防水剤</td> <td>現場発泡断熱材</td> </tr> <tr> <td>既成調合モルタル</td> <td>吸水調整材</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製建具</td> <td>鋼製建具</td> <td>天井点検口</td> </tr> <tr> <td>鋼製軽量建具</td> <td>ステンレス製建具</td> <td>グレーチング</td> </tr> <tr> <td>既製木製室内建具</td> <td>既製室内家具</td> <td>エポキシ樹脂</td> </tr> <tr> <td>錠前類</td> <td>クローザ類</td> <td>既成調合目地材</td> </tr> <tr> <td>自動扉機構</td> <td>自閉式上吊り引戸機構</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		無収縮グラウト材	防水剤	現場発泡断熱材	既成調合モルタル	吸水調整材		アルミニウム製建具	鋼製建具	天井点検口	鋼製軽量建具	ステンレス製建具	グレーチング	既製木製室内建具	既製室内家具	エポキシ樹脂	錠前類	クローザ類	既成調合目地材	自動扉機構	自閉式上吊り引戸機構													
無収縮グラウト材	防水剤	現場発泡断熱材																																								
既成調合モルタル	吸水調整材																																									
アルミニウム製建具	鋼製建具	天井点検口																																								
鋼製軽量建具	ステンレス製建具	グレーチング																																								
既製木製室内建具	既製室内家具	エポキシ樹脂																																								
錠前類	クローザ類	既成調合目地材																																								
自動扉機構	自閉式上吊り引戸機構																																									
		<p>5 環境への配慮 <1. 4. 1></p>		<p>化学物質を放散させる建築材料等 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の1)から4)を満たすものとする</p>																																						
		 <p>有限会社 谷口設計事務所 一級建築士事務所23(1)1191号 一級建築士第257054号 竹中 哲成</p>		担当	<p>工事名称 刈屋口公営住宅改築工事（3工区）</p>		日付	令和7年度																																		
		製図	<p>図面名称 特記仕様書（木造）1</p>		縮尺	<p>A3版標準スケールとする。 1/1</p>		図番	A-1																																	

章	項目	特記事項	1 一般共通事項	1 一般共通事項	1 一般共通事項	1 一般共通事項	1 一般共通事項																																																																																																																						
1 一般共通事項	7 技能士 <1. 5. 2>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>工事種目</th> <th>技能検定職種</th> <th>技能検定作業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート工事</td> <td>型枠施工</td> <td>型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">防水工事</td> <td rowspan="7">防水施工</td> <td>アスファルト防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>ウレタンゴム系塗膜防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>アクリルゴム系塗膜防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>合成ゴム系シート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>塩化ビニル系シート防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>セメント系防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>シーリング防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石材施工</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>タイル工事</td> <td>タイル張り</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>建築大工</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">屋根及び とい工事</td> <td>建築板金</td> <td>内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>スレート施工</td> <td>スレート工事作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">金属工事</td> <td>内装仕上施工</td> <td>鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td>建築板金</td> <td>内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>左官工事</td> <td>左官</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">建具工事</td> <td rowspan="4">サッシ施工</td> <td>ビル用サッシ施工作業</td> </tr> <tr> <td>ガラス施工</td> <td>ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>自動ドア施工</td> <td>自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td>ガラス用フィルム施工</td> <td>建築フィルム作業</td> </tr> <tr> <td>塗装工事</td> <td>塗装</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">内装工事</td> <td rowspan="2">内装仕上施工</td> <td>プラスチック系床仕上工事作業</td> </tr> <tr> <td>カーペット系床仕上作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ボード仕上げ工事作業</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>表装</td> <td>壁装作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配管</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面表示施工</td> <td>溶解ペイントハンドマーカ－工事作業 加熱ペイントマシンマーカ－工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園</td> <td>造園工事作業</td> </tr> </tbody> </table> <p>※技能士に関しては、積極的な活用を図ること。</p>	工事種目	技能検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工	型枠工事作業	コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事作業	防水工事	防水施工	アスファルト防水工事作業	ウレタンゴム系塗膜防水工事作業	アクリルゴム系塗膜防水工事作業	合成ゴム系シート防水工事作業	塩化ビニル系シート防水工事作業	セメント系防水工事作業	シーリング防水工事作業	改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業	FRP防水工事作業	石工事	石材施工	石張り作業	タイル工事	タイル張り	タイル張り作業	木工事	建築大工	大工工事作業	屋根及び とい工事	建築板金	内外装板金作業	スレート施工	スレート工事作業	金属工事	内装仕上施工	鋼製下地工事作業	建築板金	内外装板金作業	左官工事	左官	左官作業	建具工事	サッシ施工	ビル用サッシ施工作業	ガラス施工	ガラス工事作業	自動ドア施工	自動ドア施工作業	ガラス用フィルム施工	建築フィルム作業	塗装工事	塗装	建築塗装作業	内装工事	内装仕上施工	プラスチック系床仕上工事作業	カーペット系床仕上作業		ボード仕上げ工事作業			表装	壁装作業	排水工事	配管	建築配管作業	舗装工事	路面表示施工	溶解ペイントハンドマーカ－工事作業 加熱ペイントマシンマーカ－工事作業	植栽工事	造園	造園工事作業	1 一般共通事項	<p>③測定</p> <p>イ ②の状態のまま測定する</p> <p>ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。</p> <p>なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する</p> <p>ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする</p> <p>④分析</p> <p>測定対象化学物質を採取したバツシブ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する</p> <p>⑤その他</p> <p>監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受けること</p> <p>2) 木材の防腐・防蟻処理剤は、クロルピリホス、ダイアノジン及びフェノカルブを含有しない薬剤とし、加圧式防腐・防蟻処理等は工場で行い十分乾燥させた後現場に搬入する</p> <p>3) 保温材、断熱材、緩衝材については、ホルムアルデヒドを発生しない☆☆☆☆等級のものとするか発散が極めて少ないF</p> <p>4) 塗料、壁紙、仕上塗材、合板、接着剤等で屋内に面するものについては、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のものとする</p> <p>5) 屋内に面して用いる材料は、上記2)～4)に適合した上で、揮発性有機化合物の発散が無い若しくは極めて少ないものを選択するように努め、1)の規定を満たすこと</p>	1 一般共通事項	<p>⑩ 完成時の提出図書 <1. 7. 1～3></p> <p>※提出を要する 完成図書：2部 <表1. 7. 1></p> <p>竣工図の種類(※全て・)</p> <p>作成方法 CAD (CADデータの提出(※要・不要))</p> <p>原因 . ※普通紙 . 不要</p> <p>竣工図 二つ折製本 (・ A1版 部 ・ A2版 部 ⊙ A3版 3部)</p> <p>竣工図は原則として原因にて修正を行い、施工図・保全に関する資料が必要なものの提出は監督職員の指示による</p> <p>なお、12 電子納品で対象工事である場合は、加えて電子成果品を 2部提出すること</p> <p>⊙型式台帳</p> <p>型式台帳は、監督職員が指定する様式で作成する。建物で使用する部材、機器を記入し提出すること。 3 部</p> <p>12 電子納品</p> <p>※電子納品対象工事とする</p> <p>電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終結果を電子データで納品すること」をいう。ここでいう電子データとは、「営繕工事電子納品要領(以下、要領という)」に基づいて作成されたものを指す</p> <p>成果品については、「要領」に基づいて作成した電子成果品を電子媒体で提出する。「要領」で特に記載がない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督職員と協議の上、電子化の是非を決定するまた、成果品提出の際には、ウイルス対策を実施したうえで提出すること</p> <p>12 工事中情報共有システム</p> <p>(1) 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムは未対象である。</p> <p>庄原市請負契約の記載がある場合それに準ずる。</p> <p>⑬ 施工図及び施工計画書 <1. 7. 2></p> <p>⑭ 設備工事との取り合い</p> <p>(施工範囲)</p> <p>※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔</p> <p>※図示した壁、天井の仕上げ材、下地材切り込み及び下地補強</p> <p>※自動閉鎖装置設置箇所の切り込み及び補強</p> <p>⑮ 施工中の安全確保</p> <p>⊙同一場所で別契約の関連工事が行われる場合は、労働安全衛生法第30条第2項に基づき、当該工事について、同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する</p> <p>⊙労働安全衛生法第15条に基づく統括安全衛生責任者を選任したときは、本契約後直ちに「統括安全衛生責任者選任届出書」(任意様式)を提出すること</p> <p>⑯ 工程報告</p> <p>市指定様式による期間別工事工程報告書を毎月指定回数3部提出すること</p> <p>⑰ 保証書</p> <p>次の工事について保証書を提出すること</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事区分</th> <th>材料名</th> <th>保証年限</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">防水工事</td> <td>・FRP防水・アスファルト防水(改質含む)</td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・合成高分子ルーフィング防水</td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・塗膜防水</td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">屋根工事</td> <td>⊙長尺金属板葺き</td> <td>10年</td> <td>漏水の場合等</td> </tr> <tr> <td>・折板葺き</td> <td>年</td> <td>漏水の場合等</td> </tr> <tr> <td>・瓦葺き 瓦材料</td> <td>年</td> <td>耐風・漏水等</td> </tr> <tr> <td>防錆工事</td> <td></td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊床工事</td> <td>・フローリング及び塗装</td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>・活着</td> <td>年</td> <td>枯死の場合</td> </tr> <tr> <td>防蟻処理</td> <td></td> <td>5年</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	工事区分	材料名	保証年限	備考	防水工事	・FRP防水・アスファルト防水(改質含む)	年		・合成高分子ルーフィング防水	年		・塗膜防水	年		屋根工事	⊙長尺金属板葺き	10年	漏水の場合等	・折板葺き	年	漏水の場合等	・瓦葺き 瓦材料	年	耐風・漏水等	防錆工事		年		特殊床工事	・フローリング及び塗装	年		植栽工事	・活着	年	枯死の場合	防蟻処理		5年		9 工事写真等
	工事種目	技能検定職種	技能検定作業																																																																																																																										
仮設工事	とび	とび作業																																																																																																																											
鉄筋工事	鉄筋施工	鉄筋組立作業																																																																																																																											
コンクリート工事	型枠施工	型枠工事作業																																																																																																																											
	コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事作業																																																																																																																											
防水工事	防水施工	アスファルト防水工事作業																																																																																																																											
		ウレタンゴム系塗膜防水工事作業																																																																																																																											
		アクリルゴム系塗膜防水工事作業																																																																																																																											
		合成ゴム系シート防水工事作業																																																																																																																											
		塩化ビニル系シート防水工事作業																																																																																																																											
		セメント系防水工事作業																																																																																																																											
		シーリング防水工事作業																																																																																																																											
改質アスファルトシートトーチ工法防水工事作業																																																																																																																													
FRP防水工事作業																																																																																																																													
石工事	石材施工	石張り作業																																																																																																																											
タイル工事	タイル張り	タイル張り作業																																																																																																																											
木工事	建築大工	大工工事作業																																																																																																																											
屋根及び とい工事	建築板金	内外装板金作業																																																																																																																											
	スレート施工	スレート工事作業																																																																																																																											
金属工事	内装仕上施工	鋼製下地工事作業																																																																																																																											
	建築板金	内外装板金作業																																																																																																																											
左官工事	左官	左官作業																																																																																																																											
建具工事	サッシ施工	ビル用サッシ施工作業																																																																																																																											
		ガラス施工	ガラス工事作業																																																																																																																										
		自動ドア施工	自動ドア施工作業																																																																																																																										
		ガラス用フィルム施工	建築フィルム作業																																																																																																																										
塗装工事	塗装	建築塗装作業																																																																																																																											
内装工事	内装仕上施工	プラスチック系床仕上工事作業																																																																																																																											
		カーペット系床仕上作業																																																																																																																											
	ボード仕上げ工事作業																																																																																																																												
	表装	壁装作業																																																																																																																											
排水工事	配管	建築配管作業																																																																																																																											
舗装工事	路面表示施工	溶解ペイントハンドマーカ－工事作業 加熱ペイントマシンマーカ－工事作業																																																																																																																											
植栽工事	造園	造園工事作業																																																																																																																											
工事区分	材料名	保証年限	備考																																																																																																																										
防水工事	・FRP防水・アスファルト防水(改質含む)	年																																																																																																																											
	・合成高分子ルーフィング防水	年																																																																																																																											
	・塗膜防水	年																																																																																																																											
屋根工事	⊙長尺金属板葺き	10年	漏水の場合等																																																																																																																										
	・折板葺き	年	漏水の場合等																																																																																																																										
	・瓦葺き 瓦材料	年	耐風・漏水等																																																																																																																										
防錆工事		年																																																																																																																											
特殊床工事	・フローリング及び塗装	年																																																																																																																											
植栽工事	・活着	年	枯死の場合																																																																																																																										
防蟻処理		5年																																																																																																																											
8 化学物質の濃度測定 <1. 5. 10>	<p>測定対象室及び測定箇所数は図示による。</p> <p>1) 図示した室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告するバツシブ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。</p> <p>①30分間換気</p> <p>測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する</p> <p>②5時間閉鎖</p> <p>①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする</p>	1 一般共通事項	1 一般共通事項	1 一般共通事項	1 一般共通事項	1 一般共通事項	1 一般共通事項																																																																																																																						
 <p>有限会社 谷口設計事務所</p> <p>一級建築士事務所23(1)1191号</p> <p>一級建築士第257054号 竹中 哲成</p>			担当	工事名称	日付	<p>川屋口公営住宅改築工事(3工区)</p> <p>令和7年</p>																																																																																																																							
			製図	図面名称	図番	<p>特記仕様書(木造)2</p> <p>縮尺 A3版標準スケールとする。 1/1</p> <p>A-2</p>																																																																																																																							

章	項目	特記事項	3	2	建設発生土の処理	※ 現場説明書の施工条件明示による	<3.2.5>	10	4	木材の防虫処理	施工箇所	○ 図示	<10.3.2>
1 一般共通事項	19 設計GL	※図示による ()	土・地業・基礎工事	3 砂利・砂	公共建築工事標準仕様書（建築工事編）4章による。	鋼杭の材料 (4.4.3) ○SKK400 ・SKK490 () 寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5) ○φ114.3mm 肉厚4.5mm 羽根径300mm 羽根厚9mm 定尺4m 材 料 (4.6.2) ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・意匠図による 範 囲 (4.6.5) ○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） ・意匠図による	6 和室の造作	5 外壁通気構法下地	積雪地の場合の地下補強 <10.8.2>	施工箇所	○ 図示	<10.3.2>	
	20 耐荷重及び耐外力	外壁ALCパネル工事、外壁押出成形セメント板工事、合成高分子系ルーフィングシート防水工事（機械的固定工法）、外壁石取付け（乾式工法）工事、屋根葺き（長尺金属板、折板、粘土瓦）工事、アルミニウム製笠木工事、ガラスブロック積み工事において、施工計画書により工法を定める際の、建築基準法に基づき定まる風圧力算定のための風速(Vo)、区分等は次のとおりとする 基準風速 Vo = 30 m/s 地表面粗度区分 ・I ・II ○III ・IV 積雪区分 建設省告示第1455号 別表（33）		4 鋼杭地業	鋼杭の材料 (4.4.3) ○SKK400 ・SKK490 () 寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5) ○φ114.3mm 肉厚4.5mm 羽根径300mm 羽根厚9mm 定尺4m 材 料 (4.6.2) ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・意匠図による 範 囲 (4.6.5) ○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） ・意匠図による			6 和室の造作	積雪地の場合の地下補強 <10.8.2>	施工箇所	○ 図示	<10.3.2>	
	21 検査記録	杭地業工事、鉄筋工事、コンクリート工事、鉄骨工事については、次の内容を記載した検査記録を整備すること * 工事完了通知書第4面及び照合方法が確実に実行されていることを証明する書類		5 床下防湿層	公共建築工事標準仕様書（建築工事編）4章による。			鋼杭の材料 (4.4.3) ○SKK400 ・SKK490 () 寸法、継手等 (4.2.2)(4.4.3)(4.4.5) ○φ114.3mm 肉厚4.5mm 羽根径300mm 羽根厚9mm 定尺4m 材 料 (4.6.2) ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上 ・意匠図による 範 囲 (4.6.5) ○建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） ・意匠図による	6 和室の造作	積雪地の場合の地下補強 <10.8.2>	施工箇所	○ 図示	<10.3.2>
22 コンクリートの試験 (6.9.1~6)	※コンクリートの強度試験 公的機関又はこれに準ずる機関で行う。ただし、調合管理強度の管理試験用及び型枠取外し時期の決定用については、生コン工場試験室でもよい。	4 杭地業工事、鉄筋工事、コンクリート工事、鉄骨工事については、次の内容を記載した検査記録を整備すること * 工事完了通知書第4面及び照合方法が確実に実行されていることを証明する書類	4 木造工事	5 軸組構法（壁構造系）工事	6 軸組構法（軸構造系）工事	7 枠組壁工法工事	8 丸太組構法工事	9 CLTパネル工法工事	【4~9は木造特記仕様書（構造関係）による】	11 防水工事	1 1 FRP系塗膜防水シーリング	該当品なし <11.2.2>、11.2.4> <11.3.2> <表11.3.1> 下表以外は、木造標準仕様書表11.3.1及び各メーカー指定の標準仕様による。ただし、外装壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による。	
2 仮設工事	1 足場等	<2.2.4> 「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(1)手すり据置き方式又は(2)手すり先行専用足場方式により行う。屋根及び小屋組の建方工事における転落防止対策はJIS A 8971の施工基準に基づく装備機材をもちいる。	10 木造工事	1 材料	<10.2.2><10.2.3><10.2.4> 木工事に使用する木材等は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による ○ 釘 ○ JIS A 5508 材質（表面処理鉄・ステンレス） ・ JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質（ ） ○ 造作材化粧面の釘打ち ○ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し ○ 木ねじ ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 材質 ※ステンレス ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質（表面処理鉄・ステンレス）	12 石工事	1 施工	3 防水テープ	シーリング材の目地寸法 ※ 木造標準仕様書11.3.3(1)から(2)による 両面粘着防水テープの幅 ※ 50mm以上 <11.4.2>	4 バルコニー手すり	バルコニー手すりの工法 <11.4.3> ※ 木造標準仕様書11.4.3(カ)①~⑤までによる固定方法 ・ 図示	5 ケイ酸質系塗布防水	該当品なし <11.5.1>(9.6.1、3) (表9.6.1、2)
	2 監督職員事務所等	※ 設ける m程度 ○ 設けない <2.3.1> 現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示による	10 木造工事	1 材料	<10.2.2><10.2.3><10.2.4> 木工事に使用する木材等は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による ○ 釘 ○ JIS A 5508 材質（表面処理鉄・ステンレス） ・ JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質（ ） ○ 造作材化粧面の釘打ち ○ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し ○ 木ねじ ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 材質 ※ステンレス ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質（表面処理鉄・ステンレス）	12 石工事	1 施工	3 防水テープ	シーリング材の目地寸法 ※ 木造標準仕様書11.3.3(1)から(2)による 両面粘着防水テープの幅 ※ 50mm以上 <11.4.2>	4 バルコニー手すり	バルコニー手すりの工法 <11.4.3> ※ 木造標準仕様書11.4.3(カ)①~⑤までによる固定方法 ・ 図示	5 ケイ酸質系塗布防水	該当品なし <11.5.1>(9.6.1、3) (表9.6.1、2)
	3 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できない ・利用できる（※ 有償 ・ 無償）	10 木造工事	1 材料	<10.2.2><10.2.3><10.2.4> 木工事に使用する木材等は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による ○ 釘 ○ JIS A 5508 材質（表面処理鉄・ステンレス） ・ JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質（ ） ○ 造作材化粧面の釘打ち ○ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し ○ 木ねじ ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 材質 ※ステンレス ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質（表面処理鉄・ステンレス）	12 石工事	1 施工	3 防水テープ	シーリング材の目地寸法 ※ 木造標準仕様書11.3.3(1)から(2)による 両面粘着防水テープの幅 ※ 50mm以上 <11.4.2>	4 バルコニー手すり	バルコニー手すりの工法 <11.4.3> ※ 木造標準仕様書11.4.3(カ)①~⑤までによる固定方法 ・ 図示	5 ケイ酸質系塗布防水	該当品なし <11.5.1>(9.6.1、3) (表9.6.1、2)
	4 工事中電力	構内既存の施設 ※ 利用できない ・利用できる（※ 有償 ・ 無償）	10 木造工事	1 材料	<10.2.2><10.2.3><10.2.4> 木工事に使用する木材等は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による ○ 釘 ○ JIS A 5508 材質（表面処理鉄・ステンレス） ・ JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質（ ） ○ 造作材化粧面の釘打ち ○ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し ○ 木ねじ ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 材質 ※ステンレス ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質（表面処理鉄・ステンレス）	12 石工事	1 施工	3 防水テープ	シーリング材の目地寸法 ※ 木造標準仕様書11.3.3(1)から(2)による 両面粘着防水テープの幅 ※ 50mm以上 <11.4.2>	4 バルコニー手すり	バルコニー手すりの工法 <11.4.3> ※ 木造標準仕様書11.4.3(カ)①~⑤までによる固定方法 ・ 図示	5 ケイ酸質系塗布防水	該当品なし <11.5.1>(9.6.1、3) (表9.6.1、2)
	5 仮囲い等の安全施設	別紙設計図による	10 木造工事	1 材料	<10.2.2><10.2.3><10.2.4> 木工事に使用する木材等は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による ○ 釘 ○ JIS A 5508 材質（表面処理鉄・ステンレス） ・ JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質（ ） ○ 造作材化粧面の釘打ち ○ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し ○ 木ねじ ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 材質 ※ステンレス ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質（表面処理鉄・ステンレス）	12 石工事	1 施工	3 防水テープ	シーリング材の目地寸法 ※ 木造標準仕様書11.3.3(1)から(2)による 両面粘着防水テープの幅 ※ 50mm以上 <11.4.2>	4 バルコニー手すり	バルコニー手すりの工法 <11.4.3> ※ 木造標準仕様書11.4.3(カ)①~⑤までによる固定方法 ・ 図示	5 ケイ酸質系塗布防水	該当品なし <11.5.1>(9.6.1、3) (表9.6.1、2)
	6 工事現場の表示	現場の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する ※工事名等の表示板（900mm×600mm） ・ 工事概要等の説明看板（900mm×600mm） ○ 建築確認表示板（350mm×250mm以上）	10 木造工事	1 材料	<10.2.2><10.2.3><10.2.4> 木工事に使用する木材等は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による ○ 釘 ○ JIS A 5508 材質（表面処理鉄・ステンレス） ・ JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質（ ） ○ 造作材化粧面の釘打ち ○ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し ○ 木ねじ ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 材質 ※ステンレス ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質（表面処理鉄・ステンレス）	12 石工事	1 施工	3 防水テープ	シーリング材の目地寸法 ※ 木造標準仕様書11.3.3(1)から(2)による 両面粘着防水テープの幅 ※ 50mm以上 <11.4.2>	4 バルコニー手すり	バルコニー手すりの工法 <11.4.3> ※ 木造標準仕様書11.4.3(カ)①~⑤までによる固定方法 ・ 図示	5 ケイ酸質系塗布防水	該当品なし <11.5.1>(9.6.1、3) (表9.6.1、2)
	7 交通誘導員	※配置する ○ 配置しない ※大型車両進入時 ()人/日 ・ 常時配置 ()人/日 ・ ()作業期間 ()人/日	10 木造工事	1 材料	<10.2.2><10.2.3><10.2.4> 木工事に使用する木材等は、使用材料表9による 木工事に使用する合板等は、使用材料表10による ○ 釘 ○ JIS A 5508 材質（表面処理鉄・ステンレス） ・ JIS A 5508に規定されているもの以外の釘 材質（ ） ○ 造作材化粧面の釘打ち ○ 隠し釘打ち ・ 釘頭埋め木 ○ つぶし頭釘打ち ・ 釘頭現し ○ 木ねじ ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 材質 ※ステンレス ○ JIS B 1112又は JIS B 1135 に規定されているもの以外の木ねじ 材質（表面処理鉄・ステンレス）	12 石工事	1 施工	3 防水テープ	シーリング材の目地寸法 ※ 木造標準仕様書11.3.3(1)から(2)による 両面粘着防水テープの幅 ※ 50mm以上 <11.4.2>	4 バルコニー手すり	バルコニー手すりの工法 <11.4.3> ※ 木造標準仕様書11.4.3(カ)①~⑤までによる固定方法 ・ 図示	5 ケイ酸質系塗布防水	該当品なし <11.5.1>(9.6.1、3) (表9.6.1、2)
3 土 地 業 基 礎 工 事	1 埋戻し及び盛土	材料及び工法 <3.2.3> <表3.2.1> ※ 標準仕様書表3.2.1による種別 ・ A種 適用場所 () 山砂類 ○ B種 適用場所（一般部） 良質根切土 ・ C種 適用場所 () 土質 () 受渡場所 () ・ D種 適用場所 () (品質：細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする。) ・ (材料： 工法：)	3 土・地業・基礎工事	2 表面仕上げ	<10.1.4><表10.1.1><表10.1.2> ○ 機械加工 (・ A種 ○ B種 ・ C種) ○ 手加工 ※ 内部造作材、外部造作材はH-B種、下地材はH-C種 ・ H-A種 ○ H-B種 ○ H-C種 ○ 造作用集材の表面仕上げ ○ 機械加工 (○ A種 ・ B種 ・ C種)	10 木造工事	3 木材の耐候性処理	屋外に使用する仕上げ木材 <10.3.1>(18.13.2) ○ 木材保護塗料塗り 施工箇所 ○ 図示 種別 ・ A種 ○ B種	11 防水工事	1 1 FRP系塗膜防水シーリング	該当品なし <11.2.2>、11.2.4> <11.3.2> <表11.3.1> 下表以外は、木造標準仕様書表11.3.1及び各メーカー指定の標準仕様による。ただし、外装壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは標準仕様書11章による。		
			 有限会社 谷口設計事務所 一級建築士事務所23(1)1191号 一級建築士第257054号 竹中 哲成			担当	工事名称 刈屋口公営住宅改築工事（3工区）			日付		令和7年度	
						製図	図面名称 特記仕様書（木造）3			縮尺		A3版標準スケールとする。 1 / 1	
									図番		A-3		

章	項目	特記事項	20 断熱・防露、ユニット及びその他の工事	現場発泡断熱材 (品質・性能)	20 断熱・防露、ユニット及びその他の工事	5 鏡	6 表示	7 カーテンレール	8 ブラインドボックス及びカーテンボックス	9 天井点検口	10 床点検口	<p>取付箇所 ・ 図示 ・</p> <p>寸法 (mm) ・ 図示 ・</p> <p>厚さ (mm) ※ 5 ・</p> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。</p> <p>誘導標識、非常用進入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品 ・</p> <p>室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等</p> <p>※ 図示</p> <p>材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押し成型材</p> <p>・ ステンレス製</p> <p>強さによる区分 ※ 10-90</p> <p>仕上げ ※ アルマイト</p> <p>形状 ※ 角形</p> <p>溝幅×深さ (mm)</p> <p>・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ○ 図示</p> <p>材質 ・ 集成材 (樹種等12章木工事による 仕上げ、仕上図示による)</p> <p>・ 住宅用表面化粧シート貼市販既成品 (仕様は図示による)</p> <p>※ アルミニウム製 押し型材 (市販品)</p> <p>表面処理</p> <p>・ BC-1 ・ BC-2 (※ 標準色 () ・ 特注色 ())</p> <p>・ 鋼製 (仕上げは、仕上表又は図示による)</p>																																							
				<p>ホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外</p> <p>〈19.8.2.3〉</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="5">壁紙の種類</th> <th rowspan="2">防火性能</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>紙</th> <th>繊維</th> <th>ビニール</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>全ての箇所</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>○</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 不燃 ○ 準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 不燃 ・ 準不燃</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル・プラスター面の素地ごしらの種別 ※ B種 ・ A種</p> <p>コンクリート面の素地ごしらの種別 ※ B種 ・ A種</p> <p>せっこうボード面の素地ごしらの種別 ※ B種 ・ A種</p> <p>フェノールフォームを使用した断熱材、保温材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ○ F-☆☆☆☆</p> <p>・ 断熱材打込み工法 該当なし</p> <p>○ 断熱材現場発泡工法</p> <p>断熱材の種類 ※ A種1 ・ A種1H</p> <p>吹付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ○ 補修基材厚さ</p> <p>施工箇所 ※ 窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトレンドレン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所</p> <p>・ 図示</p> <p>現場発泡断熱材 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロリー試験) に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>発熱性</td> <td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m²以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m²を超えないこと。</td> </tr> </table>									施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考	紙	繊維	ビニール	無機質	その他	全ての箇所	・	・	○	・	・	・ 不燃 ○ 準不燃			・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃			・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃			・
施工箇所	壁紙の種類					防火性能	備考																																												
	紙	繊維	ビニール	無機質	その他																																														
全ての箇所	・	・	○	・	・	・ 不燃 ○ 準不燃																																													
	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃																																													
	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃																																													
	・	・	・	・	・	・ 不燃 ・ 準不燃																																													
項目	品質・性能																																																		
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロリー試験) に適合していること。																																																		
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。																																																		
19 内装工事	12 壁紙張り		20 断熱・防露、ユニット及びその他の工事	現場発泡断熱材 (品質・性能)	20 断熱・防露、ユニット及びその他の工事	5 鏡	6 表示	7 カーテンレール	8 ブラインドボックス及びカーテンボックス	9 天井点検口	10 床点検口	<p>取付箇所 ・ 図示 ・</p> <p>寸法 (mm) ・ 図示 ・</p> <p>厚さ (mm) ※ 5 ・</p> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。</p> <p>誘導標識、非常用進入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品 ・</p> <p>室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等</p> <p>※ 図示</p> <p>材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押し成型材</p> <p>・ ステンレス製</p> <p>強さによる区分 ※ 10-90</p> <p>仕上げ ※ アルマイト</p> <p>形状 ※ 角形</p> <p>溝幅×深さ (mm)</p> <p>・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ○ 図示</p> <p>材質 ・ 集成材 (樹種等12章木工事による 仕上げ、仕上図示による)</p> <p>・ 住宅用表面化粧シート貼市販既成品 (仕様は図示による)</p> <p>※ アルミニウム製 押し型材 (市販品)</p> <p>表面処理</p> <p>・ BC-1 ・ BC-2 (※ 標準色 () ・ 特注色 ())</p> <p>・ 鋼製 (仕上げは、仕上表又は図示による)</p>																																							
	13 断熱材			<p>現場発泡断熱材 (品質・性能)</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>品質・性能</th> </tr> <tr> <td>難燃性</td> <td>下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロリー試験) に適合していること。</td> </tr> <tr> <td>発熱性</td> <td>準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m²以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m²を超えないこと。</td> </tr> </table> <p>○ 防湿材</p> <p>種類 木造標準仕様書20.1.2(2) (○ (a) ・ (b) ・ (c))</p> <p>厚さ ○ 図示</p> <p>施工箇所 ○ 図示</p> <p>○ 気密材</p> <p>種類 木造標準仕様書20.1.2(3) (・ (a) ○ (b) ・ (c) ・ (d) ・ (e) ・ (f))</p> <p>厚さ ○ 図示</p> <p>施工箇所 ○ 図示</p> <p>○ 防風材</p> <p>種類 ※ JIS A 6111に基づく透湿防水シートB</p> <p>厚さ ○ 図示</p> <p>施工箇所 ○ 図示</p> <p>断熱材の施工 <20.2.4></p> <p>○ 充填断熱工法</p> <p>・ 外張断熱工法</p> <p>防蟻処理 ○ 行う</p> <p>○ 図示</p> <p>防湿層の施工 ・ 省略する</p> <p>各部位の工法 ※ 木造標準仕様書20.1.5(7) から (ロ) までによる</p> <p><20.3.2></p> <p>サイディング材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状</th> <th>働き長さ 働き幅</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>表面 仕上げ</th> <th>耐凍害 性能</th> <th>防火 耐火性能</th> </tr> <tr> <td>○ 図示</td> <td>○ 図示</td> <td>○ 図示</td> <td>○ 14</td> <td>○ 塗装品</td> <td>○ 図示</td> <td>○ 図示</td> </tr> </table> <p>張り方 ・ 縦張り ○ 横張り</p> <p>換気口部の防水処置 ※ 木造標準仕様書20.3.2(3) (イ) (ロ) ①から④までによる</p> <p>・ 図示</p> <p>現場塗装用サイディングの下地処理及び仕上げ</p> <p>通気胴縁 樹種 ※ 杉</p> <p>通気胴縁の防腐処理方法 (住宅金融公庫仕様書による)</p> <p>シーリング 寸法 ※ 木造標準仕様書20.3.2(3) (イ) による</p> <p>該当なし</p> <p>該当なし</p>									項目	品質・性能	難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロリー試験) に適合していること。	発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。	種類	形状	働き長さ 働き幅	厚さ (mm)	表面 仕上げ	耐凍害 性能	防火 耐火性能	○ 図示	○ 図示	○ 図示	○ 14	○ 塗装品	○ 図示	○ 図示																			
項目	品質・性能																																																		
難燃性	下記のいずれかによっていること (1) JIS A 1321「建築物の内装材及び工法の難燃性試験方法」による難燃2級表面加熱試験又は難燃3級表面加熱試験に適合していること。 (2) 法定準不燃材料、難燃材料の評価方法に使用している発熱性試験 (コーンカロリー試験) に適合していること。																																																		
発熱性	準不燃材料試験の加熱時間は10分、難燃材料試験の加熱時間は5分において次の (1) ~ (3) に適合していること。 (1) 総発熱量が8MJ/m ² 以下であること。 (2) 防火上有害な裏面まで貫通する亀裂及び穴がないこと。 (3) 最高発熱速度が、10秒以上継続して200KW/m ² を超えないこと。																																																		
種類	形状	働き長さ 働き幅	厚さ (mm)	表面 仕上げ	耐凍害 性能	防火 耐火性能																																													
○ 図示	○ 図示	○ 図示	○ 14	○ 塗装品	○ 図示	○ 図示																																													
20 断熱・防露、ユニット及びその他の工事	1 断熱材等材料	<20.1.2~4>	20 断熱・防露、ユニット及びその他の工事	現場発泡断熱材 (品質・性能)	20 断熱・防露、ユニット及びその他の工事	5 鏡	6 表示	7 カーテンレール	8 ブラインドボックス及びカーテンボックス	9 天井点検口	10 床点検口	<p>取付箇所 ・ 図示 ・</p> <p>寸法 (mm) ・ 図示 ・</p> <p>厚さ (mm) ※ 5 ・</p> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。</p> <p>誘導標識、非常用進入口等の表示 ※ 消防法に適合する市販品 ・</p> <p>室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等</p> <p>※ 図示</p> <p>材料による区分 ※ アルミニウム又はアルミニウム合金の押し成型材</p> <p>・ ステンレス製</p> <p>強さによる区分 ※ 10-90</p> <p>仕上げ ※ アルマイト</p> <p>形状 ※ 角形</p> <p>溝幅×深さ (mm)</p> <p>・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ○ 図示</p> <p>材質 ・ 集成材 (樹種等12章木工事による 仕上げ、仕上図示による)</p> <p>・ 住宅用表面化粧シート貼市販既成品 (仕様は図示による)</p> <p>※ アルミニウム製 押し型材 (市販品)</p> <p>表面処理</p> <p>・ BC-1 ・ BC-2 (※ 標準色 () ・ 特注色 ())</p> <p>・ 鋼製 (仕上げは、仕上表又は図示による)</p>																																							
				<p>ロックウール、グラスウール、フェノールフォーム、ウリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 ○ F-☆☆☆☆</p> <p>○ 断熱材</p> <p>施工箇所 ※ 図示</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">断熱材の種類</th> <th>規格番号</th> <th>厚さ又は使用量</th> </tr> <tr> <th>分類</th> <th>材料名</th> <td></td> <td rowspan="2">※ 図示</td> </tr> <tr> <td>○ フェルト状断熱材</td> <td>○ 高性能グラスウール</td> <td>JIS A 9521</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">○ ボード状断熱材</td> <td>○ 高性能グラスウール</td> <td>JIS A 9521</td> </tr> <tr> <td>○ 古紙混入発砲ポリプロピレン</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">・ ばら状断熱材</td> <td>・ グラスウール</td> <td rowspan="3">JIS A 9523</td> </tr> <tr> <td>・ ロックウール</td> </tr> <tr> <td>・ セルローズファイバー</td> </tr> <tr> <td>・ 現場発泡断熱材</td> <td>○ 吹付硬質ウレタンフォームA種1 又はA種1H (難燃性を有するもの)</td> <td>JIS A 9526</td> <td></td> </tr> </table> <p>3 複合金属サイディング工事</p> <p>4 ALCパネル (溝形パネル) 工事</p>									断熱材の種類		規格番号	厚さ又は使用量	分類	材料名		※ 図示	○ フェルト状断熱材	○ 高性能グラスウール	JIS A 9521	○ ボード状断熱材	○ 高性能グラスウール	JIS A 9521	○ 古紙混入発砲ポリプロピレン		・ ばら状断熱材	・ グラスウール	JIS A 9523	・ ロックウール	・ セルローズファイバー	・ 現場発泡断熱材	○ 吹付硬質ウレタンフォームA種1 又はA種1H (難燃性を有するもの)	JIS A 9526															
断熱材の種類		規格番号	厚さ又は使用量																																																
分類	材料名		※ 図示																																																
○ フェルト状断熱材	○ 高性能グラスウール	JIS A 9521																																																	
○ ボード状断熱材	○ 高性能グラスウール	JIS A 9521																																																	
	○ 古紙混入発砲ポリプロピレン																																																		
・ ばら状断熱材	・ グラスウール	JIS A 9523																																																	
	・ ロックウール																																																		
	・ セルローズファイバー																																																		
・ 現場発泡断熱材	○ 吹付硬質ウレタンフォームA種1 又はA種1H (難燃性を有するもの)	JIS A 9526																																																	
 <p>有限会社 谷口設計事務所</p> <p>一級建築士事務所23(1)1191号</p> <p>一級建築士第257054号 竹中 哲成</p>				担当	<p>工事名称</p> <p>刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)</p>			日付	<p>令和7年度</p>																																										
				製図	<p>図面名称</p> <p>特記仕様書 (木造) 7</p>		縮尺	<p>A3版標準スケールとする。</p> <p>1/1</p>		図番	<p>A-7</p>																																								

章	項目	特記事項				
20 断熱・防露、ユニット及びその他の工事	10 床点検口	(品質・性能)				
		部材名	材質	屋内外用	屋内用	
		受枠材 蓋枠材	7%ニッケル及び7%ニッケル合金押出形材	JIS H 4100のA6063S-T5 (表面処理) JIS H 8602のB種又はJIS H 8601のAA15	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度
			ステンレス製	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	JIS G 4305のSUS430 (表面処理) HL又は2B 仕上げ程度	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの
			鋼製	—	—	標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの
		二重蓋の中蓋	鑄鉄	JIS G 5501のFC150、FC200	—	—
			その他	塩化ビニル樹脂製等	—	—
		目地材	黄銅	JIS H 3100 のC2600、C2720、C2801 JIS H 3250 のC3602、C3604	—	—
			ステンレス	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 JIS G 4308のSUS304	—	—
		底板材コーナーステンレス鋼板	JIS G 4305のSUS304、SUS430J1L、SUS443J1	JIS G 4305のSUS430	—	—
		ピース底板補強材	JIS G 4308のSUS304	—	—	—
			アルミニウム板	JIS H 4000(A1100P H24) 表面処理：陽極酸化塗装複合被膜 JIS H 8601(AA15) JIS H 8602(B)	—	—
			鋼材	—	鋼製又はJIS G 3313にメラミン樹脂焼付塗装若しくは、標準仕様書表18.3.1及び表18.3.2のさび止め塗料塗り等の防錆処理を行ったもの	—
		バックシム材	塩化ビニル系ゴム、軟質塩化ビニル、クロロプレン、スポンジラバー、エチレンプロピレン等枠の材質、形状に適した弾力性、密着性を有するもの	—	—	—
		アンカー材	鋼製に電気亜鉛めっき又は防錆塗料を行ったもの	—	—	—
取手	黄銅鑄鉄製、黄銅製、アルミニウム押出形材・合金鑄鉄製、ステンレス鑄鋼品、ステンレス製等ステンレス鋼材、アルミニウム押出形材などで被覆した、合成樹脂製のものは、衝撃による変形・割れが生じないものとする	—	—	—		
鍵	黄銅製、ステンレス製、亜鉛合金製とする 施錠・開錠は、鍵又は開閉用ハンドル式とする	—	—	—		
蓋の耐荷重性能	蓋中央部が荷重値Pn=1,000Nにおいて残留たわみが点検口の有孔径の0.08%以内であること。 受け枠、蓋その他の使用上支障がないこと。 破壊荷重は、荷重値のPnの2倍以上であること。	—	—	—		
受け枠寸法の許容差	±0.5mm以下	—	—	—		
蓋付寸法の許容差	±0.5mm以下	—	—	—		
受け枠と蓋枠のクリアランス	片側2.0mm以内	—	—	—		

20 断熱・防露、ユニット及びその他の工事

11	フェンス	
12	収納家具	
13	屋外掲示板	
14	天井見切り縁等	
37	流し台ユニット	
38	表札（公団型）	
39	屋外物置	
40	構内共同 ゴミ置場	

フェンスの種類	・ ビニル被覆エキスパンドフェンス ・ 樹脂塗装メッシュフェンス ・ 鋼管フェンス ・ アルミフェンス			
高さ	※ 図示 ・			
材質、形状、寸法	※ 図示			
合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量	※ 規制対象外 ○ F-☆☆☆☆			
本体材質	※ ステンレス製 ・			
照明器具	・ 有り ・ 無し			
掲示板面材質	・			
施錠装置	※ 有り ・ 無し			
形状寸法	※ 図示による ・			
壁及び下がり壁と天井の取合いの見切縁（天井見切縁、下がり壁見切縁）の材質	※ アルミニウム既製品 ○ ビニル既製品 ・ MDF基材化粧既製品H30mm程度			
種類	寸法 (mm)	備考		
	W D H			
○ 流し台	○ 1200 ・ 1500 ・ 1800	・ 550 ・ 600 ・ 650 ・ 800 ・ 850	市販品（木製扉・木製キャビネット） 仕上げ：※ 化粧パーティクルボード トラップ付き 壁水切り板 天板ステンレス製	
○ コンロ台	○ 600	○ 550 ・ 600 ・ 650	○ 620 ・ 670	市販品（木製扉・木製キャビネット） 仕上げ：※ 化粧パーティクルボード バックガード有り 壁水切り板 天板ステンレス製
○ つり戸棚	○ 1200 ・ 900	○ 450	・ 500 ○ 700	市販品（木製扉・木製キャビネット） 仕上げ：※ 化粧パーティクルボード
・ 水切り棚	・ 1200 ・ 900 ・ 600	—	—	市販品 ステンレス製 ・ 1 段式 ・ 2 段式
○ レンジフード	○ 600	—	○ 深型 ・ 浅型	市販品 屋外フード グリスフィルター・換気扇付
(品質・性能)	(1) 外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.1による。 (2) 構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき表1の規定による。			
形状	※ 図示 ・			
本体	アルミニウム ステンカラー ヘアライン アルマイト処理+クリア塗装	125×250		
名札部 (小)	アクリル樹脂	60.5×90×2		
名札部 (大)	アクリル樹脂	60.5×160×2		
カッティングシートにて	室番号を指定文字で記載の事			
参考品名:	表札 (公団タイプ) ナスタ KS-N22AS			
物置	各戸1庫設置 (標準メーカー基礎共)		※ 図示	
参考品名:	イカ M J X-117D 全面棚タイプ			
構内共同ゴミ置場				
参考品名:				

21 排水工事

1	屋外雨水排水	
2	排水樹ふた	
3	グレーチング	

〈21.2.1.2〉〈表21.2.1.2〉					
材料	材種	種類・記号	形状	呼び径	備考
・ 遠心力鉄筋コンクリート管		※ 外圧管 (1種)	・ B形管	※ 図示	
○ 硬質ポリ塩化ビニル管		○ RS-V P		※ 図示	・
		・ RS-V U		※ 図示	・
		○ V P		※ 図示	・
		・ V U		※ 図示	・
基床の厚さ及び種類	※ 図示				
硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料	※ 接着剤				
側塊の形状及び寸法	※ 図示				
排水樹の種類	※ 図示				
砂地業に用いる材料	※ シルト、有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂				
砂地業に用いる材料	※ 再生クラッシュヤラン ・ 切込砂利又は切込砕石				
現場打ちの場合のコンクリート材料	設計基準強度 ※ 18N/mm2				
スランブ	※ 15cm又は18cm				
現場打ちの場合の鉄筋	種類の記号 ※ SD295A				
現場打ちの場合の足掛け金物	材料 ※ ステンレス製 ・ 鋼製 ・ 合成樹脂被覆加工を行った足掛け金物				
凍上抑制層に用いる材料	砂の粒度試験 ・ 行う ○ 行わない				
(21.2.1)					
名称	種類	適用荷重	鍵	備考	
鑄鉄製マンホールふた	・ 水封形 ・ 簡易密閉形 (パッキン式) ・ 密閉形 (テーパ・パッキン式) ・ 中ふた付き密閉形 (テーパ・パッキン式)	・ T-2用 ・ T-6用 ・ T-20用	・ 有り ・ 無し	左記以外の品質等は (公社) 空調調和衛生工学会 SHASE-S209による	
塩ビ製	・ RS-V U				
(21.2.1)					
材料 (鋼製、ステンレス製)	用途 (溝ふた【横断用、側溝用】、樹ふた用、U字溝用)				
適用荷重 (歩行用、T-2、T-6、T-14、T-20)、	形式 (受け付きボルト固定の有無)、				
メインバーピッチ (細目、普通目)、上面形状 (凹凸形、平形) は図示による	(品質・性能等)				
〈鋼製グレーチング〉					
項目	品質・性能				
メインバー、サイドバー及びエンドプレート	JIS G 3101 SS400				
クロスバー	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3505 「軟鋼線材」SWRM				
受け枠用アングル材	JIS G 3101 SS400及びJIS G 3132 「鋼管用熱間圧延炭素鋼鋼帯」SPHT 塗装仕上げとする場合は、樹脂系塗料				
溶融亜鉛めっきの付着量	JIS H 8641「溶融亜鉛めっき」による試験において溶融亜鉛めっきの付着量がHDZ40以上又は、HDZ 50以上				
アンカー	間隔 側溝の場合500mm内外				
ふた	幅及び長さの許容差 ±3.0mm				
荷重性能	設計荷重の1.5倍までの加力に対して、溶接部のはずれ等その他の異常がないものとする				



有限会社 谷口設計事務所
一級建築士事務所 23 (1) 1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲成

担当

工事名称

刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)

日付
令和7年度

製図

図面名称

特記仕様書 (木造) 8

縮尺

A3版標準スケールとする。
1 / 1


図番

A-8

章	項目	特記事項	22 舗装工事	22 舗装工事	22 舗装工事	7	23 植栽工事																																																																																																																																													
21 排水工事	4 街きよ、縁石及び側溝	<p>街きよ、縁石、側溝</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・ 縁石</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ L形側溝</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ U形側溝ふた</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>※ 図示</td> </tr> </table> <p>砂地業に用いる材料 ※ シルト、有機物等の混入しない締固めに適した山砂、川砂又は砕砂</p> <p>砂利地業に用いる材料 ※ 再生クラッシャーラン ・ 切込砂利又は切込砕石</p> <p>現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※ 18N/mm² スランプ ※ 15cm又は18cm</p> <p>砂利地業の厚さ ※ 100mm ・ 図示</p> <p>現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※ 18N/mm² スランプ ※ 15cm又は18cm</p> <p>現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※ SD295A</p> <p>凍上抑制層に用いる材料 砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない</p>	種類	形状、寸法	・ 縁石	※ 図示	・ L形側溝	※ 図示	・ U形側溝	※ 図示	・ U形側溝ふた	※ 図示	・	※ 図示	<p>2 路盤</p> <p>路盤の厚さ ※ 図示 ・</p> <p>路盤材料の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ クラッシャーラン ・ 粒度調整碎石 <p>※ 再生クラッシャーラン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 再生粒度調整碎石 ・ クラッシャーラン鉄鋼スラグ ・ 粒度調整鉄鋼スラグ ・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ <p>路盤締固め度の試験 ※ 行う ○ 行わない</p>	<p>3 アスファルト舗装</p> <p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※ 図示 ・</p> <p>材料</p> <p>アスファルト ※ 再生アスファルト (種類 ※ 60~80 ・ 80~100)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ストレートアスファルト <p>骨材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 道路用碎石 ※ アスファルトコンクリート再生骨材 <p>加熱アスファルト混合物等の種類</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 密粒度アスファルト混合物 (13) ・ 細粒度アスファルト混合物 (13) ・ 密粒度アスファルト混合物 (13F) <p>シーコート施工</p> <p>※ 行わない</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行う (乳材の種類 ※ PK-1ただし、冬期はPK-2 ・) <p>試験</p> <p>アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>舗装の平たん性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>	<p>4 コンクリート舗装</p> <p>コンクリート舗装の構成及び厚さ</p> <table border="1"> <tr> <th>舗装の種類</th> <th>部位</th> <th>構成</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td rowspan="2">コンクリート舗装</td> <td>車路及び駐車場</td> <td>図示</td> <td>図示</td> </tr> <tr> <td>歩行者用通路</td> <td>図示</td> <td>※ 70</td> </tr> </table> <p>寒冷地の縁部立下り寸法等 ・ 図示</p> <p>材料</p> <p>コンクリート ※ 標準仕様書表22.5.1による ・</p> <p>早強ポルトランドセメント ・ 使用する ○ 使用しない</p> <p>注入目地材料 ※ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ</p> <p>目地</p> <p>種類、間隔、構造 ※ 標準仕様書表22.5.3及び図22.5.1による ・ 図示</p> <p>舗装の平たん性 ※ 通行の支障となる水たまりを生じない程度</p> <p>該当なし</p> <p>該当なし</p>	舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)	コンクリート舗装	車路及び駐車場	図示	図示	歩行者用通路	図示	※ 70	<p>7 ブロック系舗装</p> <p>・ コンクリート平板舗装 (22.8.2.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>目地材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 普通平板 (N)</td> <td>※ 300角</td> <td>※ 60</td> <td>※ 砂</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・ 透水平板 (P)</td> <td></td> <td>・</td> <td>・ モルタル</td> <td>・ 研ぎ出し</td> </tr> <tr> <td>・ 保水性平板 (M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ 洗い出し</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・ たたき出し</td> </tr> </table> <p>仕上り面の平たん性 ※ 歩行に支障となる段差がないものとし、コンクリート平板間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・ インターロッキングブロック舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>形状寸法</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>曲げ強度 (N/mm²)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ 普通ブロック (N)</td> <td rowspan="2">車路</td> <td>・ 図示</td> <td>※ 80</td> <td>※ 5.0</td> <td>表面加工</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性ブロック (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・ 標準品</td> </tr> <tr> <td>・ 保水性ブロック (M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>※ 普通ブロック (N)</td> <td rowspan="2">歩行者用通路</td> <td>・ 図示</td> <td>※ 60</td> <td>※ 3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 透水性ブロック (P)</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 保水性ブロック (M)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>仕上り面の平たん性</p> <p>※ 歩行に支障となる段差がないものとし、インターロッキングブロック間の段差は3mm以内とする。</p> <p>・</p> <p>・ 舗石舗装</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工方法</th> <th>基層</th> <th>基層の厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>※ 花こう岩</td> <td>・ 割石</td> <td>・</td> <td>・ うろこ張り</td> <td>・ コンクリート版</td> <td>※ 70</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・ 図示</td> <td></td> <td></td> <td>・ アスファルト混合物</td> <td>※ 50</td> </tr> </table> <p>仕上り面の平たん性</p> <p>※ 歩行に支障となる段差がないものとし、舗石間の段差は3mm以内とする</p> <p>・</p> <p>・ ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量 ・ 60g/m²以上 ・</p> <p>厚さ (mm) ・ 0.5~1.0 ・</p> <p>引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・</p> <p>透水係数 ・ 1.5×10⁻¹ cm/sec以上 ・</p>	種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考	※ 普通平板 (N)	※ 300角	※ 60	※ 砂	表面加工	・ 透水平板 (P)		・	・ モルタル	・ 研ぎ出し	・ 保水性平板 (M)				・ 洗い出し					・ たたき出し	種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考	※ 普通ブロック (N)	車路	・ 図示	※ 80	※ 5.0	表面加工	・ 透水性ブロック (P)	・	・	・	・ 標準品	・ 保水性ブロック (M)					・	※ 普通ブロック (N)	歩行者用通路	・ 図示	※ 60	※ 3.0		・ 透水性ブロック (P)	・	・	・		・ 保水性ブロック (M)						・						種類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)	※ 花こう岩	・ 割石	・	・ うろこ張り	・ コンクリート版	※ 70	・	・ 図示			・ アスファルト混合物	※ 50	<p>8 砂利敷き</p> <p>種類 (22.9.2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ A種 (施工範囲: ・ 図示 ・ 通路 ・) ・ B種 (施工範囲: ・ 図示 ・ 建物周囲その他 ・) 	<p>9 路面標示用塗料</p> <p>路面標示用塗料はJIS K 5665による。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工</th> <th>適用</th> <th>色</th> <th>幅 (mm)</th> <th>塗布厚さ (mm)</th> <th>適用部位</th> </tr> <tr> <td>※ 3種1号</td> <td>熔融</td> <td>粉体状</td> <td>・ 白</td> <td>※ 150</td> <td>・ 1.0</td> <td>・ 白線</td> </tr> <tr> <td>・ 1種</td> <td>常温</td> <td>液状</td> <td>・</td> <td>・ 100</td> <td>・ 2.0</td> <td>・ 車椅子駐車場ライン、マーク</td> </tr> <tr> <td>・ 2種</td> <td>加熱</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	適用部位	※ 3種1号	熔融	粉体状	・ 白	※ 150	・ 1.0	・ 白線	・ 1種	常温	液状	・	・ 100	・ 2.0	・ 車椅子駐車場ライン、マーク	・ 2種	加熱					
			種類	形状、寸法																																																																																																																																																
・ 縁石	※ 図示																																																																																																																																																			
・ L形側溝	※ 図示																																																																																																																																																			
・ U形側溝	※ 図示																																																																																																																																																			
・ U形側溝ふた	※ 図示																																																																																																																																																			
・	※ 図示																																																																																																																																																			
舗装の種類	部位	構成	厚さ (mm)																																																																																																																																																	
コンクリート舗装	車路及び駐車場	図示	図示																																																																																																																																																	
	歩行者用通路	図示	※ 70																																																																																																																																																	
種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)	目地材	備考																																																																																																																																																
※ 普通平板 (N)	※ 300角	※ 60	※ 砂	表面加工																																																																																																																																																
・ 透水平板 (P)		・	・ モルタル	・ 研ぎ出し																																																																																																																																																
・ 保水性平板 (M)				・ 洗い出し																																																																																																																																																
				・ たたき出し																																																																																																																																																
種類	部位	形状寸法	厚さ (mm)	曲げ強度 (N/mm ²)	備考																																																																																																																																															
※ 普通ブロック (N)	車路	・ 図示	※ 80	※ 5.0	表面加工																																																																																																																																															
・ 透水性ブロック (P)		・	・	・	・ 標準品																																																																																																																																															
・ 保水性ブロック (M)					・																																																																																																																																															
※ 普通ブロック (N)	歩行者用通路	・ 図示	※ 60	※ 3.0																																																																																																																																																
・ 透水性ブロック (P)		・	・	・																																																																																																																																																
・ 保水性ブロック (M)																																																																																																																																																				
・																																																																																																																																																				
種類	形状寸法 (mm)	厚さ (mm)	施工方法	基層	基層の厚さ (mm)																																																																																																																																															
※ 花こう岩	・ 割石	・	・ うろこ張り	・ コンクリート版	※ 70																																																																																																																																															
・	・ 図示			・ アスファルト混合物	※ 50																																																																																																																																															
種類	施工	適用	色	幅 (mm)	塗布厚さ (mm)	適用部位																																																																																																																																														
※ 3種1号	熔融	粉体状	・ 白	※ 150	・ 1.0	・ 白線																																																																																																																																														
・ 1種	常温	液状	・	・ 100	・ 2.0	・ 車椅子駐車場ライン、マーク																																																																																																																																														
・ 2種	加熱																																																																																																																																																			
22 舗装工事	1 路床	<p>路床の材料 (22.2.2~5) (表22.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> <tr> <td>○ 盛土</td> <td>・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>○ 凍上抑制層</td> <td>○ 再生クラッシャーラン ・ クラッシャーラン</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 切込み砂利 ・ 砂</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 砂</td> <td>※ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>路床安定処理の方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰 (・ 特号 ・ 1号) ・ 消石灰 (・ 特号 ・ 1号) 添加量 ・ kg/m³ (目標CBR ・ 3以上 ・) 目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・ 安定処理土のCBR試験 ・ ジオテキスタイル 単位面積質量 ・ 60g/m²以上 ・ 厚さ (mm) ・ 0.5~1.0 ・ 引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・ 透水係数 ・ 1.5×10⁻¹ cm/sec以上 ・ <p>試験</p> <p>路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ○ 行わない</p> <p>路床締固め度の試験 ・ 行う ○ 行わない</p> <p>現場CBR試験 ・ 行う ○ 行わない</p>	種別	材料	厚さ (mm)	○ 盛土	・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種	※ 図示		・ 建設汚泥から再生した処理土	・	○ 凍上抑制層	○ 再生クラッシャーラン ・ クラッシャーラン	※ 図示		・ 切込み砂利 ・ 砂	・	・ フィルター層	・ 砂	※ 図示		・	・	<p>5 カラー舗装</p> <p>6 透水性アスファルト舗装</p>	<p>23 植栽工事</p> <p>該当なし</p>																																																																																																																											
			種別	材料	厚さ (mm)																																																																																																																																															
○ 盛土	・ A種 ○ B種 ・ C種 ・ D種	※ 図示																																																																																																																																																		
	・ 建設汚泥から再生した処理土	・																																																																																																																																																		
○ 凍上抑制層	○ 再生クラッシャーラン ・ クラッシャーラン	※ 図示																																																																																																																																																		
	・ 切込み砂利 ・ 砂	・																																																																																																																																																		
・ フィルター層	・ 砂	※ 図示																																																																																																																																																		
	・	・																																																																																																																																																		
<p>特記記載末尾 終了</p>			<p>有限会社 谷口設計事務所</p> <p>一級建築士事務所 23 (1) 1191号</p> <p>一級建築士 第257054号 竹中 哲成</p>		<p>担当</p> <p>工事名称</p> <p>刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)</p>	<p>日付</p> <p>令和7年度</p>																																																																																																																																														
			<p>製図</p> <p>図面名称</p> <p>特記仕様書 (木造) 9</p>	<p>縮尺</p> <p>A3版標準スケールとする。</p> <p>1 / 1</p>	<p>図番</p> <p>A - 9</p>																																																																																																																																															

設計概要	工事名称	刈屋口公営住宅改築工事（3工区）						建築主	〒727-0012		関連付帯工事	電気設備	電灯・コンセント・光電話配管・照明器具・TVアンテナ配線・人感センサー・警報器類 機器新設配線配管工事一式 ※諸申請共		別途工事	居室照明器具・TV電話機器類		
	建設地名地番	〒727-0021 広島県庄原市三田市町 496番地1 (住居表示 番号)							住所	広島県庄原市中本町1-10-1		給排水設備	給水・排水・衛生器具・換気設備・公共上下水有り 機器新設配管工事一式 ※諸申請共					
	構造	木造在来軸組工法 平屋建		用途	公営住宅				氏名	庄原市長 八谷 恭介		外構付帯工事	物置(付帯) 各戸1庫					
	都市計画区域	・計画区域内		用途地域	第一種住居地域			防火地域	・防火 ・準防火 ・指定なし		外部仕上表	屋根	着色ガルバリウム鋼板(塗装溶融55%AL-Zn合金メッキ鋼板)厚0.4吊り子無し182縦葺(30°ルーフ縦葺182同等) (勾配:1.2/10) 雪止め金物設置(図示) 野地板:構造用合板(特類,針葉樹)厚12張,アスファルトルーフィング940下葺					
	その他の区域 地域・地区・街区	風致地区		絶対高さ制限 10m		外壁の後退線 無し		日影規制	・有 [] ・無 [] ・規制地域に影を落とす ・対象物件 [] ・対象外物件 []			軒裏	厚12 軒天用化粧無機繊維混入板(化粧柄品) 不燃NM-4132・4133 軒裏準耐火構造(30分) QF030RS-0281・0336 窯業系鼻隠し及び破風板 塗装品 (巾210)					
	法22条の指定	・指定区域		福祉のまちづくり条例 協議対象物件の別		・協議物件		パリアフリー新法認定 対象物件の別	・対象物件 [] ・対象外物件 [] ※特定建築物(高齢者配慮等級3)			外壁	厚14以上 窯業系サイディング横張(通気層厚15) 透湿防水シート張 準不燃QM-0639 防火PC030BE-9201 土台廻り通気水切, 軒天廻り通気見切縁					
	ふるさと広島 の景観の 保全と創造 に関する条例	・景観モデル区域		・景観形成区域		・大規模行為届出対象区域		行為の届出	・必要物件 [] ・不要物件 []			屋切換気孔	既製カラーフォーム屋切換気孔					
	敷地面積	201.11 m ² (登記 計測)		建ぺい率	棟別配置図記載 ≤ 60 %			容積率	棟別配置図記載 ≤ 200 % 前面道路幅員(m) × 0.4 × 100 =			基礎・巾木	コンクリート打放し補修 補修はセパレーター跡面落防水モルタル補修 出隅45°面取 面幅15 基礎下端:基礎通気パッキン ねこ土台パッキン工法 厚25 公庫承認メーカー仕様					
	建築面積	工事部分 105.58 m ² /棟		申請車庫部分	m ²			既存部分	m ²			建具	住宅用カラーフォーム 網戸付 一部面格子付 遮音等級区分(JIS): T-1以上 JISA4706, JISA4702 窓等ガラス:低放射(low-e)複層ガラス 遮熱タイプ・断熱タイプ					
	床面積	区分種別		公営住宅					合計			申請建物2号 用途 ()	1階	m ²				
住宅部分		床面積		1階	m ²		延面積	91.92 m ² /棟		2階			m ²					
その他用途		床面積		1階	m ²		延面積	m ² /棟		延面積			m ²					
新築部分		床面積合計		1階	91.92 m ²		延面積	91.92 m ² /棟		既存申請外建物			1階 m ² 2階 m ² 延面積 m ²					
既存部分		床面積		1階	m ²		延面積	m ² /棟		敷地内建物 床面積合計	m ² /棟							
床面積合計	1階		91.92 m ²		延面積		91.92 m ² /棟											

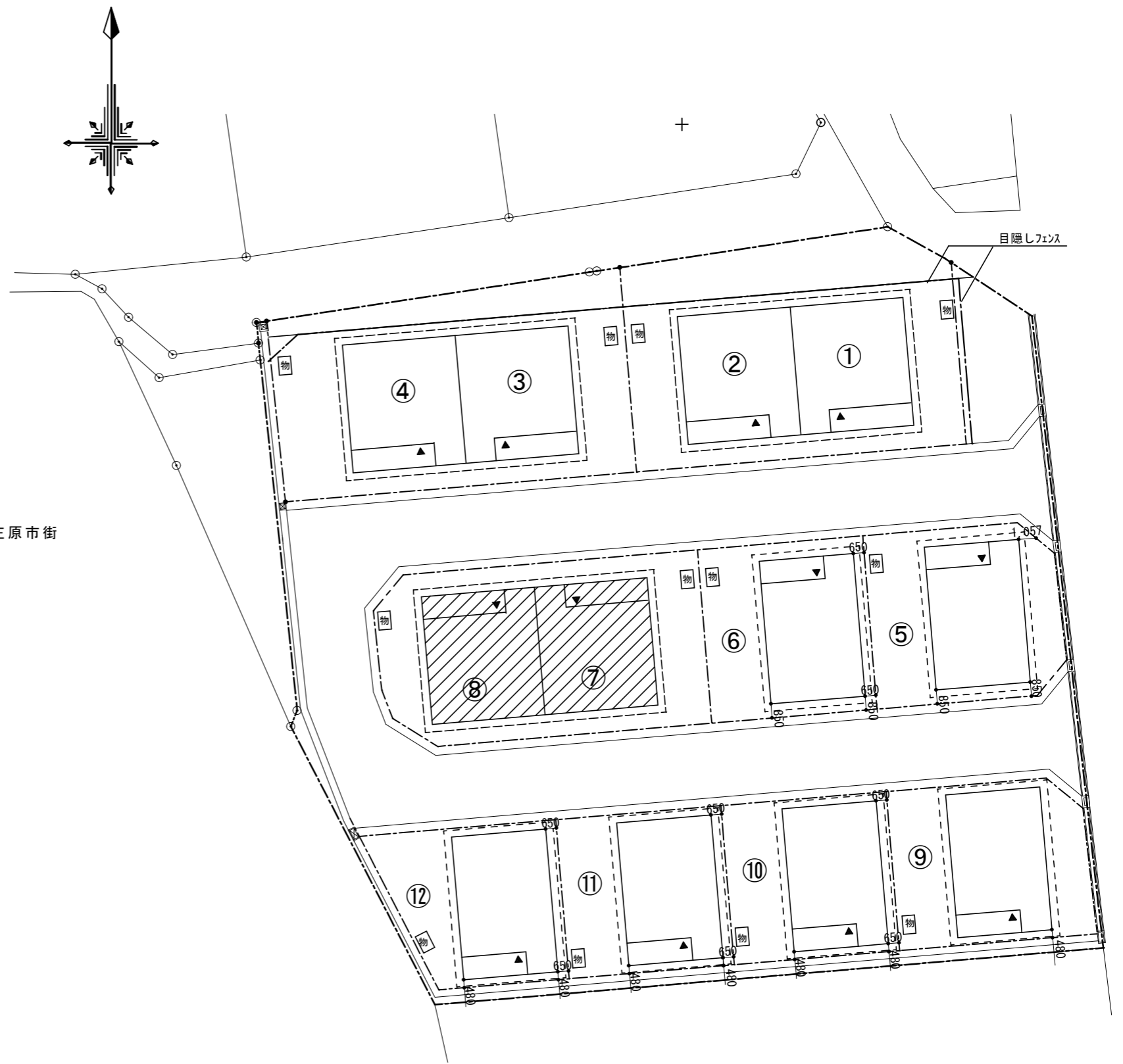
内部仕上表	階	室名	床		巾木		壁・腰		天井		廻り縁	造り付け家具・その他				
			下地・仕上げ		GL+H	下地・仕上げ		H	下地・仕上げ		FL+腰高	下地・仕上げ		FL+H		
	1階	玄関	コンクリート下地貧調合モルタル下地 150角磁器質タイル張り		311	モルタル下地 磁器質タイル		240	外壁面は、指定ボード下地 指定外 厚12.5石膏ボード下地 ビニールクロス貼 ※下駄箱裏面側壁は 厚12.5石膏ボード下地貼とする			厚9.5石膏ボード下地 ビニールクロス貼		2640	塩ビ見切	玄関扉 手摺(段差部昇降) 下駄箱ユニット (可動棚5段 D=300)
		廊下	厚24 構造合板床下地 厚12 化粧銘木柄合板707-ハ 裨 表面強化品		561	MDF基材化粧巾木		60~65	厚12.5石膏ボード下地 ビニールクロス貼 ※展開図指定腰壁(H=900)は 厚12.5石膏ボード下地貼とする			"		2400	"	手摺取付壁補強
		L・D・K	厚24 構造合板床下地 厚12 表面強化化粧合板707-ハ 裨貼		"	"		"	界壁面・外壁面は、指定ボード下地 厚12.5石膏ボード下地 ビニールクロス貼 流し台廻り 厚3 マシン不燃化粧板貼 キッチン裏面 厚12.5石膏ボード下地			"		"	"	床下点検口 給気ダクト・ガリ 住民告知端末(光回線)用空配管 ガス漏れ警報器 Wd-テンプル 流し台+コト台+吊戸棚+レンジフード換気扇 水切りカバー 24h用給気ダクト・ガリ エアコン用取付壁補強 配管スリーブ(内外キャップ付)
		洋室 6帖	厚24 構造合板床下地 厚12 表面強化化粧合板707-ハ 裨貼		"	"		"	外壁面は、指定ボード下地 指定外 厚12.5石膏ボード下地 ビニールクロス貼 ※エアコン取付予定面は 厚12.5石膏ボード下地貼			"		"	"	24h用給気ダクト・ガリ 住宅用火災警報器 Wd-テンプル エアコン用取付壁補強 エアコン配管スリーブ(内外キャップ付)
		トイレ	厚24 構造合板床下地 (※踏込はホル床張込み) 厚6 耐水合板調整捨貼下地 クッション707-貼り		561	"		"	界壁面・外壁面は、指定ボード下地 指定外 厚12.5マシン石膏ボード下地 ビニールクロス貼 ※手摺取付予定面及び展開図指定部分は 厚12.5石膏ボード下地貼			"		2254 2250	"	腰掛便器(暖房便座) グラブル紙巻器 手摺 タオル掛 24時間換気用換気扇
		洗面・脱衣室	厚24 構造合板床下地 (※踏込はホル床張込み) 厚9 耐水合板調整捨貼下地 クッション707-貼り		561	"		"	"			"		2250	"	洗面化粧台ユニット タオル掛 洗濯機防水パン 浴室出入り口手摺 天井点検口 床下点検口
		ユニットバス	UB-1216サイズ品 高齢者対応 LB(ベタリビング)認定		553~ 541	"		各部仕上はメーカー仕様による(天井・壁・床・浴槽は保温材裏貼)								
	共通	収納 (クローゼット・押入)	厚24 構造合板床下地 厚12 表面強化化粧合板707-ハ 裨貼		561	MDF基材化粧巾木		60~65	厚6 押入れ用化粧インシュレーションボード貼			"		2400	塩ビ見切	上部枕棚 ハンガーラック 天井点検口

特記	※ 庄原市公営住宅整備基準 住宅性能表示制度の評価項目 7項目 に適合すること。 構造安定:等級1 劣化軽減:等級2 維持管理:等級2 音環境:等級2 温熱環境:等級4又は3 空気環境:等級3 高齢者配慮:等級3 ※ 使用木材 素材、製材、各種合板、集成材の品質は、日本農林規格(JAS)に適合したものと、なるべく庄原市内産地産品・広島県内産品を使用する。													
	厚 9.5 PB 準不燃 認定番号QM-9828	ビニールクロス 準不燃認定品QM-9***品以上	不燃化粧石膏ボード 認定番号NM-0127-0128	準不燃化粧石膏ボード 認定番号QM-9824	厚 5・6 カベタイル 不燃 認定番号NM-9430-9371	断熱材 別紙図示の位置に別紙断熱材の仕様で下記の位置に施工の事 外部面の壁面・床下全面(コンクリート床・UBを除く)・天井全面(軒裏を除く)・界壁内部	瓦葺(法2条1項9号・令108条の2・建告H12-1400-3不燃材)							
	厚 12.5 PB 不燃 認定番号NM-8619	厚 12.5 防水PB 不燃 認定番号NM-9639	厚6 ケイカル板 不燃 認定番号NM-8578	厚 6 化粧タイルハ 裨 不燃 認定番号NM-1897地	厚 3 マシン不燃化粧板・7枚・大建ケル不燃 認定番号NM-2183・1386	シカハ対策建材 使用建築材料(面材仕上下地共・建具・家具等)は全てF☆☆☆☆とする。								
 有限会社谷口設計事務所 一級建築士事務所23(1)1191号 一級建築士第257054号 竹中 哲成										担当	工事名称 刈屋口公営住宅改築工事(3工区)			日付 令和7年度
										製図	図面名称 仕上表		縮尺	図番 A-10



工事場所：庄原市三日市町496番地1

附近見取図



物置 (MJX-117D イナバ物置)

全体配置図 S=1:300



有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所 23(1) 1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成

担当

工事名称

刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)

日付

令和7年度

製図

図面名称

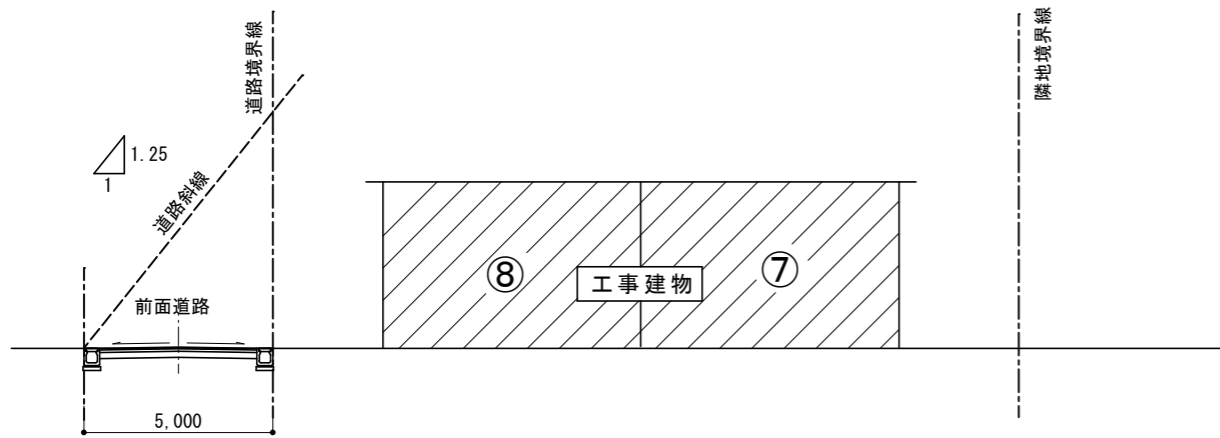
全体配置図 付近見取図

縮尺

S=1:300

図番

A-11

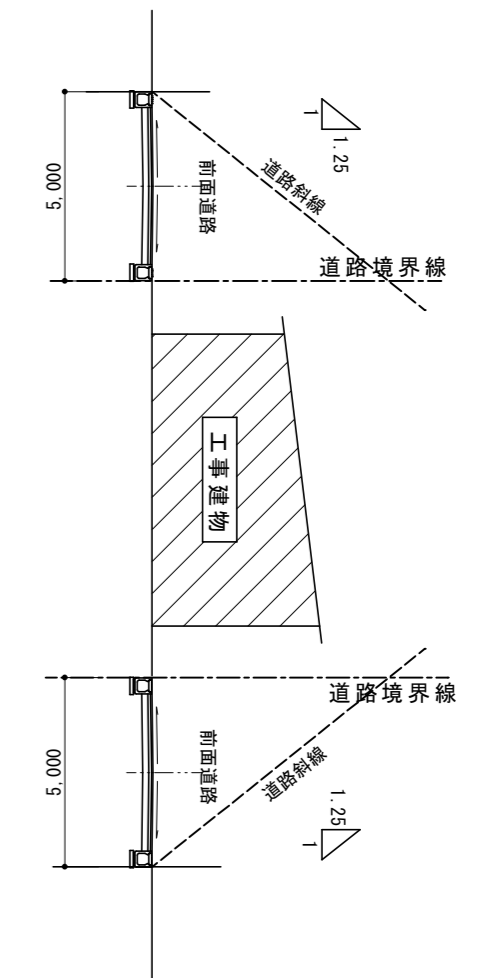
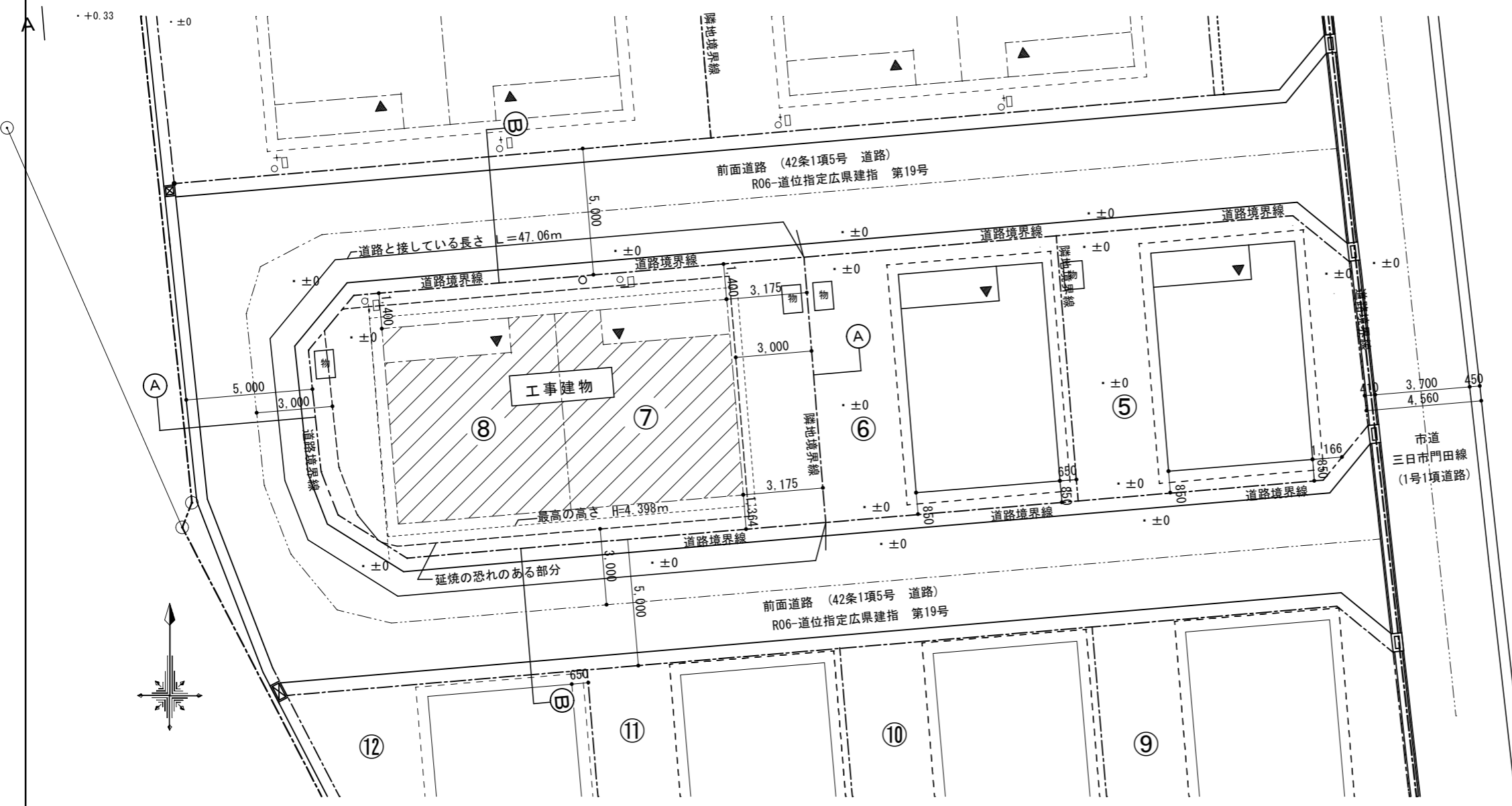


A-A 敷地断面図 S=1:200

道路斜線	
5.0 × 1.25 = 6.25m	OK
最高の高さ 4.398m	


※前面道路による容積率
5 × 6 / 10 × 100 = 300 (%)

※外構は全てコンクリート舗装 C-15-15



B-B 敷地断面図 S=1:200

配置図 S=1:200


 有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所 23(1) 1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成

担当	工事名称	日付
	刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)	令和7年度
製図	図面名称	図番
	配置図	A-12
	縮尺	S=1:200



敷地丈量図 S=1:250

⑦⑧区画敷地面積

番号	底 辺	高 さ	倍 面 積	面 積
1	14.52	7.23	104.9796	52.48980
2	14.52	7.23	104.9796	52.48980
3	9.99	1.57	15.6843	7.84215
4	11.85	3.99	47.2815	23.64075
5	12.56	1.64	20.5984	10.29920
6	12.56	3.15	39.5640	19.78200
7	12.41	5.57	69.1237	34.56185
合 計				201.10550
敷地面積				201.11㎡



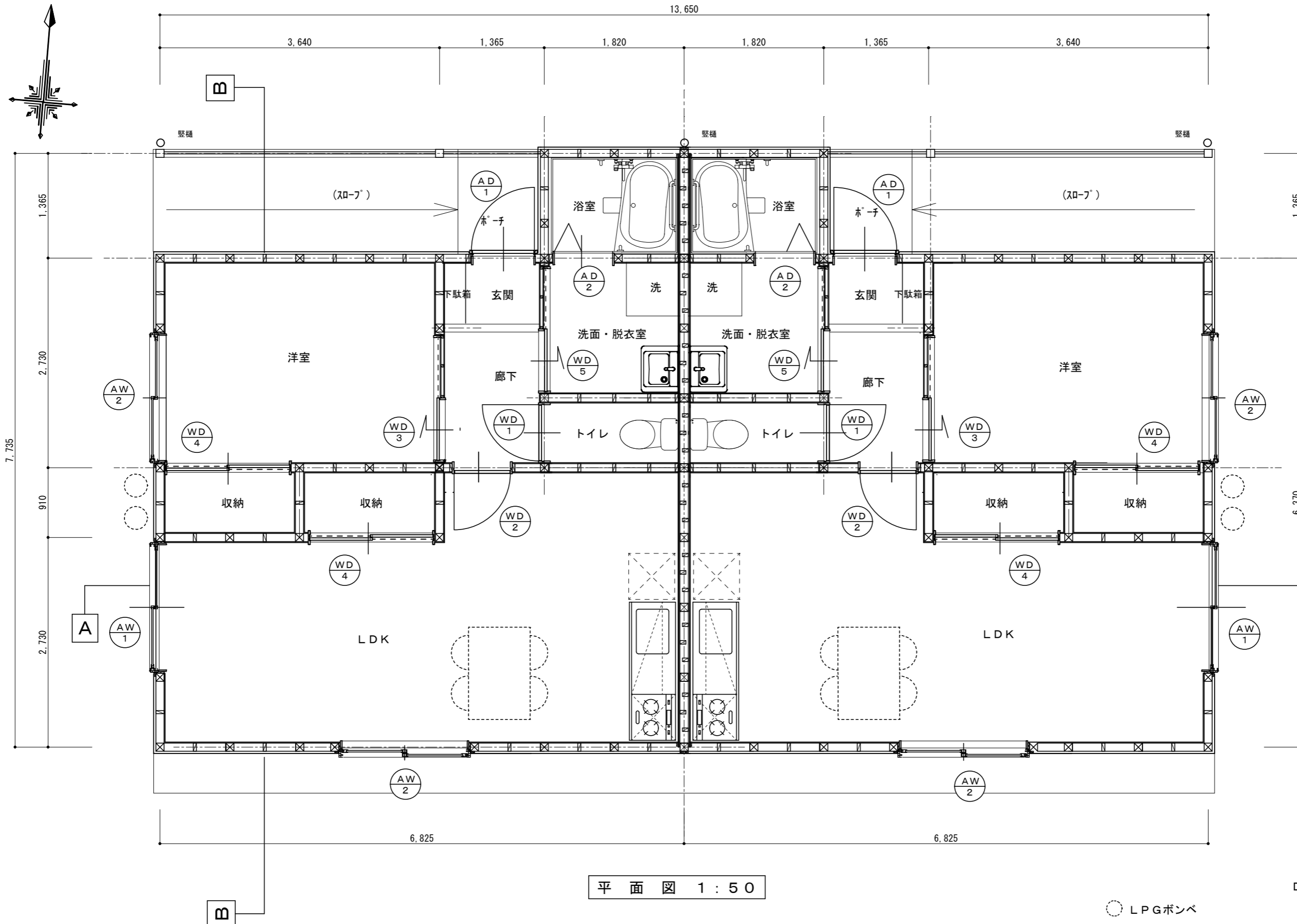
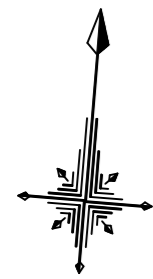
有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所 23(1) 1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成

担当
製図

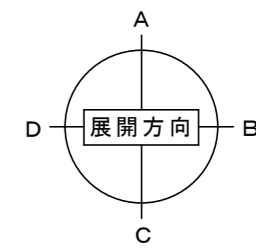
工事名称 刈屋口公営住宅改築工事(3工区)
 図面名称 敷地丈量図


縮尺 S=1:250

日付 令和7年
 図番 A-13

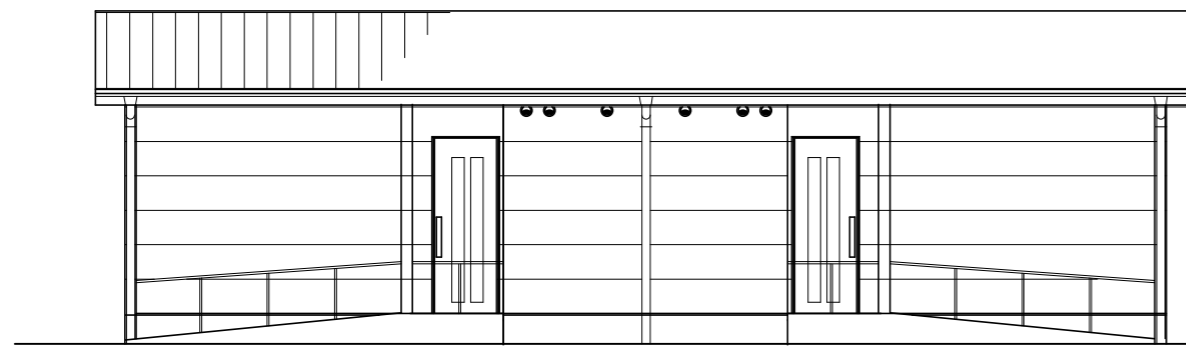


平面図 1:50

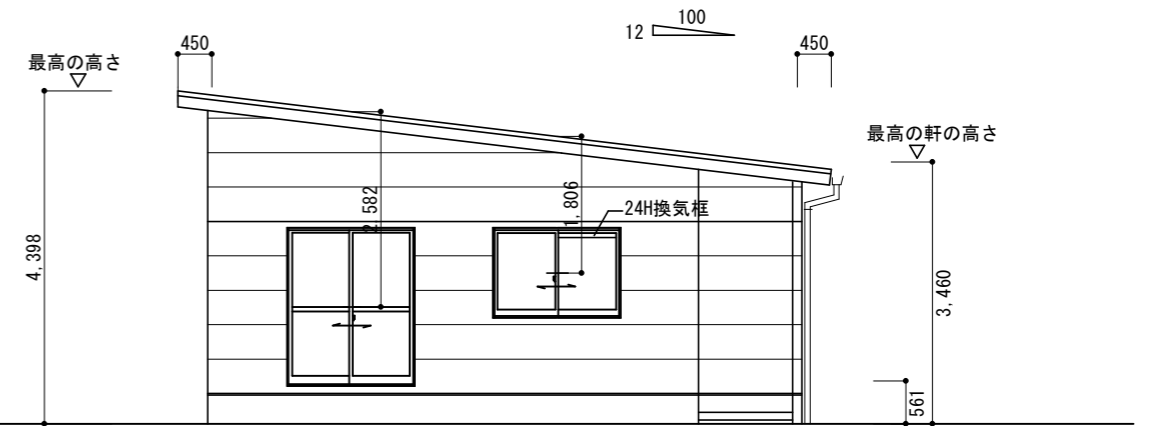



有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所 23(1)1191号
 一級建築士第257054号 竹中 哲成

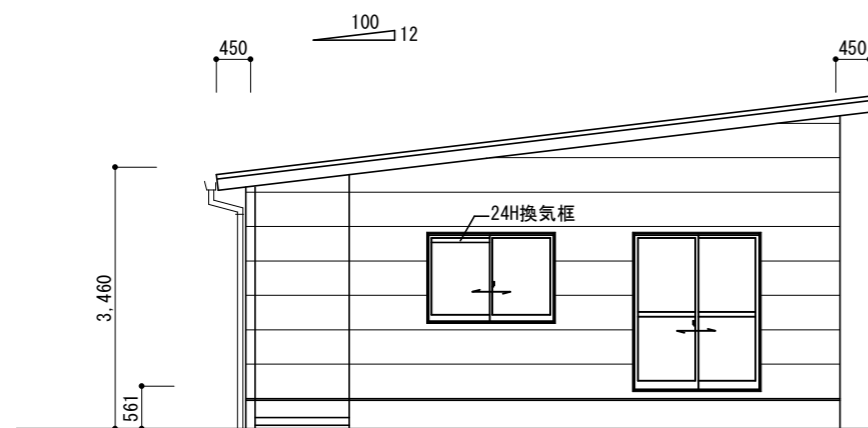
担当	工事名称	日付
製図	図面名称	令和7年度
	平面図	図番
	縮尺	A-14
	S=1:50	



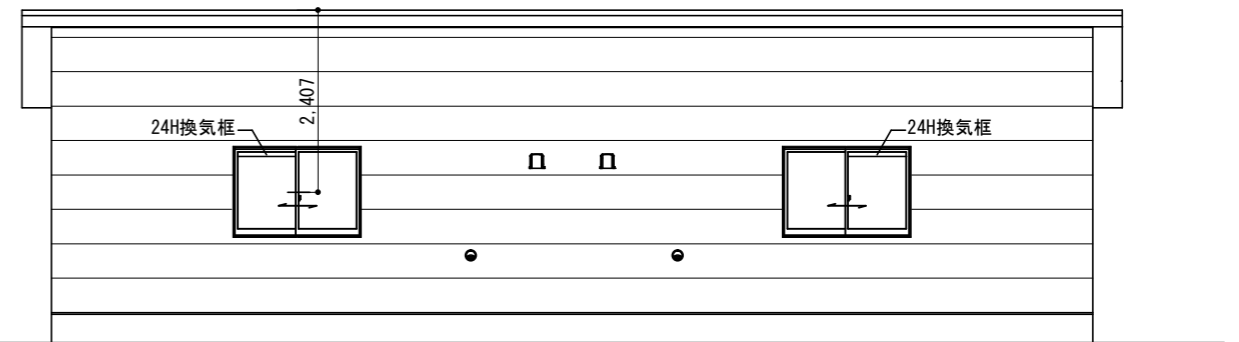
南側立面図 S=1:100



西側立面図 S=1:100



東側立面図 S=1:100



北側立面図 S=1:100



有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所 23(1)1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成

担当

工事名称

刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)

日付

令和7年度

製図

図面名称

立面図

縮尺

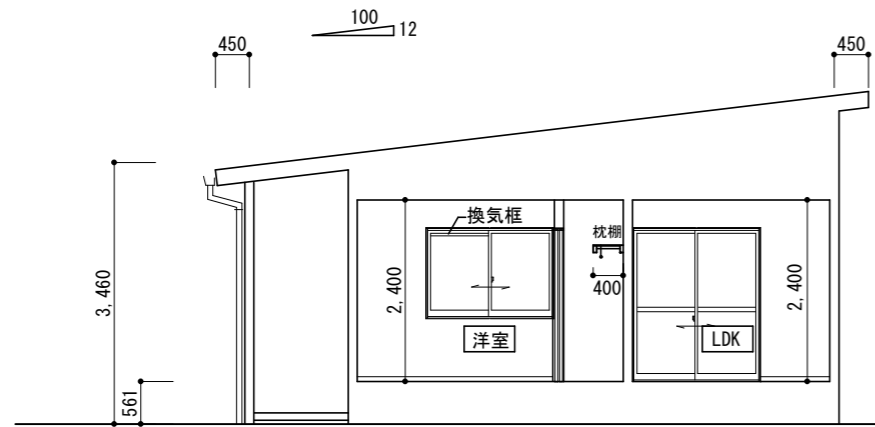
S=1:100

図番

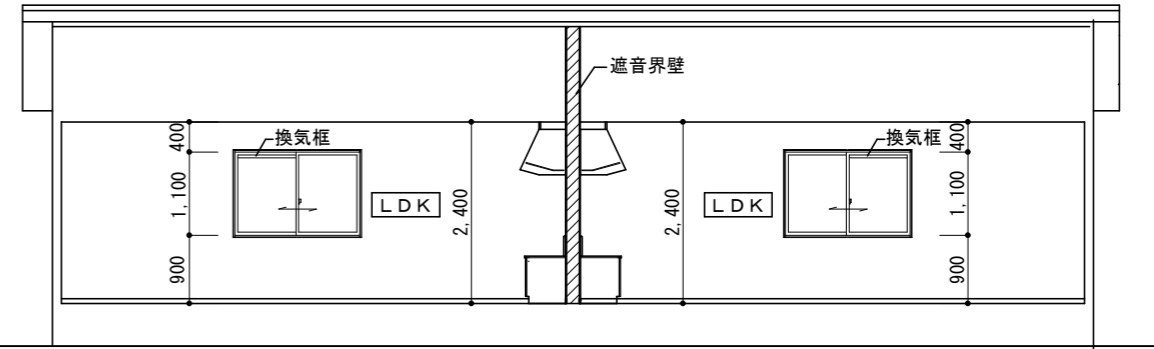
A-15

界壁仕上

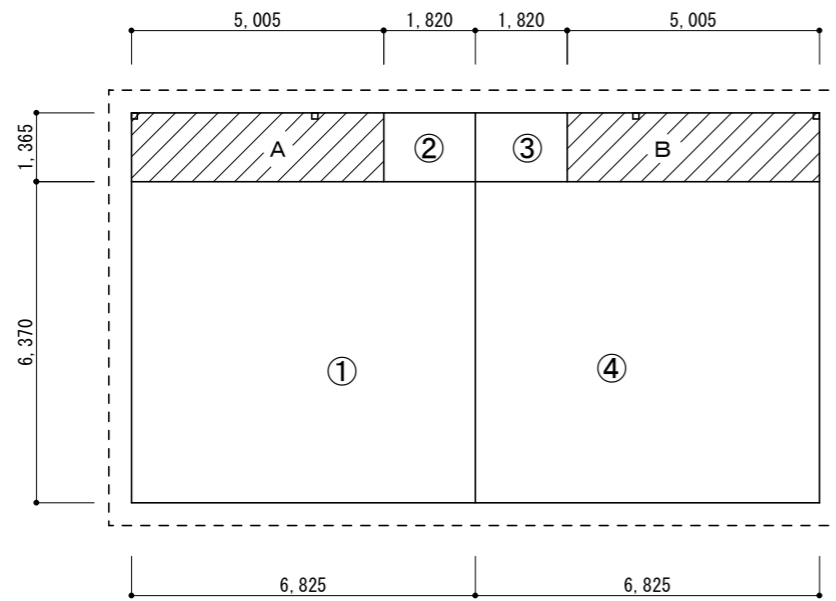
遮音界壁構造 建告1827号 準耐火構造 建告1358号
木造厚105下地両面石膏板・ト厚12.5二重張
(厚50ｸﾞﾗｽｸｰﾙ入：密度=24kg/m3以上)



A-A断面図 S=1:100



B-B断面図 S=1:100



建物丈量図 S=1:150

建築面積に算入する部分

1階床面積		
①	6.825 × 6.37	43.475
②	1.82 × 1.365	2.484
③	1.82 × 1.365	2.484
④	6.825 × 6.37	43.475
床面積 合計		91.918 → 91.92㎡

建築面積		
A	5.005 × 1.365	6.832
B	5.005 × 1.365	6.832
床面積		91.918
建築面積 合計		105.582 → 105.58㎡



有限会社 谷口設計事務所
一級建築士事務所 23(1)1191号
一級建築士 第257054号 竹中 哲成

担当

工事名称

刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)

日付
令和7年度

製図

図面名称

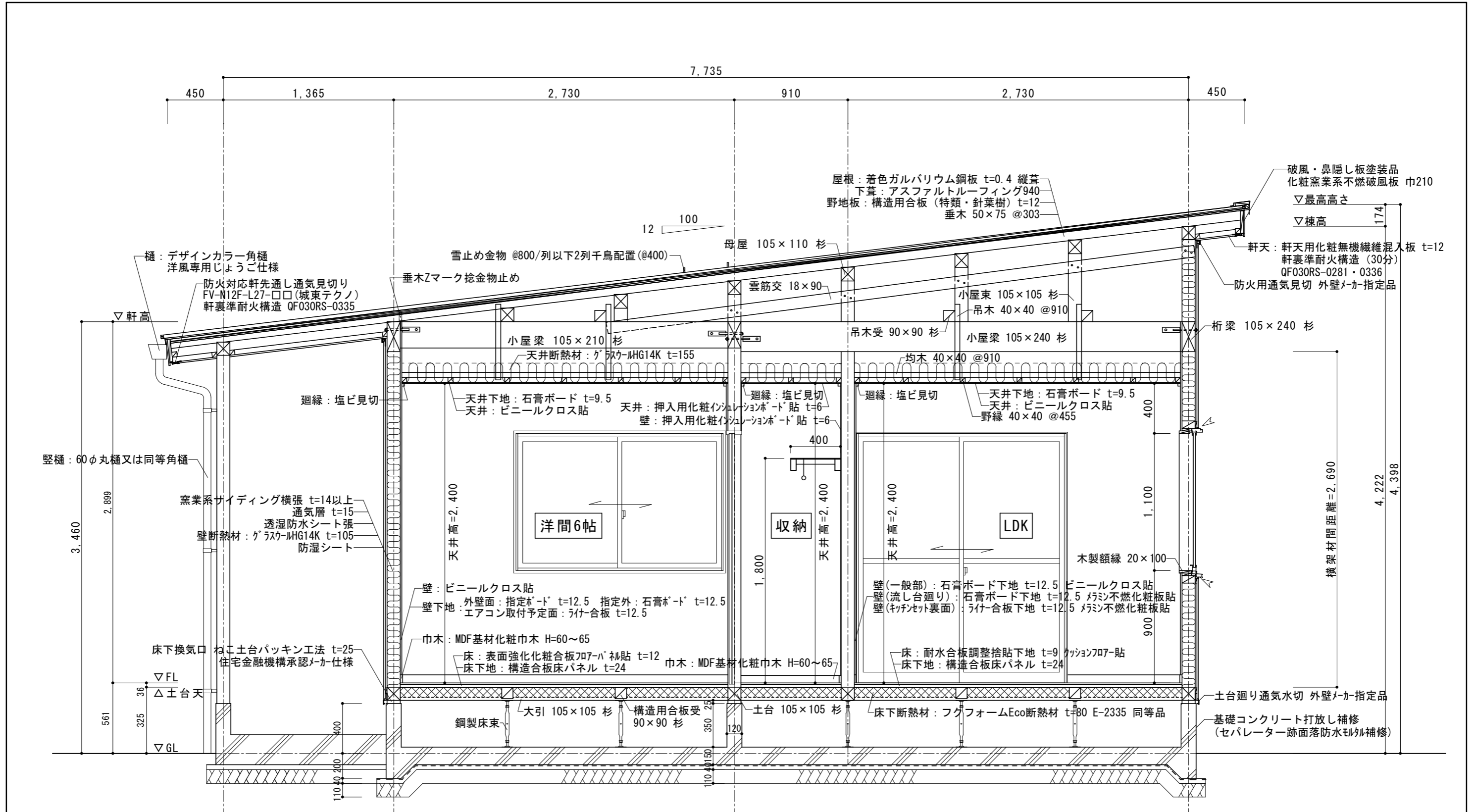
断面図 建物丈量図

縮尺

S=1:100
S=1:150

図番

A-16



建物各部位の断熱材の仕様は下記とする

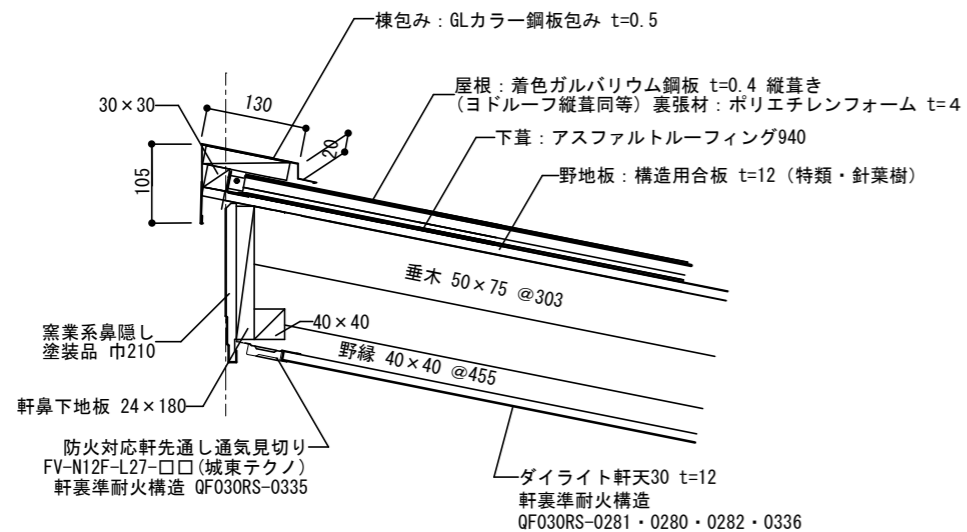
地域区分：5地域

B-B矩計図 S-1:30

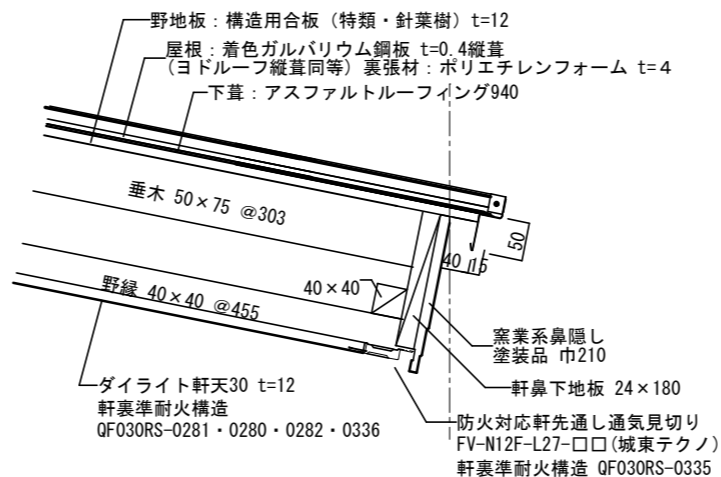
外壁の全面は下記仕様とする

住宅用グラスウール断熱材 (旭ファイバーグラスK アクアシリーズ)	
天井断熱材	ACM-00109052 (GWHG14-38) 高性能14kg/m ³ 厚155 (熱抵抗R=4.1m ² ・K/W 熱伝導率λ=0.038W/m・K) +別張り防湿シート
壁断熱材	ACS-00111164 (GWHG14-38) 高性能14kg/m ³ 厚155 (熱抵抗R=4.1m ² ・K/W 熱伝導率λ=0.038W/m・K)
壁断熱材	ACN-00109080 (GWHG14-38) 高性能14kg/m ³ 厚105 (熱抵抗R=2.8m ² ・K/W 熱伝導率λ=0.038W/m・K)
界壁断熱材	ACM-00109122 (GWHG24-34) 高性能24kg/m ³ 厚50 (熱抵抗R=1.5m ² ・K/W 熱伝導率λ=0.034W/m・K)
フクフォームEcoシリーズ	
床下断熱材	E-2335・2335K・2335K35型 JIS A 9521 厚80 (熱抵抗R=2.2m ² ・K/W 熱伝導率λ=0.036W/m・K)

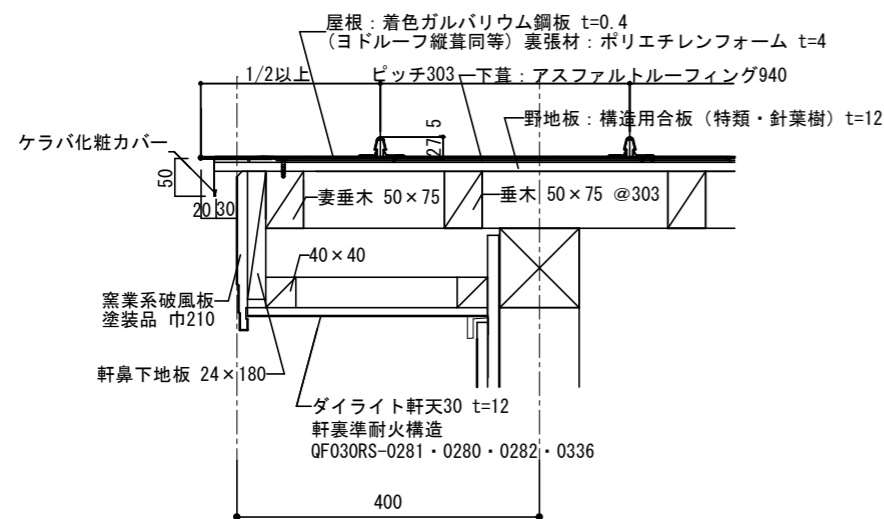
厚14以上 窯業系サイディング横張 (通気層厚15) 透湿防水シート張 準不燃QM-0639 防火PC030BE-9201
屋内側 厚100mmのグラスウール充填 厚9.5mm以上のPB張り (本件 厚12.5mmPB) 又は厚4.0mm以上の合板張り (本件 厚12.5mmライナー合板)



棟先取合詳細図 1/10

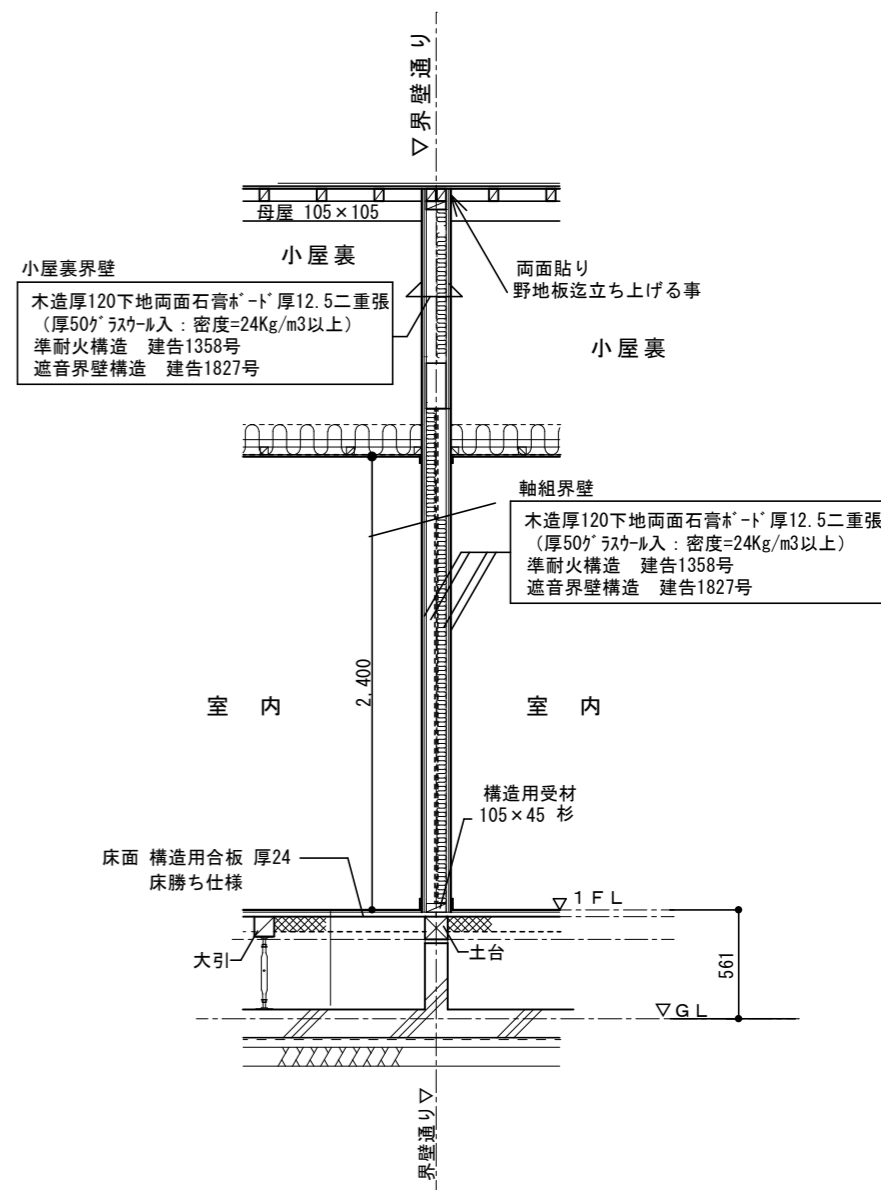


軒先取合詳細図 1/10



ケラバ取合詳細図 1/10

※1 アスファルトフイックの敷き込みは、以下の点に留意の事。
 ・軒先部は、防水テープを用い軒先捨水切に密着する。
 ・流れ方向は100mm以上、左右方向は200mm以上重ね合わせる。
 ※2 外部の締結ビスは、座金、パッキン付ビス(5φ以上)を使用する事。



界壁断面図 S:1/40



有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所 23(1) 1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成

担当

工事名称

刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)

日付

令和7年度

製図

図面名称

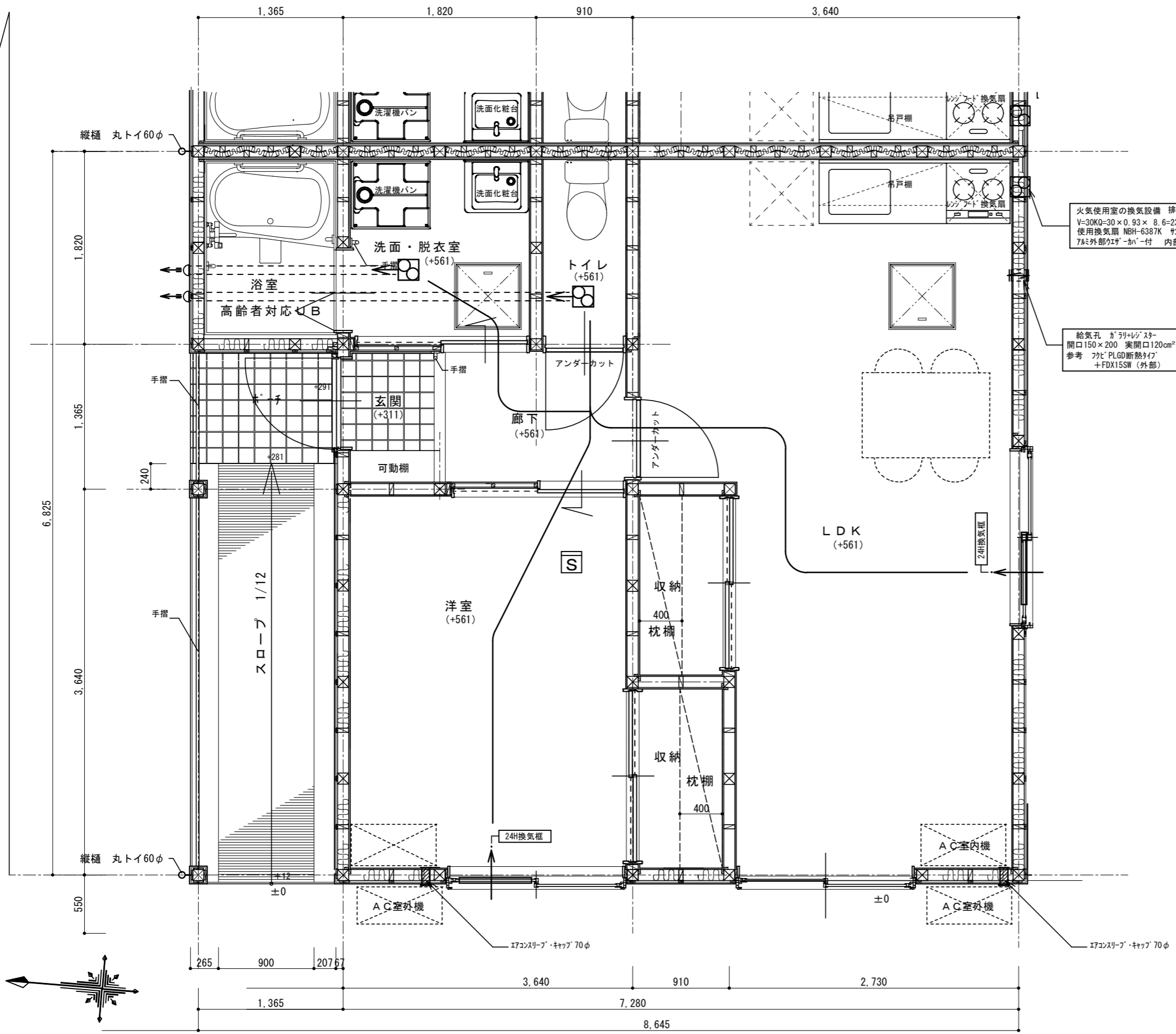
部分詳細図

縮尺

S=1:30

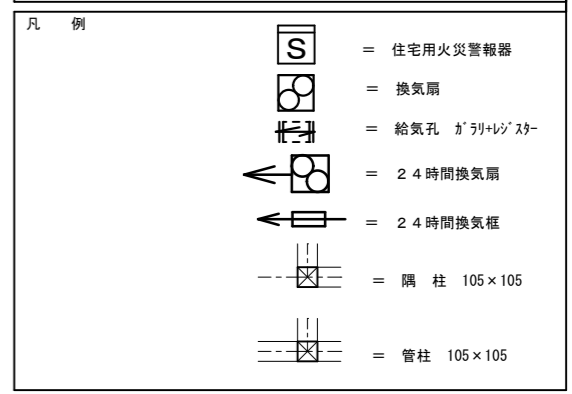
図番

A-18



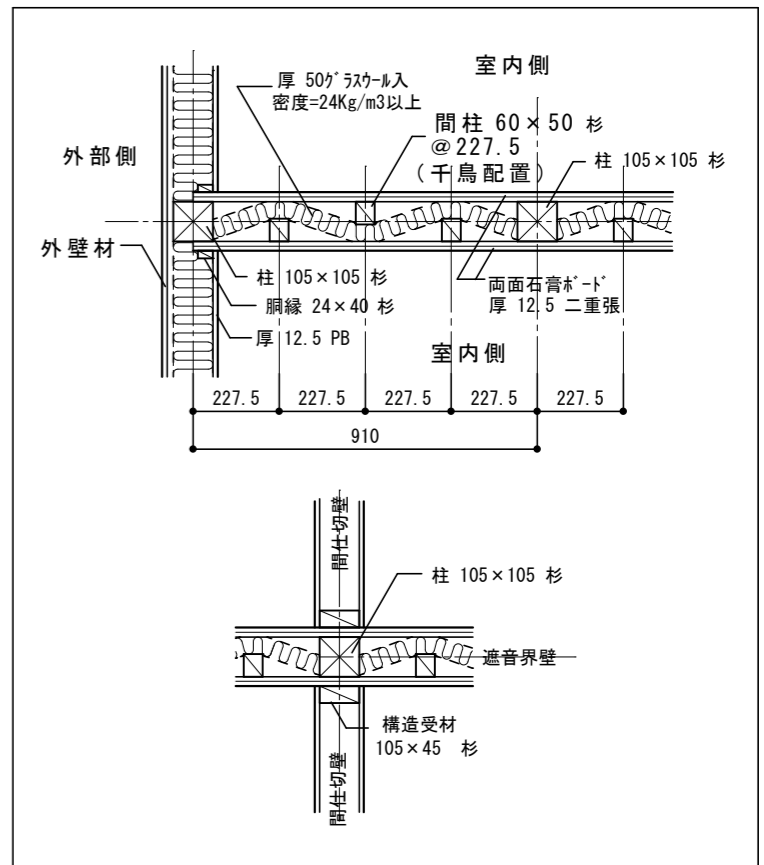
特記
 隅柱・管柱は杉105角とする。
 給気ユニット取付け高さは、天井高の2/3以上の位置に取付ける
 火気使用室の給気孔取付け高さは、天井高の1/2以下の位置に取付ける
 火気使用室の室内仕上
 本建物はガス機器その他の火気の器具はDKとし、天井・壁の仕上げは準不燃仕上げとする。

(天井裏等への措置)
 天井裏等(小屋裏・床裏・外壁・間仕切壁・収納等)の使用材料は、第3種ホルムアルデヒド発散建材F☆☆☆☆以上の建材以外を使用しない。
 (内装使用建築材料)
 本工程の内装の建築材料(各面材仕上・建具・家具ユニット等)に使用する材料種別は、建築基準法規制対象外F☆☆☆☆又は、告示対象外として国土交通省建築指導課が例記した建材以外を使用しない。



火気使用室の換気設備 排気フード1型 必要換気量
 $V=30KQ=30 \times 0.93 \times 8.6=234m^3/h$
 使用換気扇 NBH-6387K サウナーブ 480m³/h
 7ö外部ガス+ガ+付 内部フード キッチンセット品

給気孔 ガリ+レジスター
 開口150×200 実開口120cm²
 参考 フォビ PLGD断熱タイプ
 +FDX15SW (外部)

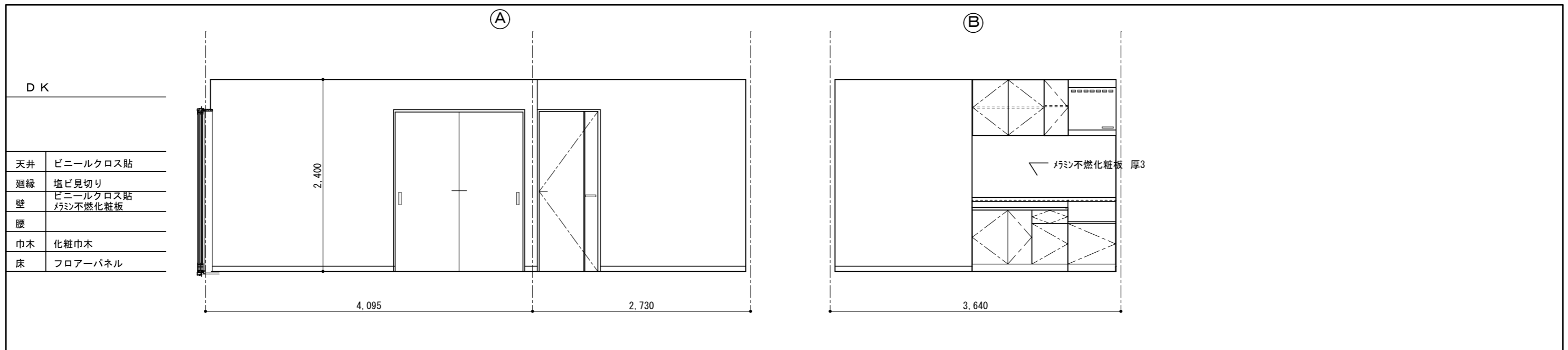


界壁平面詳細図 S=1:20
 準耐火構造 建告1358号 遮音界壁構造 建告1827号

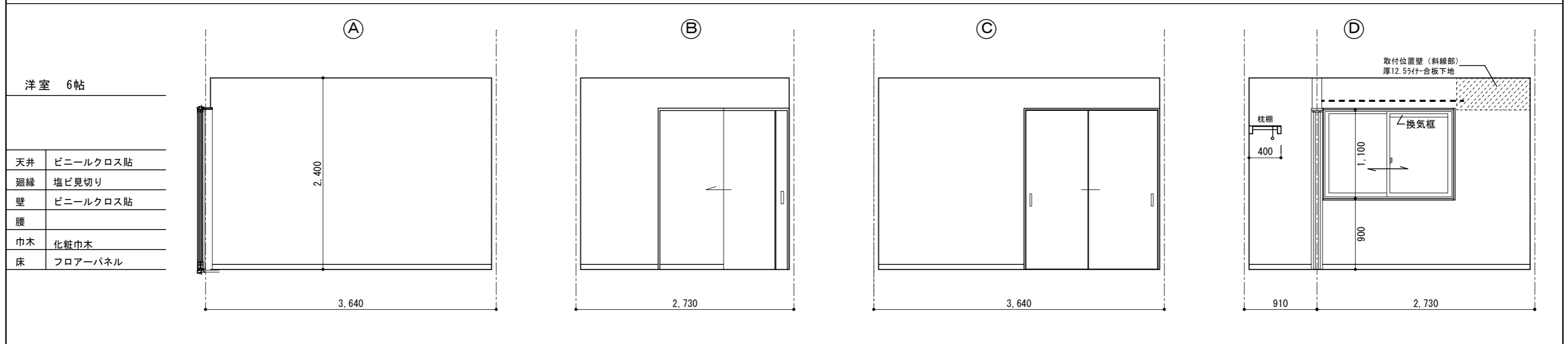
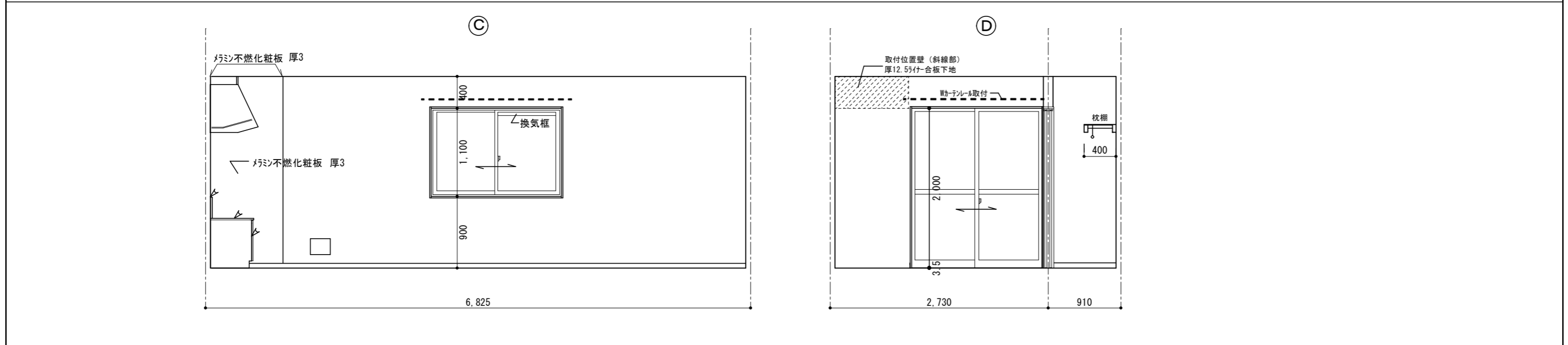
平面詳細図 S=1:40

有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所 23(1)1191号
 一級建築士第257054号 竹中 哲成

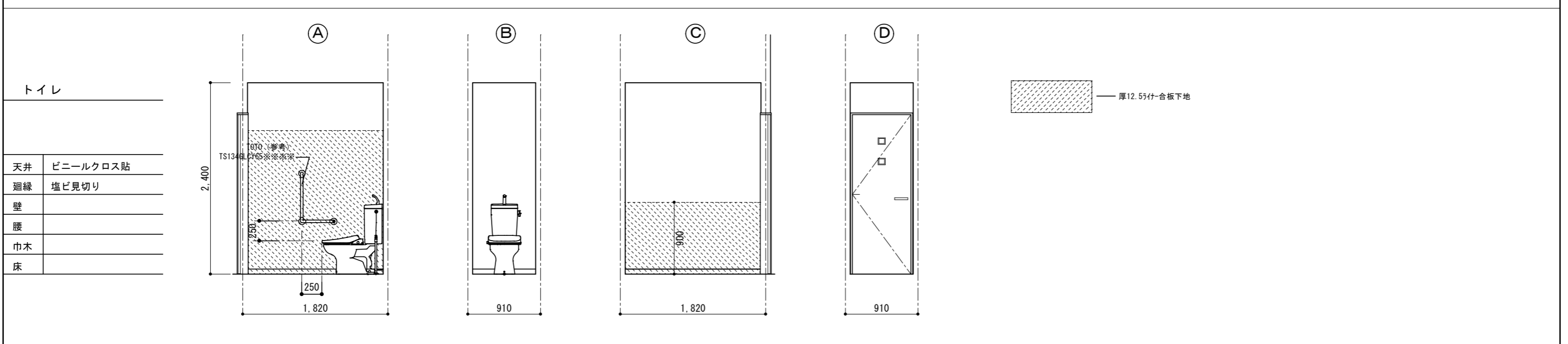
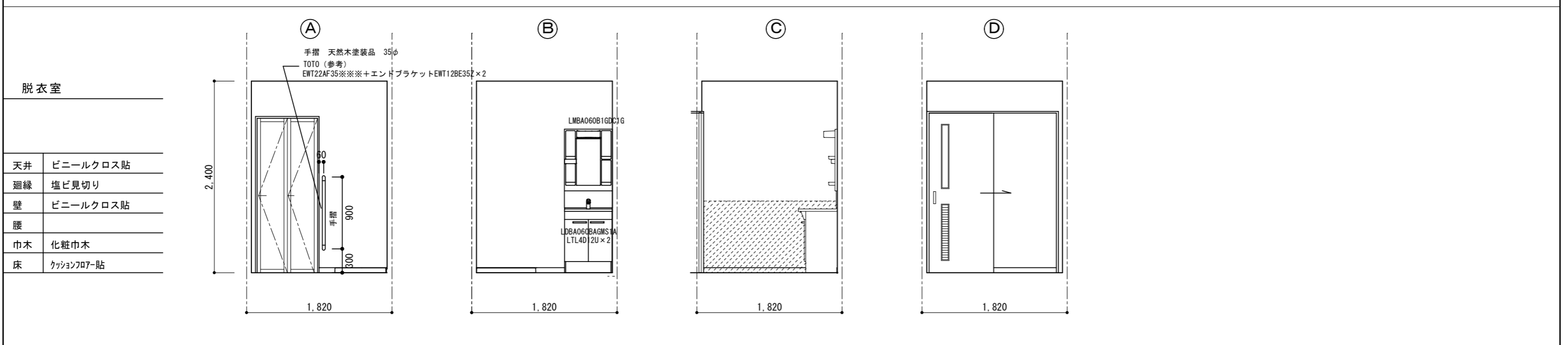
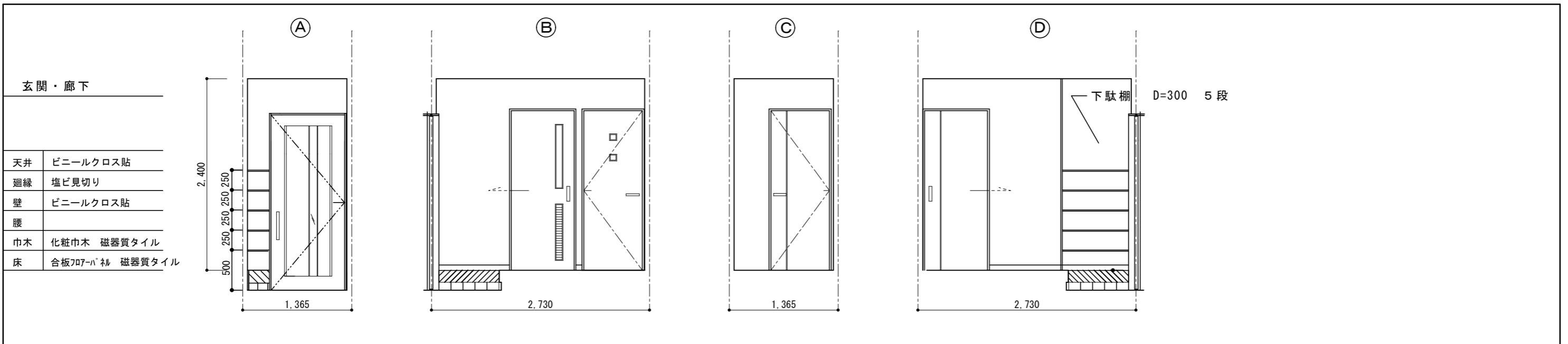
担当	工事名称	日付
製図	図面名称	令和7年度
	平面詳細図	図番
	縮尺 S=1:40 S=1:20	A-19

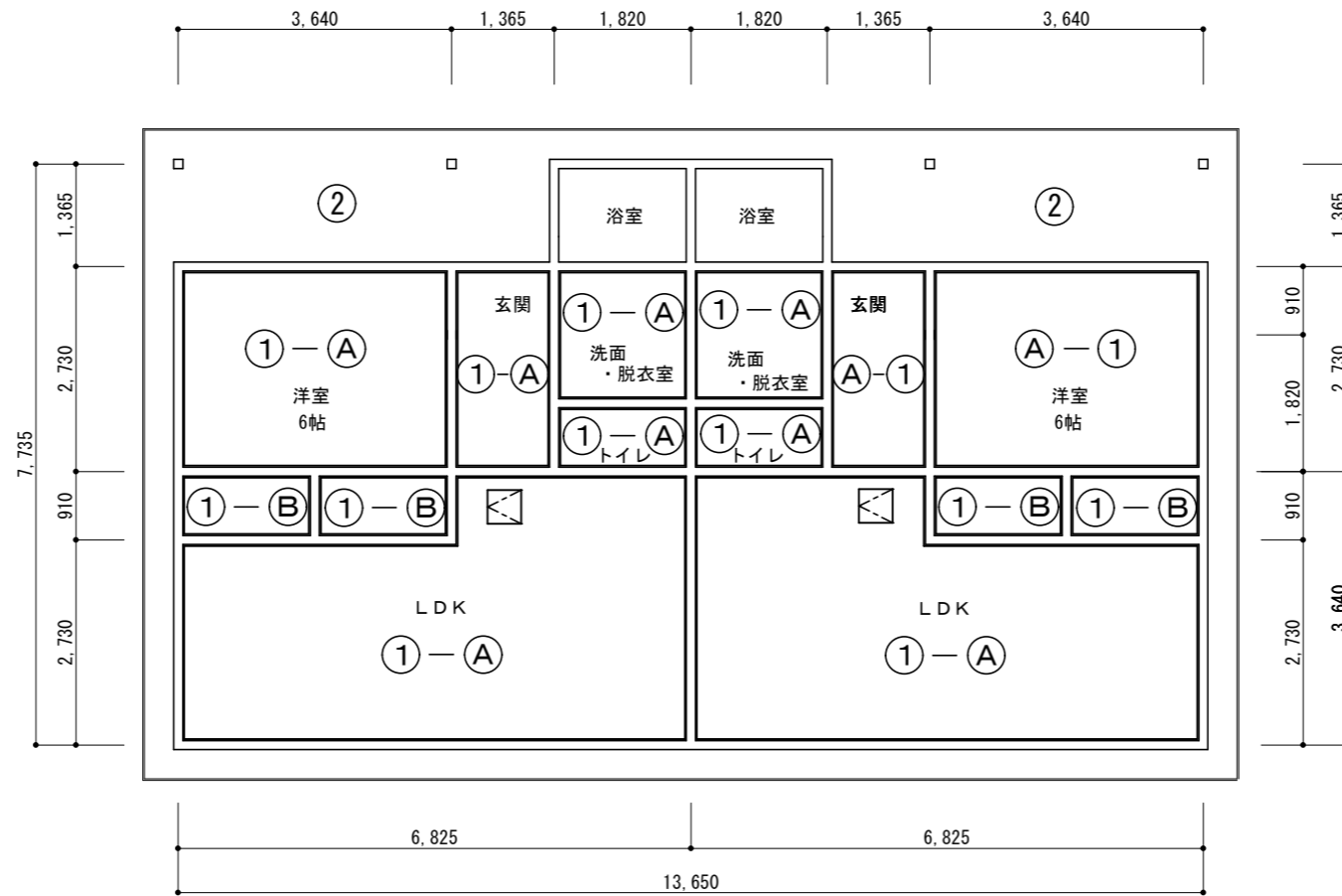


天井	ビニールクロス貼
廻縁	塩ビ見切り
壁	ビニールクロス貼 珪藻土不燃化粧板
腰	
巾木	化粧巾木
床	フローアパネル




天井	ビニールクロス貼
廻縁	塩ビ見切り
壁	ビニールクロス貼
腰	
巾木	化粧巾木
床	フローアパネル





天井伏図 S=1:100

 天井改め口 断熱材 450×450

天井仕上記号表	
記号	下地 仕上
A	厚9.5 石膏ボード下地 ビニルクロス貼 準不燃指定
B	厚6 押入れ用化粧インシュレーションボード貼
C	厚12 軒天用化粧無機繊維混入板 (ｸﾞﾗｲﾄﾞ化粧柄品) 準耐火指定
廻縁仕様記号表	
1	塩ビ見切 (ﾌｵﾚｰﾌ見切)
2	MDF基材 化粧廻縁 H=30~35程度



有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所 23(1)1191号
 一級建築士第257054号 竹中 哲成

担当

工事名称

刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)

日付

令和7年度

製図

図面名称

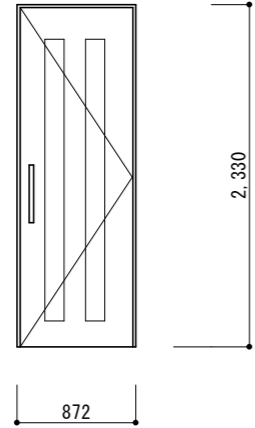
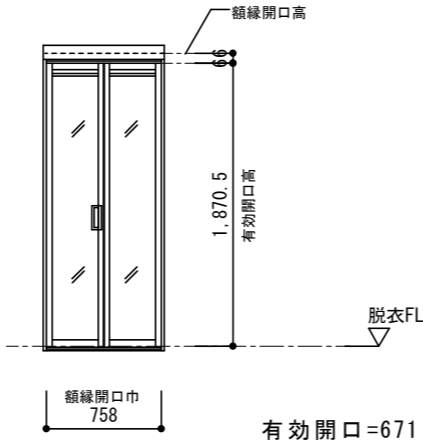
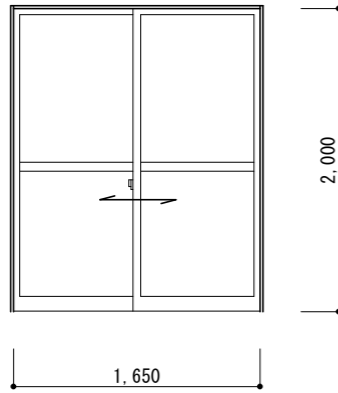
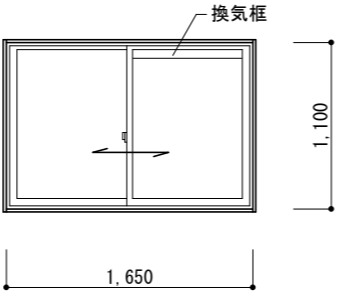
天井伏図

縮尺

S=1:100

図番

A-22

符号・数量	(AD1) 片開き玄関ドア 数量 2ヶ所	(AD2) ユニットバスメーカー付属品 浴室中折ドアー 数量 2ヶ所		
姿図		脱衣側額縁は別途建築工事取付け 		
使用箇所・見込	玄関 枠見込 100	ユニットバス付属品カラーアルミサッシ		
材質	化粧鋼板フラッシュ戸/アングル付			
ガラス	型板 複層ガラス (3+A6+4)	メーカー標準カラー		
塗装・色柄	アルミ製 カラー	型板 樹脂面材		
付属金物	フラッシュ戸錠 2ロック 丁番 DC ドアガード	開閉取っ手 ロック 付属品一式		
額縁・枠	アングル3方	MDF木目柄化粧三方枠 ※ 20×47137・30134		
備考	玄関ドア (YKK 同等品) ポスト無し			
符号・数量	(AW1) 引き違いサッシ 数量 2ヶ所	(AW2) 引き違い窓(中連) 数量 4ヶ所		
姿図		換気框 		
使用箇所・見込	LDK 枠見込 70	LDK 洋間6畳 枠見込 70		
材質	アルミサッシ 半外付け	アルミサッシ 半外付け		
ガラス	透明 Low-E複層ガラス FL4+A15+LowE3 日射遮蔽型	透明 Low-E複層ガラス FL4+A15+LowE3 日射遮熱型		
塗装・色柄	メーカー標準カラー	メーカー標準カラー		
付属金物	クレット、戸車、 付属金物一式	クレット、戸車 付属金物一式		
額縁・枠	三方枠	四方枠		
備考	網戸 (YKK エピソード II 同等品)	網戸 (YKK エピソード II 同等品)		

符号・数量	WD1 片開きドア 数量 2ヶ所	WD2 片開きドア 数量 2ヶ所	WD3 片引き戸 数量 2ヶ所	WD4 引違い戸 数量 4ヶ所
姿図				
使用箇所・見込	トイレ ドア見込 35	LDK ドア見込 35	DK 引き戸見込 30	洋室6.5帖 洋室5.5帖 引き戸見込 30
材質	化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット (既製品)		化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット (既製品)	
ガラス	樹脂板		樹脂板	
塗装・色柄	メーカー標準色柄		メーカー標準色柄	
付属金物	ハート錠・丁番・戸当り・沓摺・ドアローザ (Sなし) 標準金物一式	ハート錠・丁番・戸当り・沓摺・ドアローザ (Sなし) 標準金物一式	戸車・引手 標準金物一式	レール 戸車 引手 標準金物一式
額縁・枠	メーカー専用化粧部材枠		メーカー専用化粧部材枠	
備考	ラフォレスタ (YKKAP 同等品)		ラフォレスタ 上吊り片引込 (YKKAP 同等品)	
符号・数量	WD5 片引き戸 数量 2ヶ所			
姿図				
使用箇所・見込	脱衣室 引き戸見込 30			
材質	化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット (既製品)		化粧シート貼木質系フラッシュ建具・枠セット (既製品)	
ガラス	樹脂板		樹脂板	
塗装・色柄	メーカー標準色柄		メーカー標準色柄	
付属金物	吊車・引手・間仕切錠・振れ止め・大型ハート錠 標準金物一式		吊車・引手 標準金物一式	
額縁・枠	メーカー専用化粧部材枠		メーカー専用化粧部材枠	
備考	ラフォレスタ 上吊り2枚連動片引戸 (YKKAP 同等品)		ラフォレスタ 上吊り2枚連動片引戸 (YKKAP 同等品)	



有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所 23 (1) 1191号
 一級建築士第257054号 竹中 哲成

担当

工事名称

刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)

日付
令和7年度

製図

図面名称

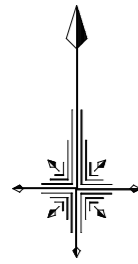
建具表 2

縮尺

S=1:50

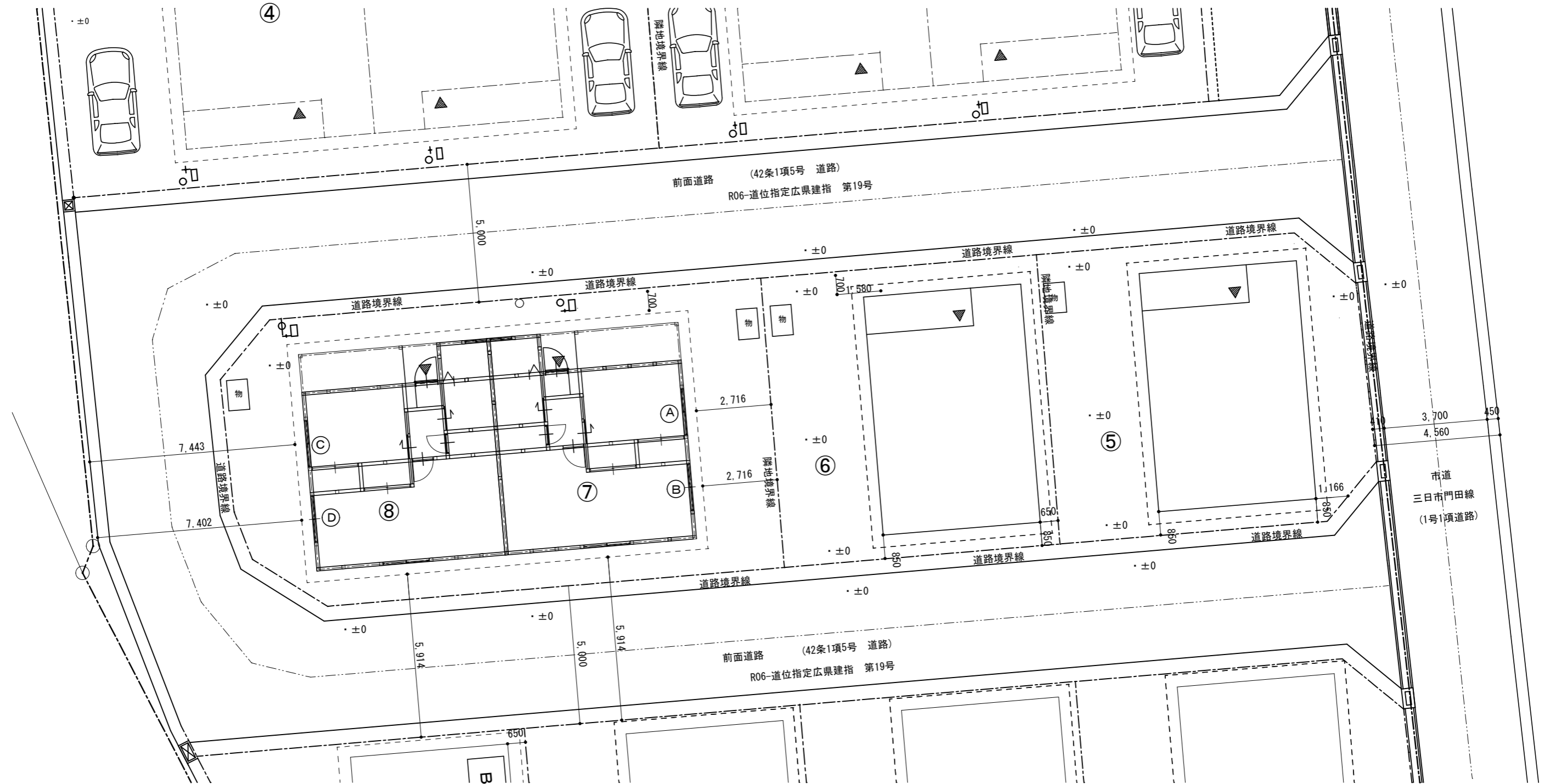
図番

A-24



採光補正係数

A	$2.16 \div 1.806 \times 6 - 1.4 = 5.77$	3
B	$2.716 \div 2.582 \times 6 - 1.4 = 4.91$	3
C	$7.433 \div 1.806 \times 6 - 1.4 = 23.29$	3
D	$7.402 \div 2.582 \times 6 - 1.4 = 15.8$	3



有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所 23(1) 1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成

担当

工事名称

刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)

日付
令和7年度

製図

図面名称

採光補正係数

縮尺

S=1:150

図番
A-25

木造用鉄筋コンクリート部分構造特記

適用範囲

- 「国土交通省大臣官房官庁営繕部制定公共建築工事共通仕様書」最新年度版及びフラット35対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）及び日本住宅性能表示基準（国土交通省）による。
- 図面、特記仕様書に記載してある事項以外は、この基準に寄る。
- 使用鉄筋は原則として異形鉄筋 J I S G 3 1 1 2 の規格品とし、溶接金網は J I S G 3 5 5 1 の規格品とする。
- 特に設計者の指示のある場合には、その指示に従うものとする。

1. 共通事項

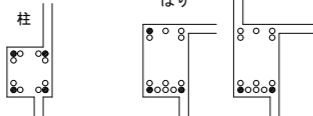
A. 鉄筋の表示記号

表示記号	/	×	∅	●	○	⊙	⊗	◎
異形鉄筋径	D 10	D 13	D 16	D 19	D 22	D 25	D 29	D 32

- この配筋基準図は異形鉄筋で表示してあるが、特記で丸膏と指定されている場合は、その径を上記鉄筋径欄該当の径に読み替えるものとする。
- 上記の表示記号を使用しない場合は特記による。
- 上記の表示記号は、この配筋基準図には適用しない。

B. 異形鉄筋の末端部

- 下記の場合はフックを付ける。
- 柱の四隅にある主筋で、重ね継手及び最上階の柱頭にある場合。
 - はり主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端にある場合。但し基礎ばりを除く。



- 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合）。
 - 杭基礎のベース筋。
- （※）帯筋、あばら筋及び巾止め筋。

C. 鉄筋の折曲げ加工

- 末端部の折曲げ。

曲げ角度	折曲げ図	すべてのコンクリート			使用箇所	
		SR 235 SRR 235 SD 235 SDR 235	SD 295 SD 345	SD 390		
180°		D	3d 以上	4d 以上	5d 以上	柱、はりの主筋及び杭基礎のベース筋並びに径16mm以上の鉄筋
		L	11d 以上	12d 以上	14d 以上	
135°		D	3d 以上	4d 以上	—	径13mm以下の鉄筋並びにあばら筋、帯筋、スパイラル筋及び床版筋
		L	11d 以上	12d 以上	—	
90°		D	3d 以上	4d 以上	—	T形及びL形はりのあばら筋
		L	12d 以上	12d 以上	—	
90° 135°		D	3d 以上	4d 以上	—	巾止め筋
		L	8d 以上	8d 以上	—	
		L'	9d 以上	10d 以上	—	

- (注) 1. Dは、曲げ内のり直径
2. L及びL'は、フック部分の長さ

(1) 末端部の折曲げ。

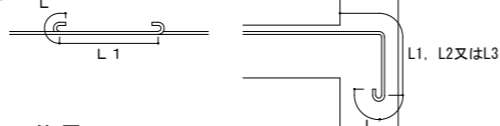
曲げ角度	折曲げ図	すべてのコンクリート				使用箇所	
		SR235 SRR235	SD235 SDR235	SD295 SD345	SD390		
90° 以下		D	3d 以上	—	4d 以上	あばら筋、帯筋、スパイラル筋	
		D	5d 以上	—	5d 以上		径16mm以下の床版筋、壁筋
		D	6d 以上	—	6d 以上		
90° 以下		D	8d 以上	—	8d 以上	上記以外の鉄筋で、丸鋼は28mm以下、異形鉄筋はD25以下	
		D	—	—	—		上記以外の鉄筋で、丸鋼は32mm以下、異形鉄筋はD29以上D41以下

D. 鉄筋の継手及び定着の長さ

(F_o)が210Kg/Cm²以上270Kg/Cm²未満の場合。

鉄筋の種類	設計強度 F _o (Kg/Cm ²)	フックなし				フックあり			
		L1	L2	L3		L1	L2	L3	
				小ばり	床版			小ばり	床版
SR235 SRR235	21以上 27未満	—	—	—	—	35d	35d	25d	150mm
SD235 SDR235	21以上 27未満	30d	25d	25d	10d 且つ 150mm 以上	20d	15d	15d	—
SD295 SD345	21以上 27未満	40d	35d	25d	10d 且つ 150mm 以上	30d	25d	15d	—
SD390	21以上 27未満	45d	40d	25d	10d 且つ 150mm 以上	35d	30d	15d	—

- (注) 1. L1: 継手並びに下記2.及び3.以外の定着の長さ。
2. L2: 異形鉄筋で、割裂破壊の恐れのない箇所の定着の長さ。
3. L3: 小ばり及びスラブの下端筋の定着の長さ。但し、基礎耐圧版、これを受ける小ばりなどを除く。
4. フックのある場合の、L1、L2及びL3は下記に示すようにフックの部分L'を含まない。



E. 隣接継手の位置

フックのある場合		$a = 0.5L$	$a = 0.5L$
フックのない場合		$a = 0.5L$	$a = 0.5L$
圧接の場合		$a \geq 400mm$	a

(注) スラブ及び壁の場合は除く。

2. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

A. 鉄筋の最小かぶり厚さ (mm)

構造部分の種類	すべてのコンクリート		
	仕上がりあり	仕上がりなし	
土に接しない部分	床版、耐力壁以外の壁	30	
	柱	屋内	40
		屋外	40
	はり	40	
土に接する部分	耐力壁	50	
	柱、はり、床版、壁	*50	
煙突など高熱を受ける部分	基礎、擁壁、耐圧床版	*70	
		70	

- (注) 1. *印のかぶり厚さは普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
2. 仕上げありとは、モルタル塗りなどの仕上げのあるものとし、吹付け塗装などの鉄筋の耐久上有効でない仕上げのものは除く。
3. スラブ、はり、基礎及び擁壁で直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨てコンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭先端からとする。

B. 鉄筋相互の間隔

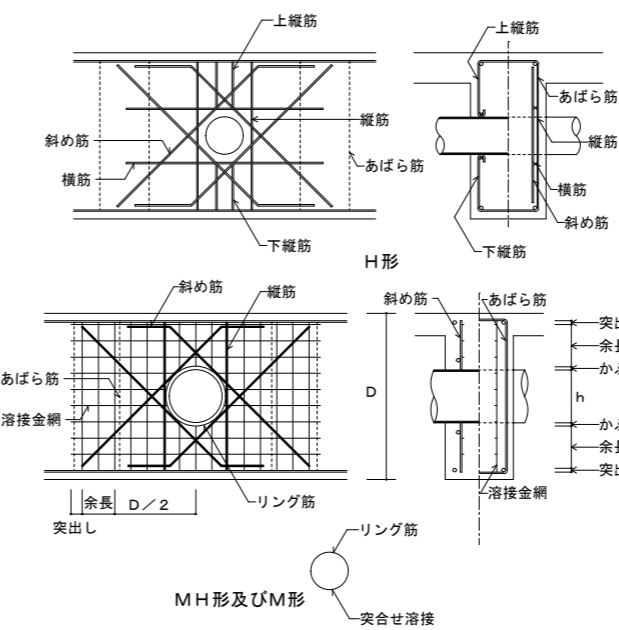
- 下記の値のうち最大のものとする。
- 粗骨材の最大寸法の1.25倍
 - 25mm
 - 丸鋼では径の1.5倍、異形鉄筋では径の1.7倍

C. 主筋と軸方向鉄骨との間隔

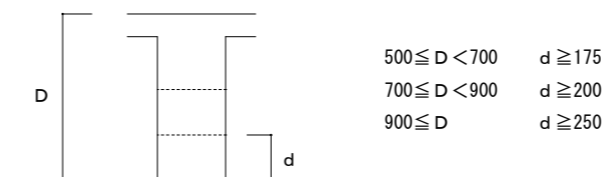
25mm以上とする。

1.1. はり貫通孔の補強

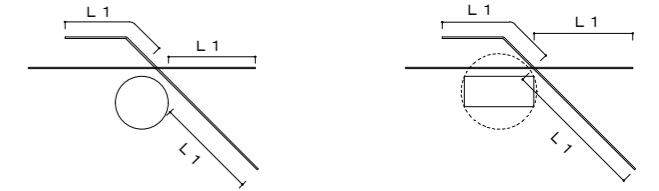
- はり貫通孔補強筋の名称



- 孔の径は、はりせいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
- 孔の上・下方向の位置



- 孔の中心位置の限度は、柱及び直交するはり（小ばり）の面から原則として1.2D（Dは、はりせい）以上離す。
- 孔の並列する場合は、その中心間隔は孔の径の平均値の3倍以上とする。
- 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
- 鉄筋の定着長さ。



- 孔の径が、はりせいの1/10以下且つ150mm未満のものは、補強を省略することが出来る。
- 溶接金網の余長は1格子以上とし、突き出しは10mm以上。
- 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

1.4. その他の事項

- (注) 特記事項は◎印のあるものを適用する。
◎印のない場合は、※印のあるものを適用する。
◎と※印のある場合は、共に適用する。

A. コンクリート特記事項

1. 設計基準強度

普通コンクリート

設計基準強度 (N/mm ²)	スラブ (cm)	適用箇所
F _o =21	15・(18)	躯体・内部床・ベタ基礎
F _o =18	(15)・18	外部床土間・外部工作物
F _o =		
F _o =18	15	捨コンクリート

2. レディーミクストコンクリート種別

※I類（JIS表示許可工場製品）・II類（左記工場以外の製品）

3. セメントの種別

特記無き限り、普通ポルトランドセメントを使用するものとする。上記以外のセメントを使用する場合は、監督員の承認を受ける事。

4. 混和材料

※AE減水材標準型（塩化物を含む物を除く）

5. コンクリート試験

各1工程毎、かつ150m³毎を基準として行う。

B. 鉄筋特記事項

1. 一般事項

鉄筋の使用範囲、継手及び補強配筋等については共通仕様書の外、構造設計図による。

2. 材料

種別	径	備考
異形鉄筋	SD 295	D16以下
	SD 345	D19以上

溶接金網	線径	mm	網目	mm × mm
使用場所	・金属製	◎モルタル製	◎塩ビ製	

3. 加工組立て

継ぎ手	接合方法	径	施工場所
重ね継ぎ手	ガス圧接	D16以下	柱、梁、主筋
		D16以下	その他
ガス圧接		D19以上	

帯筋
かぶり厚さ
形式 形（特記無き限り、H形とする）
共通仕様書による。
外壁の打ち増し部は、かぶり厚さに算入しない。

木造特記仕様書（構造関係）

共通仕様事項

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部制定「公共建築木造工事標準仕様書（最新年度版）」（以下、「木造標準仕様書」という。）及びフラット35対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）及び日本住宅性能表示基準（国土交通省）による。

章	項目	特記事項														
4	1 防腐・防蟻処理	<4.2.1~3>														
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">適用部材</th> <th colspan="3">処理の種類及び処理の方法</th> </tr> <tr> <th>防腐・防蟻処理が不要な樹種</th> <th>薬剤の加圧注入</th> <th>薬剤の塗布等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○土台</td> <td>○桧</td> <td>・K2 ○K3 ・K4</td> <td>○行う</td> </tr> <tr> <td>○地盤面より1m以内の外壁に面する軸組及び下地材</td> <td>○桧 ○杉</td> <td></td> <td>○行う</td> </tr> </tbody> </table>	適用部材	処理の種類及び処理の方法			防腐・防蟻処理が不要な樹種	薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等	○土台	○桧	・K2 ○K3 ・K4	○行う	○地盤面より1m以内の外壁に面する軸組及び下地材	○桧 ○杉	
	適用部材	処理の種類及び処理の方法														
防腐・防蟻処理が不要な樹種		薬剤の加圧注入	薬剤の塗布等													
○土台	○桧	・K2 ○K3 ・K4	○行う													
○地盤面より1m以内の外壁に面する軸組及び下地材	○桧 ○杉		○行う													
2 防腐措置	<4.2.4>															
3 防火被覆処理	該当なし															
5	7 8 9	5・7~9は該当なしで適用しない														

6 軸組構法（軸構造系）工事

1	木材	<6.2.2> 軸組構法（軸構造系）工事に使用する木材は、使用材料表1による																											
2	構造用面材	<6.2.3> 軸組構法（軸構造系）工事に使用する構造用面材は、使用材料表4による																											
3	接合金物	<6.2.4> Z、C、D、Sマーク表示金物 Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 使用位置・規格・強度 フラット35対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）による。 ○Z、C、D、Sマーク表示金物以外 ※図示																											
4	釘及び木ねじ	<6.2.4><6.5.10> 釘（JIS A 5508）、コンクリート用釘、特殊な釘 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○太め鉄丸くぎ</td> <td>表面処理された鉄</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○ステンレス鋼くぎ</td> <td>ステンレス製</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○十字穴付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1112</td> </tr> <tr> <td>○すりわり付き木ねじ</td> <td>ステンレス製</td> <td>JIS B 1135</td> </tr> </tbody> </table>	種類	材質	その他	○鉄丸くぎ	表面処理された鉄		○太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄		○ステンレス鋼くぎ	ステンレス製		・			・			種類	材質	その他	○十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112	○すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135
種類	材質	その他																											
○鉄丸くぎ	表面処理された鉄																												
○太め鉄丸くぎ	表面処理された鉄																												
○ステンレス鋼くぎ	ステンレス製																												
・																													
・																													
種類	材質	その他																											
○十字穴付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1112																											
○すりわり付き木ねじ	ステンレス製	JIS B 1135																											
5	ボルト、アンカーボルト、ナット及び座金	<6.2.4><6.5.11> Z、C、D、Sマーク表示金物 Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 使用位置・規格・強度 フラット35対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）による。 ○Z、C、D、Sマーク表示金物以外 ※図示																											
6	ラグスクリュー（コーチボルト）	<6.2.4> Z、C、D、Sマーク表示金物 Z、C、D、Sマーク表示金物に付属する接合具も含む。 使用位置・規格・強度 フラット35対応 木造住宅工事仕様書（住宅金融支援機構監修）による。 ○Z、C、D、Sマーク表示金物以外 ※図示																											
7	ドリフトピン	<6.2.4> ドリフトピン <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質等</th> <th>径・寸法等</th> <th>表面処理</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ドリフトピン</td> <td>※SS400</td> <td>※丸鋼</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	材質等	径・寸法等	表面処理	・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼		・																		
種類	材質等	径・寸法等	表面処理																										
・ドリフトピン	※SS400	※丸鋼																											
・																													
8	木柱及び木だぼ	<6.2.4> 木柱及び木だぼ 材料樹種は基材同品とし、各仕様書記載の通りとする。																											

6 軸組構法（軸構造系）工事

9	接着剤	<6.2.4> ○床鳴り防止用接着剤 接着剤の種類（床根太用接着剤JIS A 5550）種類（ ）
10	現寸図	<6.4.2> 床書き現寸図を作成する
11	孔あけ加工	<6.4.5> ボルト孔の径 ※木造標準仕様書表5.4.2による ・図示 ドリフトピンの孔径 ※ピン径と同径 ・図示
12	表面の仕上げ	<6.4.6>(18.14.2) 見え掛り面の表面仕上げ ・製材 機械加工 ・A種 ○B種 ・C種 <表6.4.2> 手加工 ・H-A種 ○H-B種 ・H-C種 <表6.4.4> ・集成材 機械加工 ・A種 ※B種 <表6.4.3> ・木材保護塗料塗り (18.13.2) 施工箇所 ※図示 種別 ・A種 ○B種
13	アンカーボルトの設置	<6.5.3> 埋込み深さ ※図示 保持及び埋込み工法 ・A種 ○B種 埋込み位置の許容誤差 ※±5mm ・図示
14	基礎天端及び柱底均しモルタルの仕上げ	<6.5.4> 材料 ・木造標準仕様書6.5.4(7)による ○無収縮モルタル モルタルの厚さ ※図示 柱底均しモルタルの工法 ※B種 ・A種
15	建方精度	<6.5.7> 建入れ直し後の建方精度の許容値 ※垂直、水平の誤差の範囲1/1,000以下 ・図示
16	接合金物の工法	<6.5.9> 熱橋を形成する位置に設置する接合金物の断熱 ○埋め木 ○簡易発泡硬質ウレタンフォーム断熱材（JIS A 9526） ・（ ）
17	釘及び木ねじの工法	<6.5.10> 構造材を仕上げ材として用いる場合の釘打ち ・隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ○釘頭現し 木ねじの留付け ※木ねじ頭埋め木 ○木ねじ頭現し平坦迄 該当なし
18	輪型ジベル	該当なし
19	圧入型ジベル	該当なし
20	火打土台	<6.6.2> ・木製の火打土台 ・鋼製火打土台 ○剛床合板工法で不用 <6.7.8><6.8.6>
21	火打梁	<6.8.2> 小屋組 ○木製の火打梁 ○鋼製の火打梁 床組 ・木製の火打梁 ・鋼製の火打梁
22	床束	<6.8.2> ・木製床束 ○鋼製床束 ・樹脂製床束



有限会社 谷口設計事務所
一級建築士事務所23(1)1191号
一級建築士第257054号 竹中 哲成

担当	工事名称	日付
製図	図面名称	令和7年
	縮尺	図番
		S-2

使用材料表 1

<5.2.2>

・「製材の日本農林規格」による目視等級区分構造用製材

施工箇所	樹種	構造材の種類	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・構造材Ⅰ (甲Ⅰ) ・構造材Ⅱ (甲Ⅱ) ・乙種	・1級 ・2級 ・3級		・SD15 ・SD20		・

○「製材の日本農林規格」による機械等級区分構造用製材

施工箇所	樹種	曲げ性能 (等級)	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
				・SD15 ○SD20		・

(注) 無等級材、広葉樹製材及び丸太材の縦振動ヤング係数による基準強度の確認は、以下による。
無等級材のうち次の樹種については、製材の日本農林規格第6条に定める品質曲げ性能における等級の区分に準拠する。それ以外の樹種については、既往の研究等に基づき適切に定め、施工計画書を作成し、提出する。 あかまつ、べいまつ、からまつ、ひば、ひのき、べいつが、えぞまつ、とどまつ、すぎ

(参考) 製材の日本農林規格第6条に定める等級の区分 (機械的等級区分と測定曲げヤング係数)

等級	E50	E70	E90	E110	E130	E150
曲げヤング率 (×10N/mm)	3.9以上 ～5.9未満	5.9以上 ～7.8未満	7.8以上 ～9.8未満	9.8以上 ～11.8未満	11.8以上 ～13.7未満	13.7以上

・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材

施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率	保存処理	間伐材等の適用
		・特等 ・1級 ・2等				・

加工前に縦振動ヤング係数を測定する部材 (対象部材:)

・無等級材

施工箇所	寸法 (mm)	樹種	含水率 (%)	保存処理	強度試験	等級 (材面の品質)	間伐材等の適用
					・製材のJAS規格第6条 (対象部材:) ・縦振動ヤング係数測定 (対象部材:)	・製材のJAS規格第6条 ・旧JAS規格第10条 ひき角類1等	・

旧JAS規格とは、昭和42年農林省告示第1842号をいう。

・国土交通大臣の指定を受けたもので基準強度の数値を指定された製材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級 (材面の品質)	含水率 (%)	間伐材等の適用
					・

・「製材の日本農林規格」による下地用製材

施工箇所	樹種	等級	寸法 (mm)	含水率 (%)	保存処理	間伐材等の適用
		・1級 ・2級		・SD15 ・SD20		・

・「集成材の日本農林規格」による構造用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	曲げ性能 (強度等級)	材面の品質	接着性能 (使用環境)	保存処理	間伐材等の適用
								・

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	品名	樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		芯材:				・1等 ・2等	・

使用材料表 2 ~ 3 該当なし

使用材料表 4

<6.2.3>

・「合板の日本農林規格」による構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ性能 (強度等級)	単板の樹種名	保存処理	間伐材等の適用
		・1類 ・特類	・2級 ・1級					・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	間伐材等の適用
			・1類 ・特類	・

・パーティクルボード

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	間伐材等の適用
					・

・「構造用パネルの日本農林規格」による構造用パネル

施工箇所	厚さ (mm)	曲げ性能 (等級) (・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験)	間伐材等の適用
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級	・

使用材料表 5 ~ 10 該当なし



有限会社 谷口設計事務所
一級建築士事務所 23(1)1191号
一級建築士第257054号 竹中 哲成

担当

工事名称

刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)

日付
令和7年度

製図

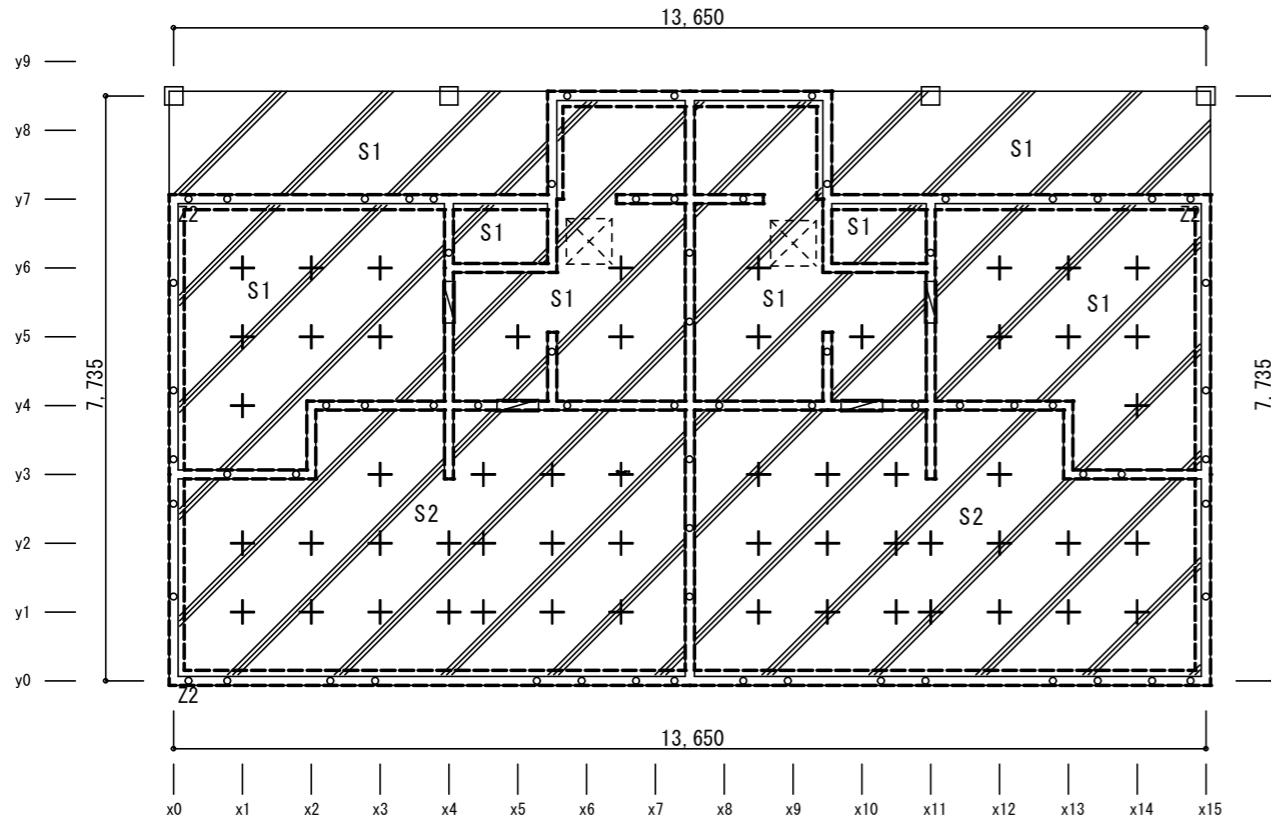
図面名称

構造特記仕様書 (木造) 3

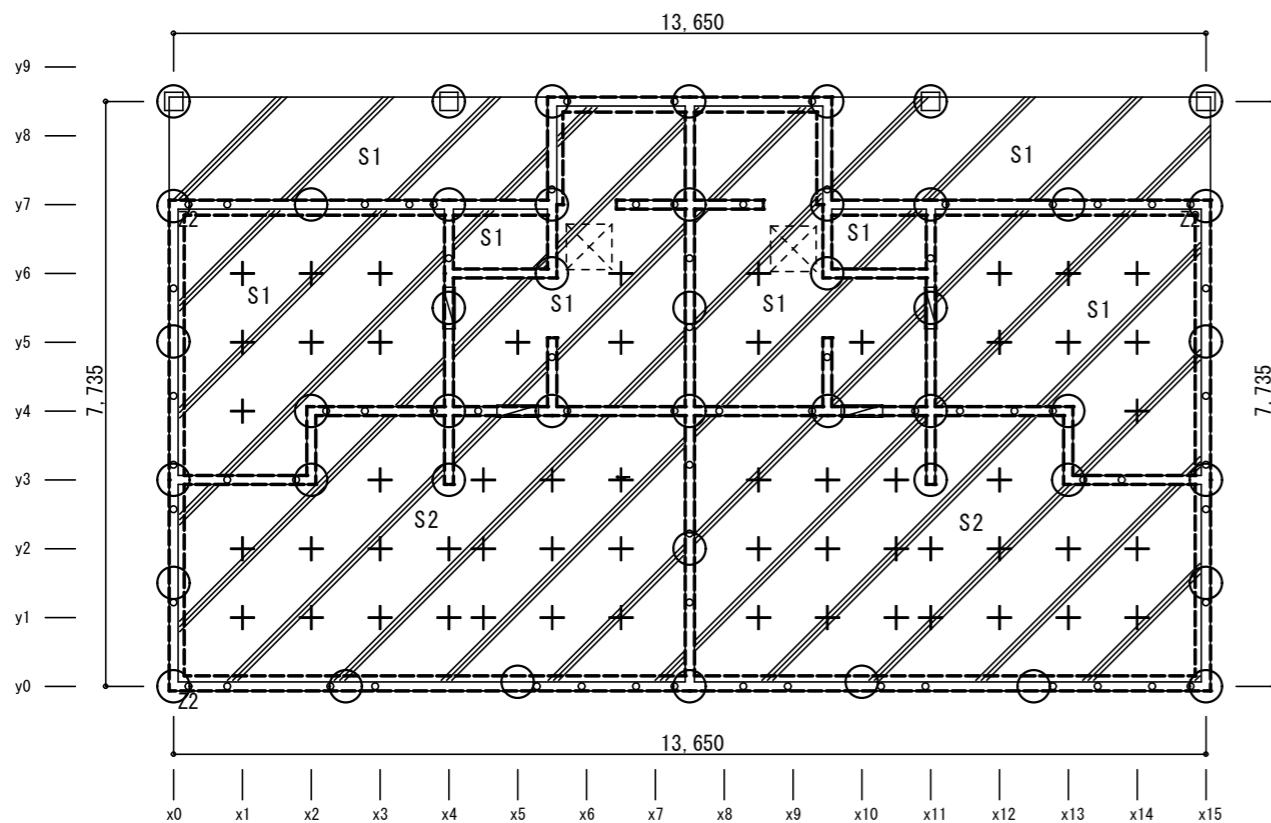
縮尺

図番
S-3

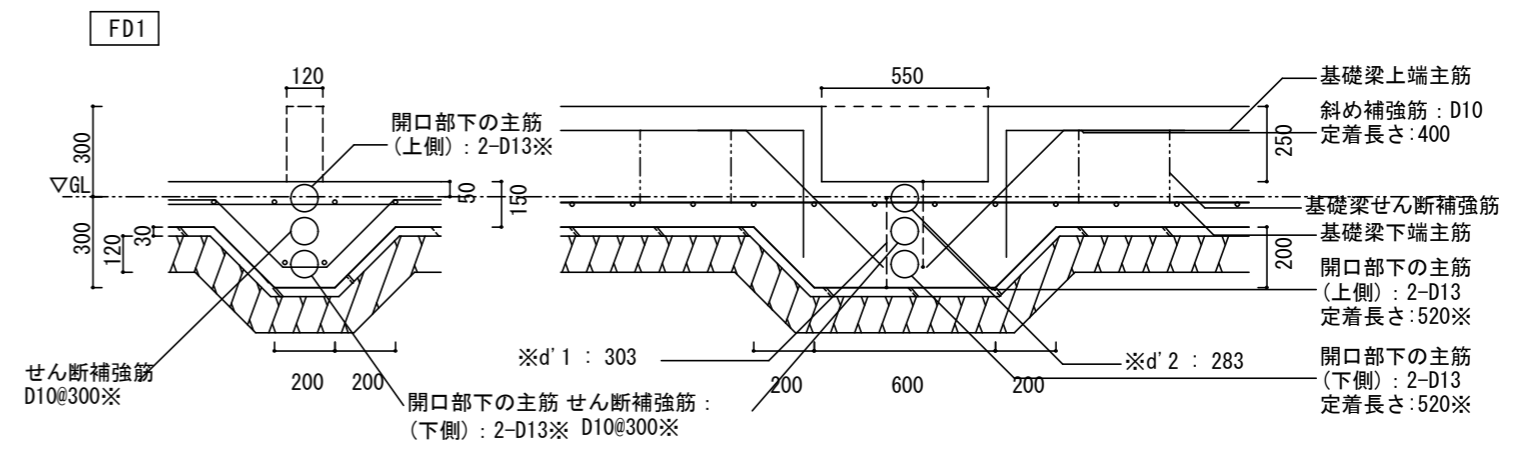
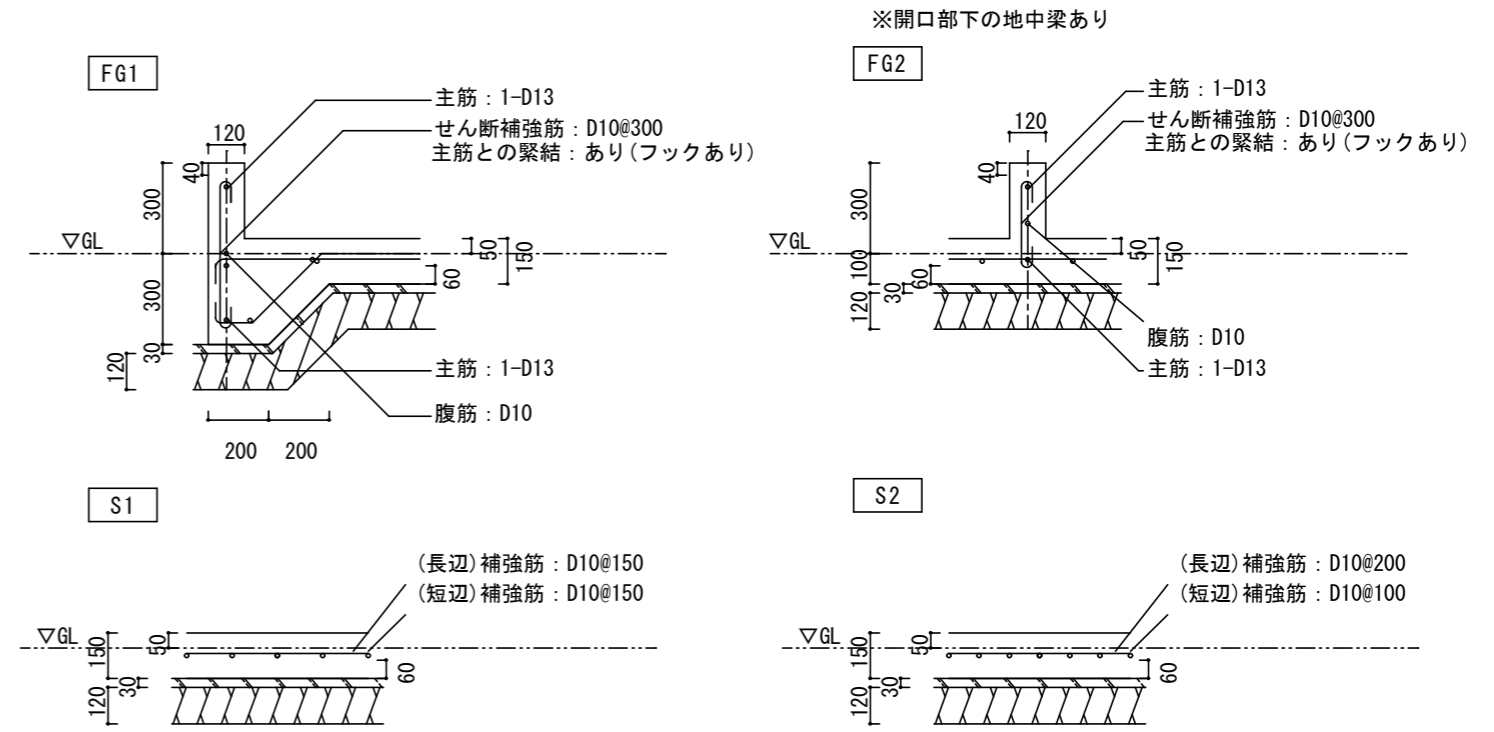
S=1:25



基礎伏図 S=1:100



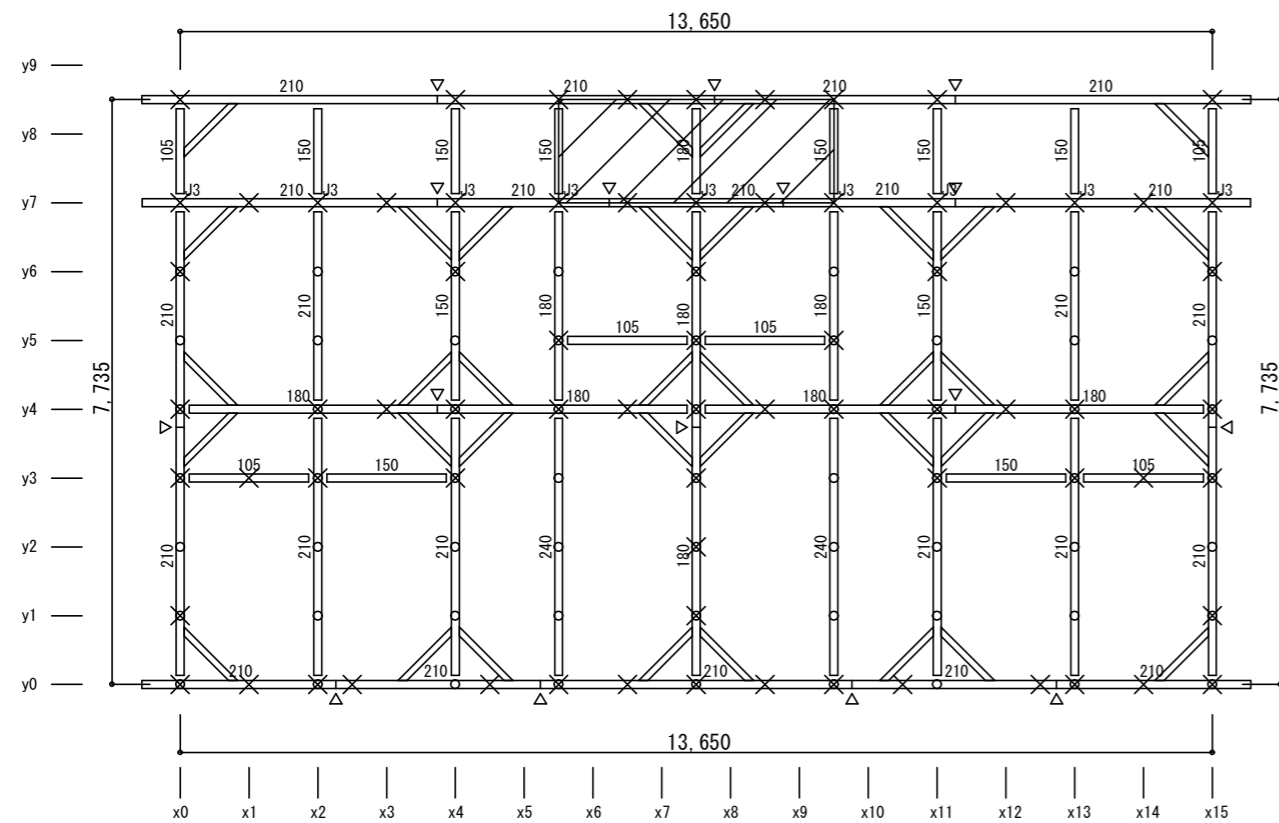
杭位置図 S=1:100



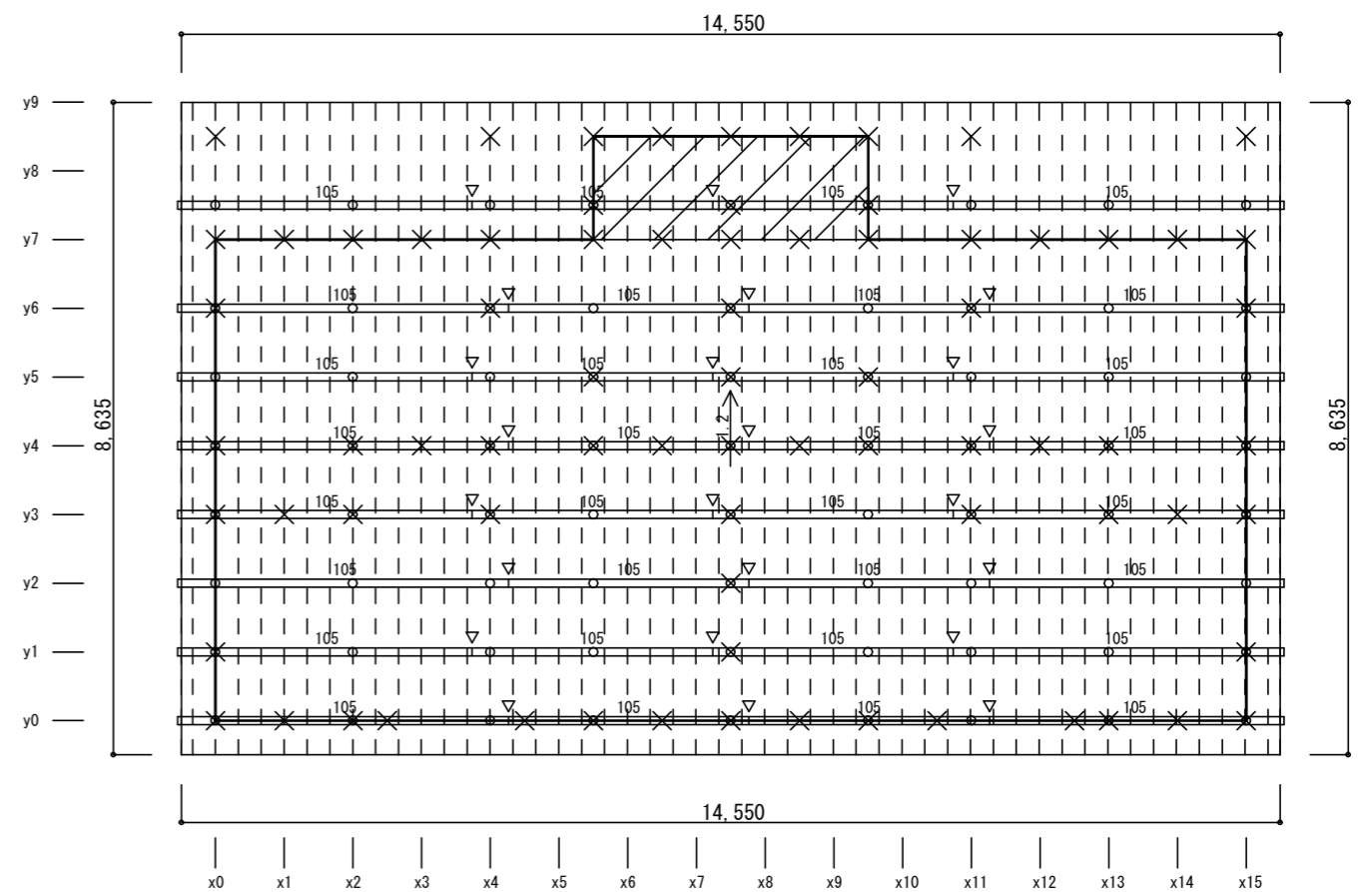
凡例

	基礎梁 (外側の線は地中梁、囲み枠は布基礎底盤)		独立基礎		M12アンカーボルト
	人通り・開口部		床束		M16アンカーボルト
	床下点検口		底盤		管柱
	床下換気口				

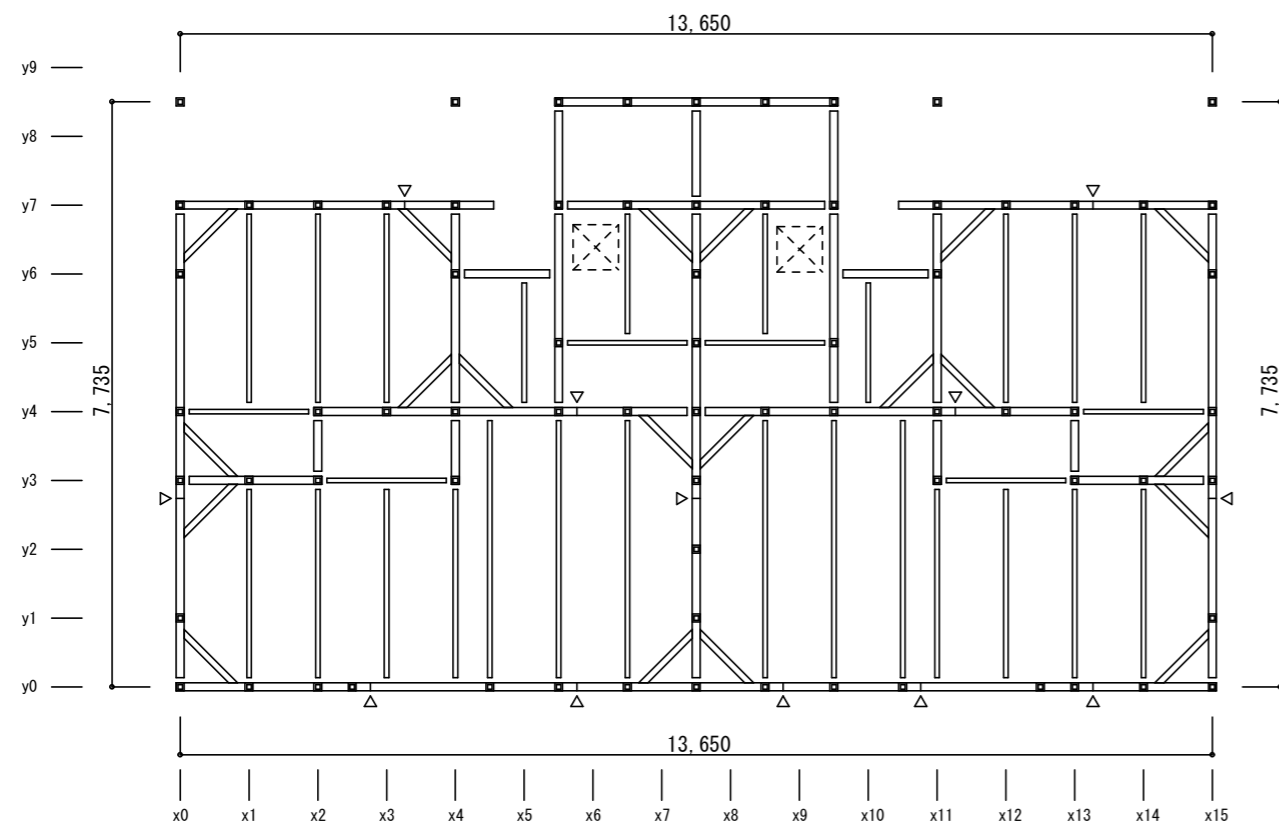
アンカーボルト座金仕様 無印:角座金 厚さ4.5mm 40mm角 Z2:角座金 厚さ6.0mm 60mm角



小屋伏図 S=1:100



母屋伏図 S=1:100



床伏図 S=1:100

記号と仕様の対応

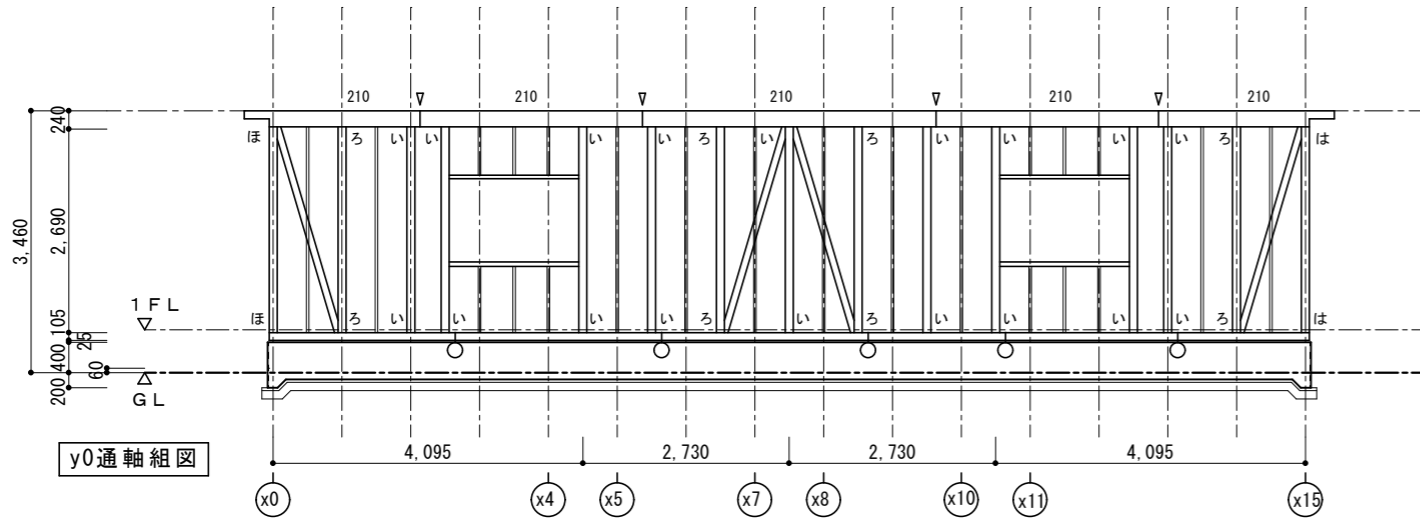
分類	記号	仕様
横架材 接合部	T1	腰掛け蟻+短ざく金物
	J1	大入れ蟻掛け+羽子板ボルト
	J3	(通し柱)大入れほぞ差し+羽子板ボルト

(-200)
150

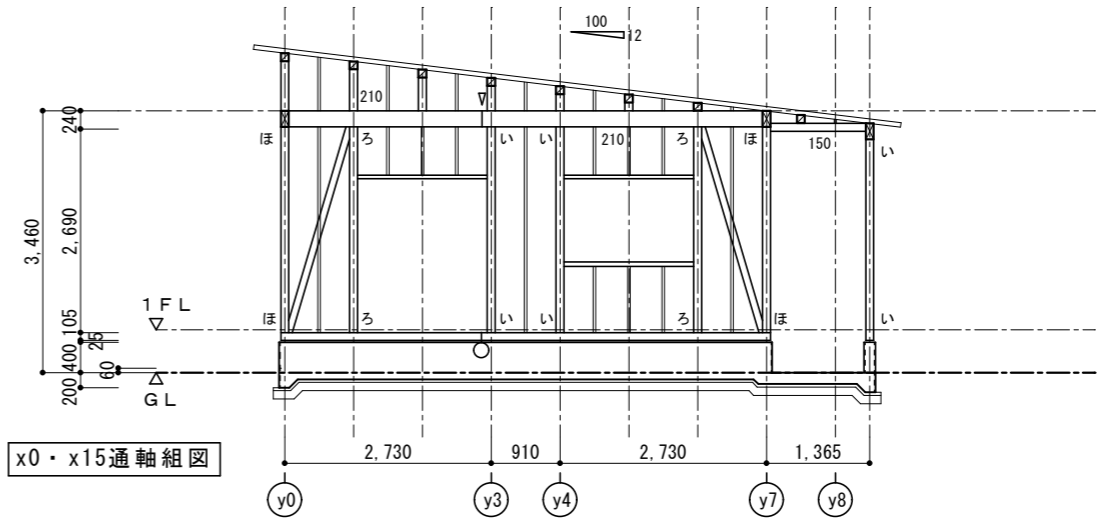
梁・桁(寸法 寸法は幅105のものについては梁せいのみ表示) ※括弧付きの数値は地廻りを基準とした配置高さ

甲乙梁 継手 火打梁 母屋下がり

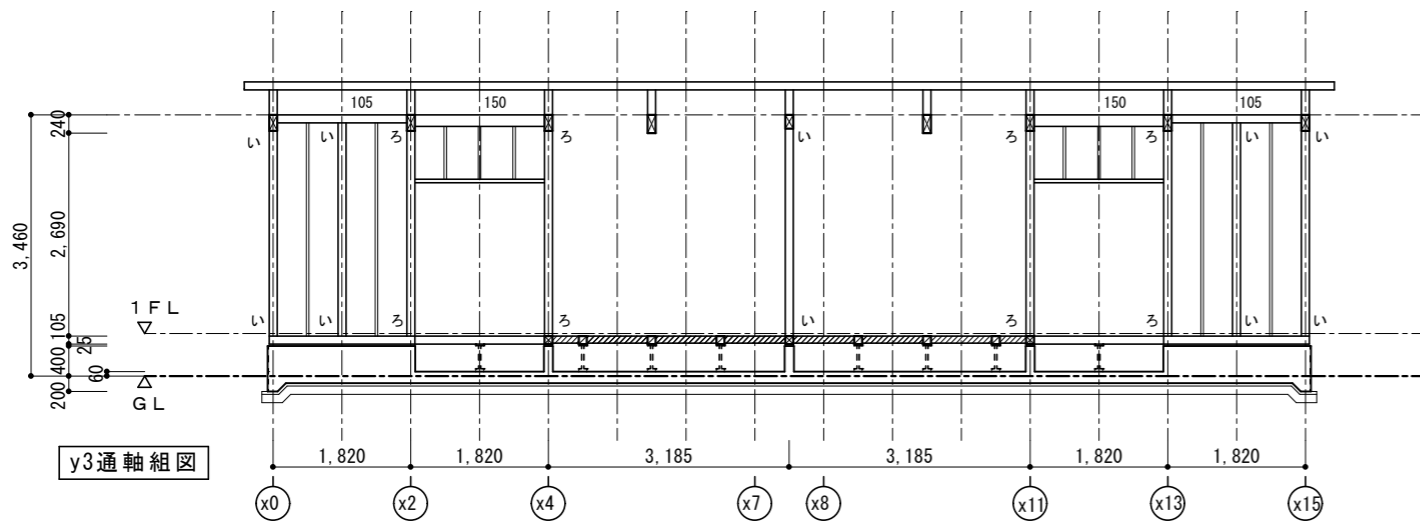
小屋束 × 下階柱



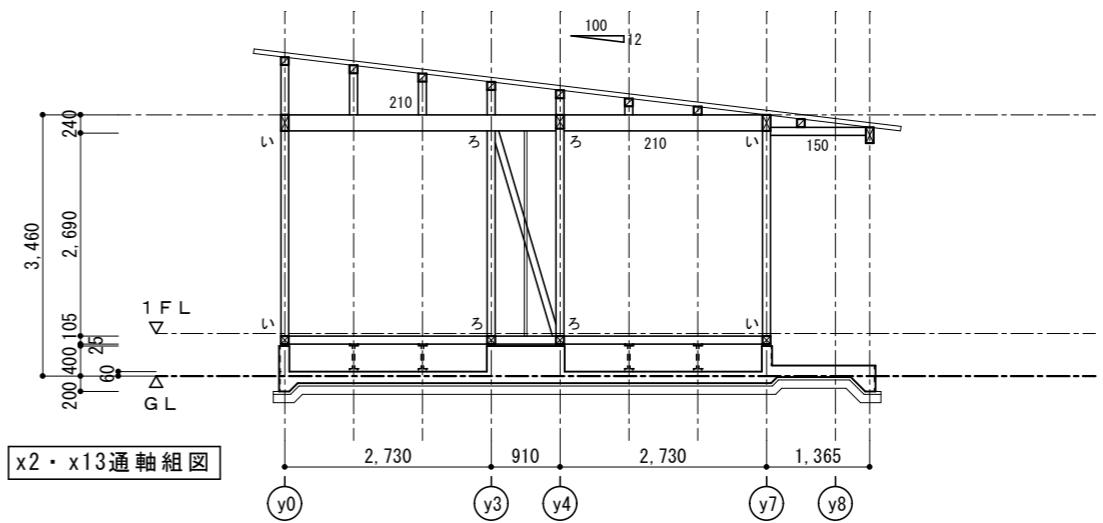
y0通軸組図



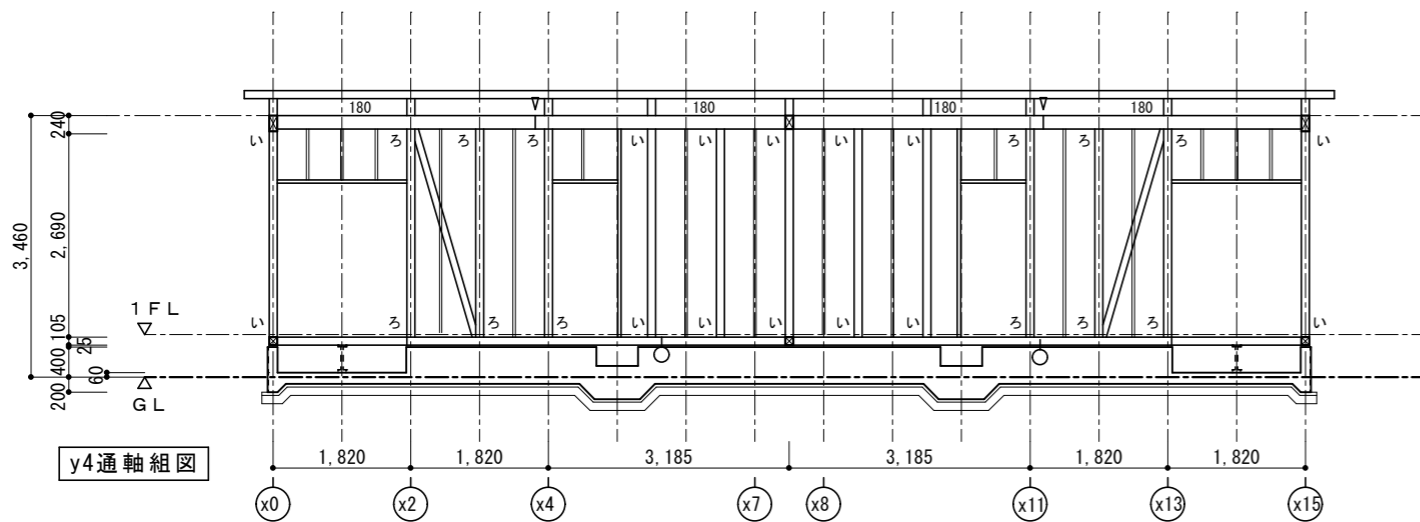
x0・x15通軸組図



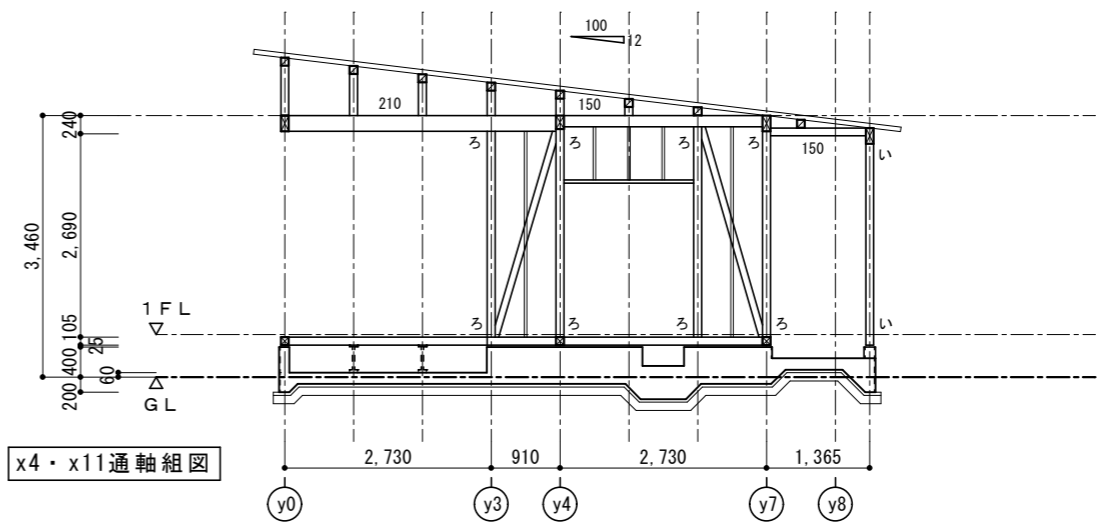
y3通軸組図



x2・x13通軸組図



y4通軸組図



x4・x11通軸組図



有限会社谷口設計事務所
一級建築士事務所 23(1) 1191号
一級建築士第257054号 竹中 哲成

担当

工事名称

刈屋口公営住宅改築工事(3工区)

日付
令和7年

製図

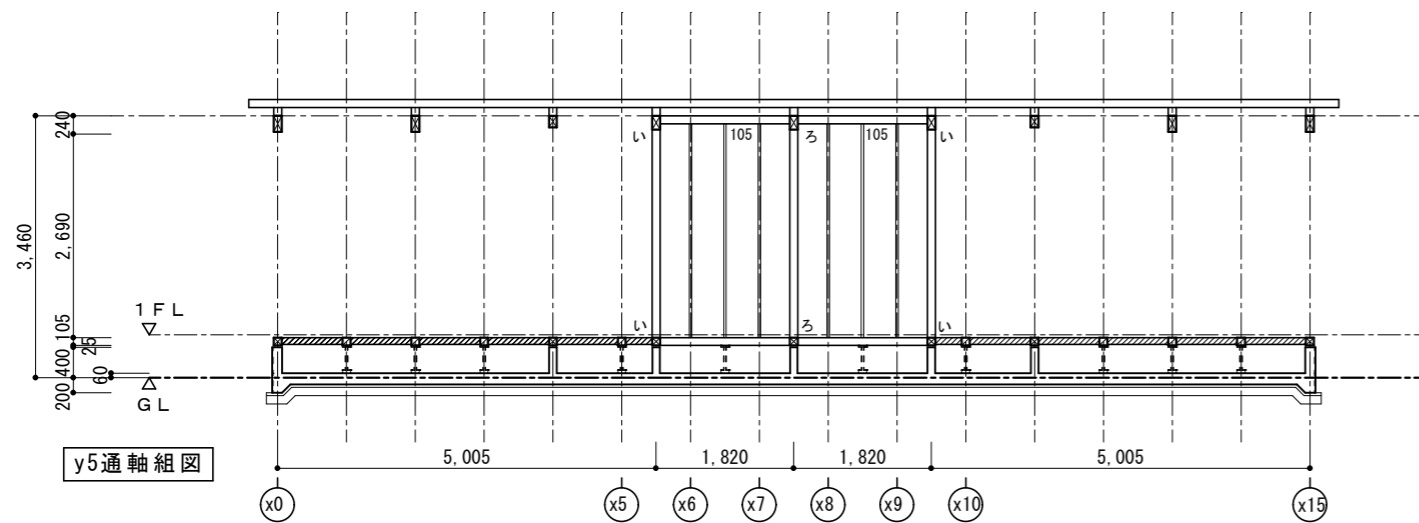
図面名称

軸組図1

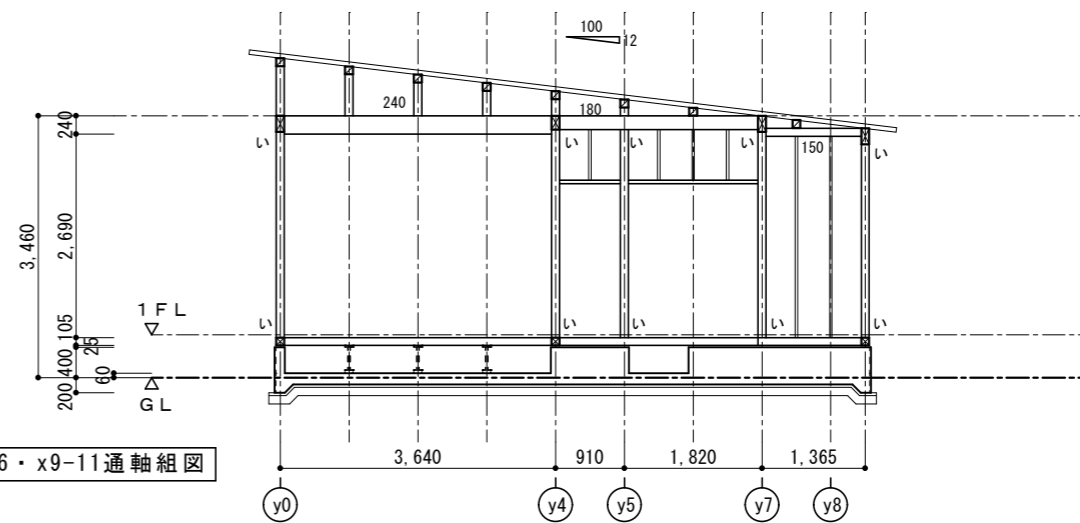
縮尺

S=1:100

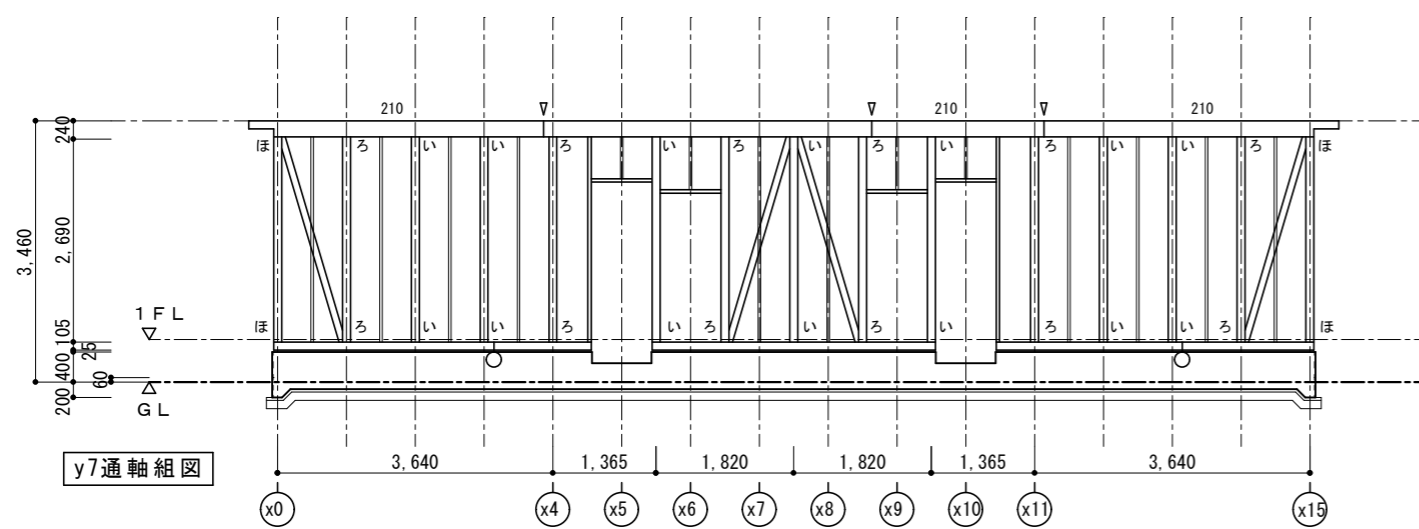
図番
S-6



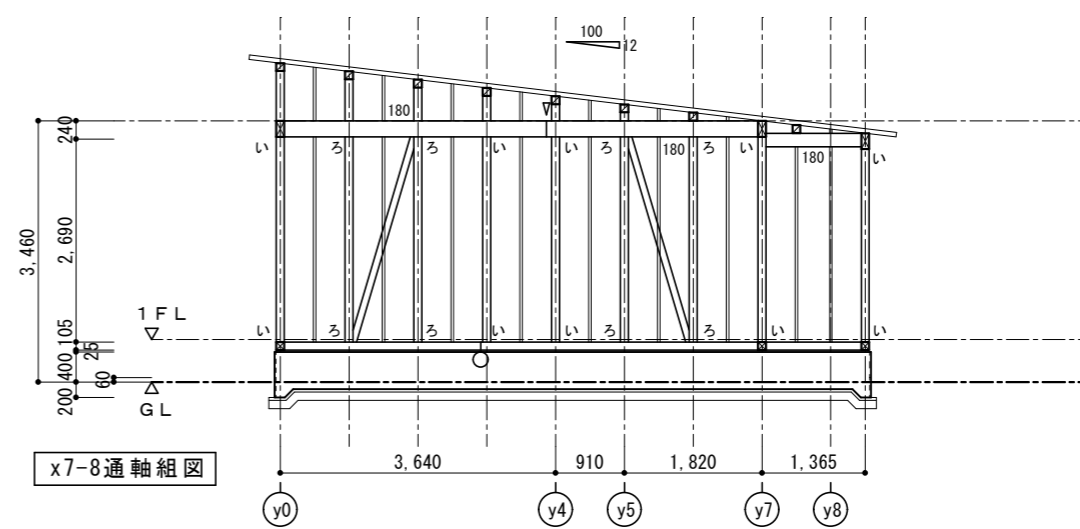
y5通軸組図



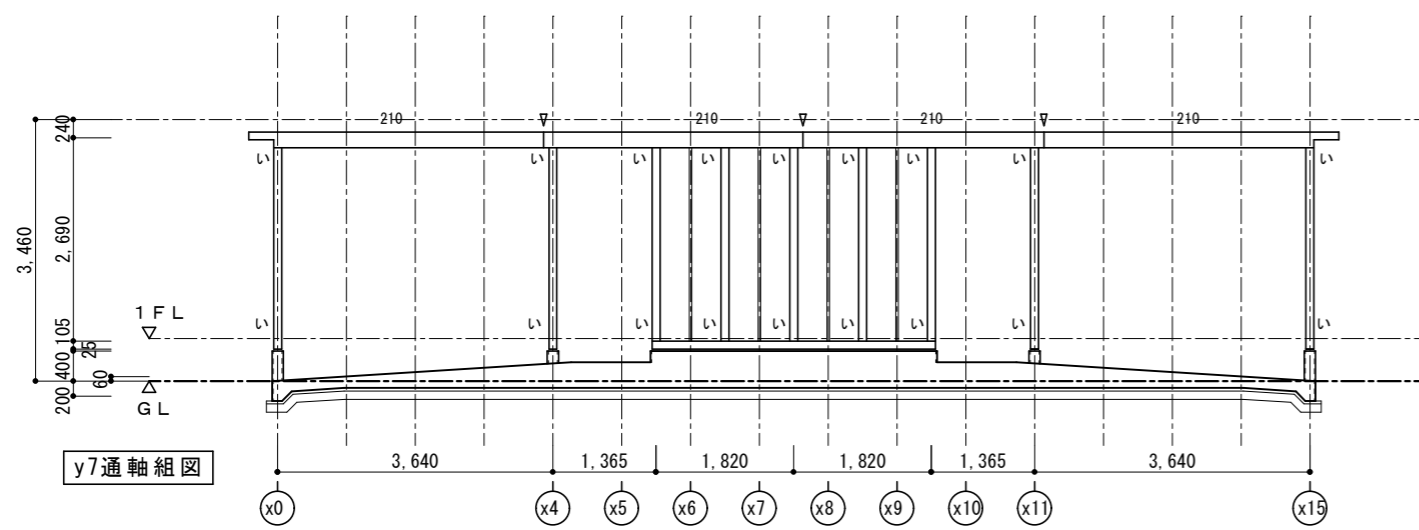
x5-6・x9-11通軸組図



y7通軸組図

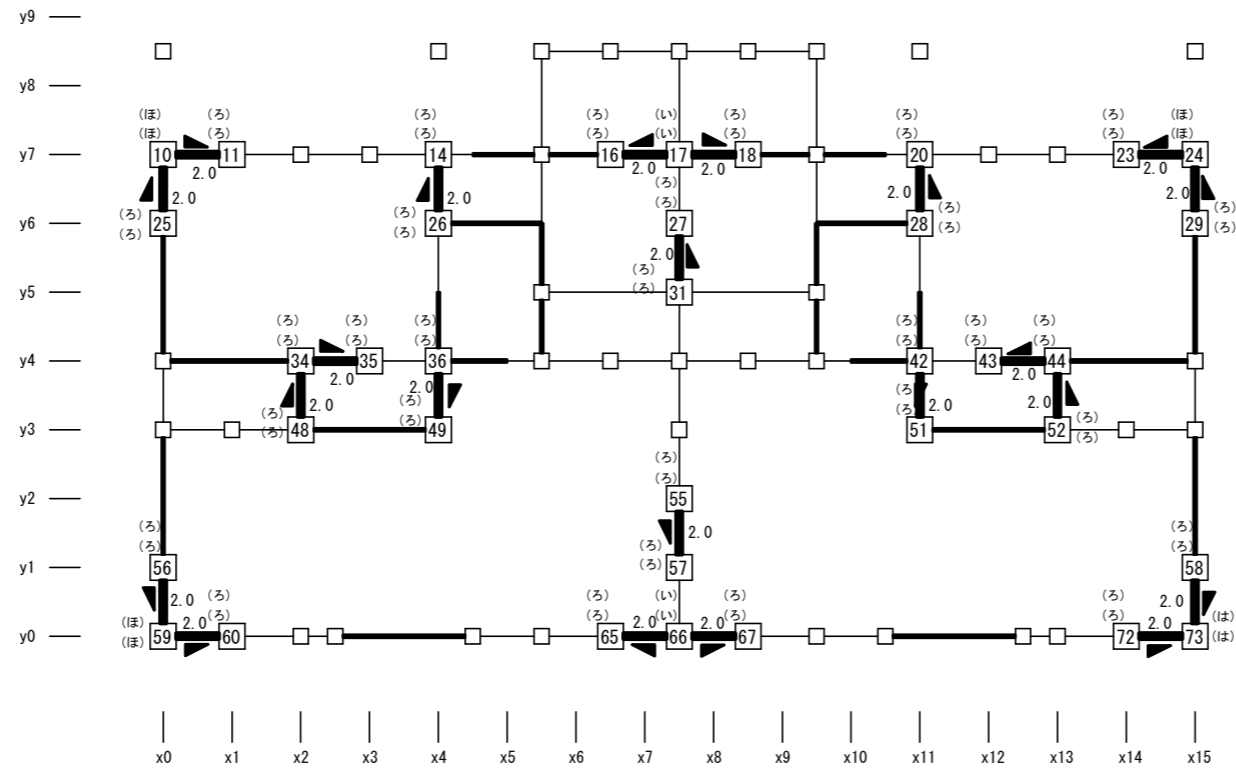


x7-8通軸組図



y7通軸組図

- 軸組図共通凡例
- ・梁巾は特記以外全て105とする。
 - ・▽ はかま継位置を示す
 - ・○ は土台腰掛かま継位置を示す
 - ・柱は杉105とする。
 - ・特記なき半柱は杉45×105とする。
 - ・特記なき間柱は杉33×105とする。
 - ・特記なき窓廻り材は杉45×105とする。
 - ・//// は合板受け米松90×90を示す
 - ・図中「い」～「ほ」は柱頭・柱脚金物を示す
 - ・斜材は筋違45・90を示す
 - ・≡≡≡ は鋼製束を示す
 - ・継手はプレカットにより変更あり。



柱頭柱脚金物算定平面図

#印の金物は1階柱を2階柱に合わせたことを示す。(2階柱の引抜力を土台・基礎に伝達する必要があるため)

凡例	— 一般壁	- - 開口部	— 耐力壁	□ n 検討柱
	□ 検討外柱	※検討外柱は (い) の金物を使用する。		
	— 面材耐力壁	▲ 筋かい (45×90) ダブル		
	柱頭 ▲ 柱脚	筋かい (45×90) シングル	○ 通し柱	
	(い) カガイ	(ろ) CP-L	(は) VP	(に) SB-F2 (ほ) SB-F
	(へ) HD-B10	(と) HD-B15	(ち) HD-B20	(り) HD-B25 (ぬ) HD-B15×2 (ー) N>5.6



有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所 23(1) 1191号
 一級建築士第257054号 竹中 哲成

担当

工事名称

刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)

日付
令和7年度

製図

図面名称

金物平面図

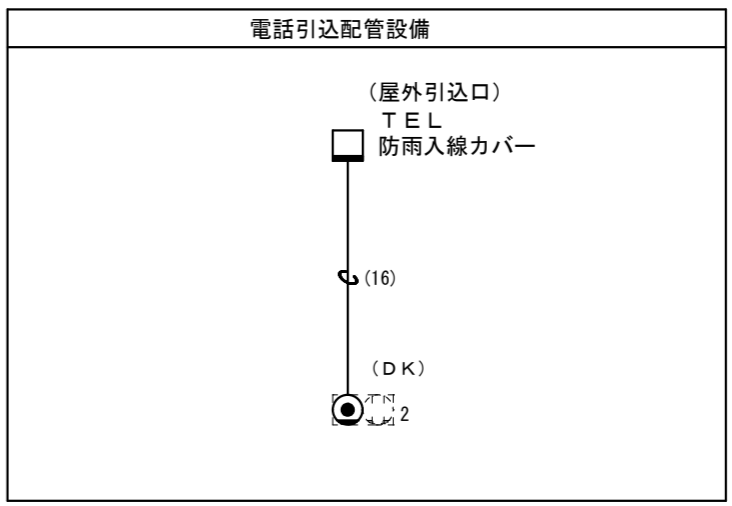
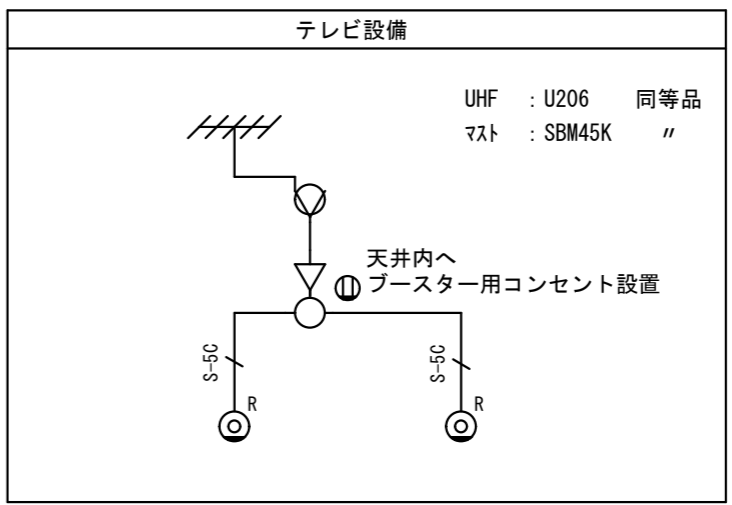
縮尺

S=1:100


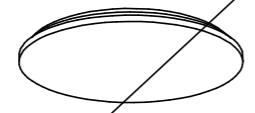
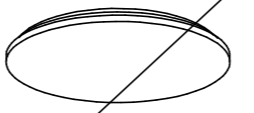
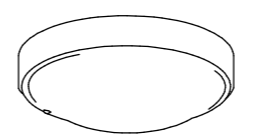

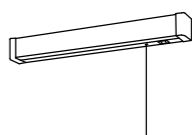
図番
S-8


分電盤リスト (NO. 1)

盤名称 電気方式 結線記号 幹線番号 盤形状	主開閉器 合計容量	回路 番号	電圧 (V)	分岐 MCCB (AF/AT)	負荷名称	負荷容量 (VA)	附属機器						備考	
							リモコン リレー 2P	リモコン トランス	T/U ユニット	伝送 ユニット	マグネット スイッチ	タイマー		
L 1φ3W 210/105V A 露出型 (スイッチ付)	ELCB 3P 3E 60AF /50AT 中性線欠相 保護付漏電ブレーカー 8,455 (VA)				感震ブレーカー								BQX702相当品	
		1	100	50/20	DK・廊下・洗面・脱衣室・浴室・トイレ	815								
		2	100	50/20	洋室	840								
		3	100	50/20	冷蔵庫用コンセント	1,200								
		4	100	50/20	ガス給湯器用コンセント	200								
		5	100	50/20	洗濯機用コンセント	1,000								
		6	100	50/20	ウォシュレットコンセント	1,200								
		7	100	50/20	洋室エアコン	1,000								
		8	100	50/20	LDKコンセント	1,000								
		9	100	50/20	LDKコンセント	1,200								
		10	100	50/20	予備	-								

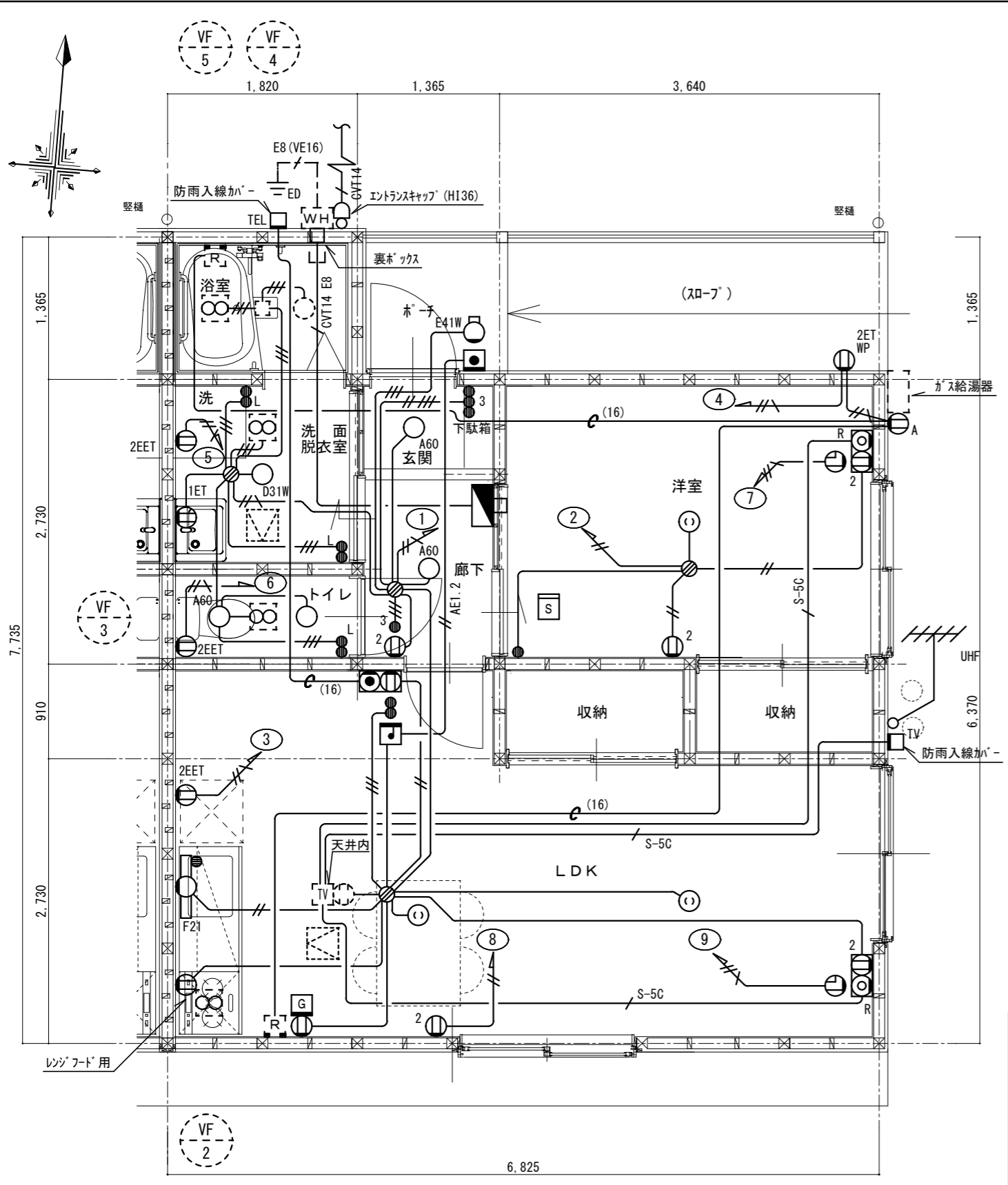


照明器具姿図

 <p>XAD1100LCE1</p>		 <p>LGC21104</p>		 <p>LGC31104</p>		 <p>LGW51706WCF1</p>		 <p>LGWC80401LE1</p>		 <p>LGB85031LE1</p>	
A	A60 LED 5°カンライト 60形	B		C		D	D31W LED シーリングライト 30形	E	E41W LED ホーチライト 40形 センサ付	F	F21 LED キッチンライト 20形 コンセント付


 有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所23 (1) 1191号
 一級建築士第257054号 竹中 哲成

担当	工事名称	日付
	刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)	令和7年度
製図	図面名称	図番
	照明器具姿図	E-3
	縮尺	N・S



平面図 1:50

○ LPGボンベ

注記

1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。
但し、二重天井内はケーブルところがし配線とする。


——	VVF1.6-2C	(PF16)
——#——	VVF2.0-2C	(PF16)
——//——	VVF2.0-3C	(PF22)
——///——	VVF1.6-3C	(PF22)
——###——	VVF1.6-2C+3C	(PF28)
——/S-5C——	S-5C-FB	(PF16)

凡例	官庁仕様	
記号	名称	備考
■	分電盤	MB) ELB3P50Ax1 B) NFB2P20Ax10+感電
WH	電力量計	
○	引掛シーリング	
○	ダウンライト	
○	ブラケット	
●	スイッチ	
●L	パイロットスイッチ	
⊓	埋込コンセント	2P15Ax1
⊓2	埋込コンセント	2P15Ax2
⊓1ET	埋込コンセント	
⊓2ETT	埋込コンセント	
⊓2EWP	埋込コンセント (防水型)	
⊓2ETWP	埋込コンセント (防水型)	
⊓1E15A	埋込コンセント	
⊓A	入線機能付防水コンセント	WK4604S
⊙	電話 (光回線)	
⊙	テレビ	[TV] テレビ共聴機器 (天井内)
TEL	電話引込	
■	押釦	EG331
■	チャイム	EC710K
⊗	ジョイントボックス	設備工事
⊗	換気扇	
S	住宅用火災警報器 煙式	FSKJ225-B-N (電池式)
G	ガス漏れ検知器 LPガス用	YF-433F

特記仕様書

建 物 概 要			工 事 概 要				配 管 材 料 お よ び 保 温 材				
工事名称	刈屋口公営住宅改築工事（3工区）		給排水衛生設備工事				空気調和設備工事				
工事場所	広島県庄原市三日市町496番地1		給水設備工事				空調設備工事				
工事種別	○新築・増築・改築		給水源				設計条件				
建物概要	建物名称	構造	階数	延床面積(m ²)	消防法別表第一	給水方式	○上水道・井戸・簡易水道	夏 季		冬 季	
	住宅	木造	地上1階(3棟)	91.92		○水道直結(○直圧方式・増圧方式)	○受水槽(・高置水槽方式・ポンプ直送方式)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
消防関係			集中検針				屋外条件				
工 事 項 目			排水方式				屋内条件				
○給排水衛生設備			○空気調和設備				空調方式				
○給水設備工事			○空調機器設備工事				熱 源				
○排水設備工事			○空調配管設備工事				熱 源 燃 料				
○衛生器具設備工事			○空調ダクト設備工事				空調機器				
○給湯設備工事			○換気設備工事				矩形ダクト				
○ガス設備工事			○自動制御設備工事				円形ダクト				
○消火設備工事			○排煙設備工事				ダクト材質				
○浄化槽設備工事							追記事項				
設置図書			衛生器具設備工事				追記事項				
優先順位			衛生器具				追記事項				
1) 質疑応答書			給湯設備工事				追記事項				
2) 現場説明事項			給湯方式				追記事項				
3) 特記仕様書			機 器				追記事項				
4) 設計図			熱 源				追記事項				
5) 共通仕様書			ガス設備工事				追記事項				
・日本建築家協会編建築設備工事共通仕様書(最新版)			ガスの種類				追記事項				
○国土交通省大臣官房官庁営繕部監修			ガス漏れ警報器				追記事項				
公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(最新版)			追記事項				追記事項				
使用機材			追記事項				追記事項				
設備機材等指定表によるほか同等品以上とする。但し、同等品以上とする場合は監督員の承認を受ける。			追記事項				追記事項				
塩害対策			追記事項				追記事項				
○該当なし・耐塩害・耐重塩害			追記事項				追記事項				
地盤沈下対策			追記事項				追記事項				
○不要・必要(詳細は別図による)			追記事項				追記事項				
届出・手続等			追記事項				追記事項				
この工事に関係する法律・政令・条例等に必要な届出・手続きなど請負者が代行して行い、これに要する費用はすべて請負者の負担とする。			追記事項				追記事項				
関連法規			追記事項				追記事項				
・防火区画貫通部の配管は、施行令第129条2の5及び告示第1422号に基づき施工する。			追記事項				追記事項				
・配管の防火区画貫通部は建築基準法令に適合する工法(国土交通大臣認定品・工法)による。			追記事項				追記事項				
・耐震設備は、「建築設備耐震設計・施工指針」によること。			追記事項				追記事項				
○ガス配管は、告示第1099号による。			追記事項				追記事項				
・受水槽・高架水槽は所定の耐震性能を有するものとし基礎は躯体と一体構造とする。また、オーバーフロー管には防虫網を設置する。			追記事項				追記事項				
・受水槽の周囲・下部は600mm以上、上部は1000mm以上の点検スペースを設ける。			追記事項				追記事項				
・通気金物の設置場所は、衛生上支障のない位置として開口部から水平3m以上または上部0.6m以上の隔離をとること。			追記事項				追記事項				
○換気ダクトは、不燃材料とする。			追記事項				追記事項				
○給湯設備の設置は、告示H24第1447号に準拠すること。			追記事項				追記事項				
○排水管口径算定は器具排水負荷単位による。			追記事項				追記事項				
・電気温水器の定格加熱能力及び定格消費電力は、JISC9219の定格条件及び試験方法による。			追記事項				追記事項				
○飲料水の配管設備及び排水のための配管設備の構造は、昭50建告第1597号に適合すること。			追記事項				追記事項				
○排水のための配管設備の容量及びその算出方法並びに傾斜について、排水管口径算定手法(排水負荷単位法、定常流量法など)及び配管の傾斜は有効な数値を確保すること。			追記事項				追記事項				
工 事 区 分			追記事項				追記事項				
項目			追記事項				追記事項				
○梁・壁・床貫通スリーブの取付工事			追記事項				追記事項				
○同上補強工事			追記事項				追記事項				
○換気ダクトは、不燃材料とする。			追記事項				追記事項				
○給湯設備の設置は、告示H24第1447号に準拠すること。			追記事項				追記事項				
○排水管口径算定は器具排水負荷単位による。			追記事項				追記事項				
・電気温水器の定格加熱能力及び定格消費電力は、JISC9219の定格条件及び試験方法による。			追記事項				追記事項				
○飲料水の配管設備及び排水のための配管設備の構造は、昭50建告第1597号に適合すること。			追記事項				追記事項				
○排水のための配管設備の容量及びその算出方法並びに傾斜について、排水管口径算定手法(排水負荷単位法、定常流量法など)及び配管の傾斜は有効な数値を確保すること。			追記事項				追記事項				
○給水本管接続工事(既設引込管へ接続)			追記事項				追記事項				

給水管		定流量弁
井水管		安全弁装置
排水管		減圧弁装置
汚水管		電動二方弁装置
雨水管		電動三方弁装置
通気管		電磁弁装置
給湯送り管		給湯栓
給湯戻り管		給湯栓
追焚管		フラッシュ弁
ガス管		混合水栓
消火管		散水栓
冷媒管		床上掃除口
冷却水送り管		床下掃除口
冷却水戻り管		雨水樹
冷温水送り管		汚水樹
冷温水戻り管		トラップ樹
温水送り管		量水器
温水戻り管		ガスメーター
膨張管		ガスコック
油 管		屋内・屋外消火栓
ドレン管		連絡送水管(放水口格納箱)
排気ダクト		吹出口
外気ダクト		吸込口
還気ダクト		排煙口
給気ダクト		キャンパス継手
排煙ダクト		消音エルボ
ゲート弁・止水栓		防火ダンパー
チャッキ弁		風量調節ダンパー
自動エア抜き弁装置		防煙ダンパー
Y型ストレーナー		煙感連動防火ダンパー
フレキシブルジョイント		排煙ダンパー
伸縮継手		逆流防止ダンパー
定水位弁		モーターダンパー


有限会社谷口設計事務所
 一級建築士事務所23(1)1191号
 一級建築士第257054号 竹中 哲成

担当 工事名称 **刈屋口公営住宅改築工事(3工区)** 日付 令和7年度
 製図 図面名称 **特記仕様書** 縮尺 **S=N:S** 図番 **M-01**

衛生器具表

器 具 名	器 具 仕 様	合 計	住	住	住	住	住	住				備 考
			宅	宅	宅	宅	宅	宅				
			①	②	③	④	⑦	⑧				
洋 風 便 器	CS232B、SH233BA	6	1	1	1	1	1	1				
ウオシュレット	TCF6623	6	1	1	1	1	1	1				AC100V 318W
棚付二連紙巻器	YH650	6	1	1	1	1	1	1				
タオルリング	YT51R	6	1	1	1	1	1	1				
洗濯機用水栓	TW11R	6	1	1	1	1	1	1				
洗濯機パン(横引トラップ共)	PWP640N2W、PJ2009NW	6	1	1	1	1	1	1				
洗面化粧台(化粧鏡共)	LDBA075BAGMS1A、LMB A075B1GDC1G	6	1	1	1	1	1	1				
ガス給湯器 20号 オート	GT-2070SAW-1BL、RC-J101 (追焚付、リモコン、風呂リモコン)	6	1	1	1	1	1	1				AC100V
ミニキッチン	混合水栓・排水金物共(建築工事)	(6)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)				接続は本工事
ユニットバス	(建築工事)	(6)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)				接続は本工事

※AC100V電源供給は、電気工事とする。
 ※壁付衛生器具の裏板補強は、建築工事とする。
 ※標準附属品一式を含む。
 ※ガス給湯器リモコン工事(リモコンは機械設備支給取付(裏ボックス共)・配線・配管工事)は全て電気工事とする。

汚水樹表（住宅①、③）

記号	名称	大きさ	深さ	樹蓋	備考
①	汚水樹	90L 100-200	320 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
②	汚水樹	90L 100-200	460 H	防護蓋(T-2)	小口径樹
③	汚水樹	90Y 100-200	600 H	防護蓋(T-2)	小口径樹
④	汚水樹	90L 100-200	660 H	防護蓋(T-2)	小口径樹
⑤	汚水樹	90Y 100-200	780 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑥	公共樹		800 H		
⑦	汚水樹	90L 100-200	670 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑧	汚水樹	90Y 100-200	690 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑨	汚水樹	90Y 100-200	710 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑩	汚水樹	45YS 100-200	760 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹(3cm段差)

※排水管の傾斜（勾配）は排水管の容量（管径）に応じてSHASE-S206の排水管算定表によること。
 ※排水管の口径は、器具排水負荷単位による方法とする。

汚水樹表（住宅②、④）

記号	名称	大きさ	深さ	樹蓋	備考
①	汚水樹	90L 100-200	420 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
②	汚水樹	90L 100-200	560 H	防護蓋(T-2)	小口径樹
③	汚水樹	90Y 100-200	700 H	防護蓋(T-2)	小口径樹
④	汚水樹	90L 100-200	760 H	防護蓋(T-2)	小口径樹
⑤	汚水樹	90Y 100-200	780 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑥	公共樹		800 H		
⑦	汚水樹	90L 100-200	570 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑧	汚水樹	90Y 100-200	590 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑨	汚水樹	90Y 100-200	610 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑩	汚水樹	45YS 100-200	660 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹(3cm段差)

※排水管の傾斜（勾配）は排水管の容量（管径）に応じてSHASE-S206の排水管算定表によること。
 ※排水管の口径は、器具排水負荷単位による方法とする。

汚水樹表（住宅⑦）

記号	名称	大きさ	深さ	樹蓋	備考
①	汚水樹	90L 100-200	340 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
②	汚水樹	90L 100-200	480 H	防護蓋(T-2)	小口径樹
③	汚水樹	90Y 100-200	620 H	防護蓋(T-2)	小口径樹
④	汚水樹	90L 100-200	680 H	防護蓋(T-2)	小口径樹
⑤	汚水樹	90Y 100-200	780 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑥	公共樹		800 H		
⑦	汚水樹	90L 100-200	650 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑧	汚水樹	90Y 100-200	670 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑨	汚水樹	90Y 100-200	690 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑩	汚水樹	45YS 100-200	740 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹(3cm段差)

※排水管の傾斜（勾配）は排水管の容量（管径）に応じてSHASE-S206の排水管算定表によること。
 ※排水管の口径は、器具排水負荷単位による方法とする。

汚水樹表（住宅⑧）

記号	名称	大きさ	深さ	樹蓋	備考
①	汚水樹	90L 100-200	440 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
②	汚水樹	90L 100-200	580 H	防護蓋(T-2)	小口径樹
③	汚水樹	90Y 100-200	720 H	防護蓋(T-2)	小口径樹
④	汚水樹	90Y 100-200	780 H	防護蓋(T-2)	小口径樹
⑤	公共樹		800 H		
⑥	汚水樹	90L 100-200	570 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑦	汚水樹	90Y 100-200	590 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑧	汚水樹	90Y 100-200	610 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹
⑨	汚水樹	45YS 100-200	660 H	塩ビ蓋(ライト)	小口径樹(3cm段差)

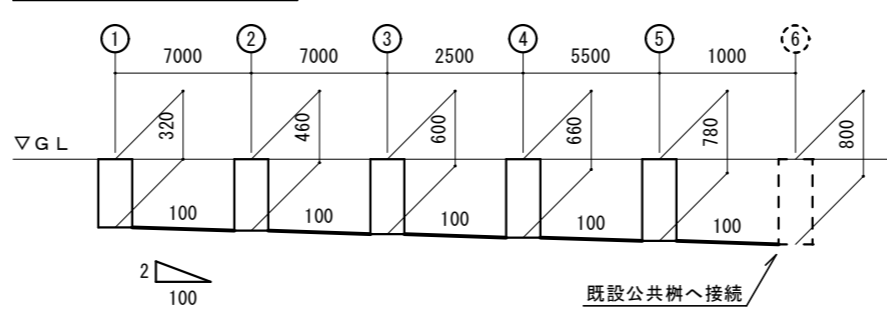
※排水管の傾斜（勾配）は排水管の容量（管径）に応じてSHASE-S206の排水管算定表によること。
 ※排水管の口径は、器具排水負荷単位による方法とする。

雨水樹表（住宅①・②・③・④・⑦・⑧共通）

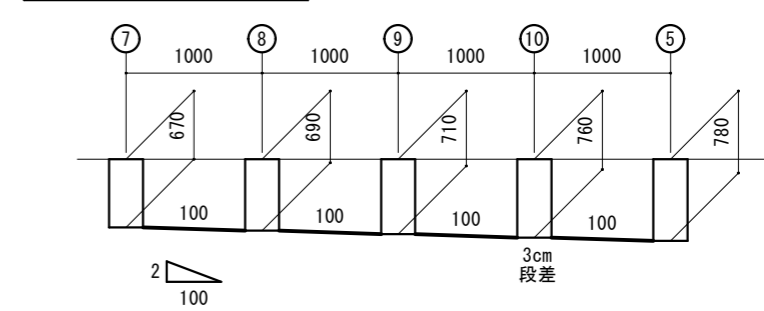
記号	名称	大きさ	深さ	樹蓋	備考
A	雨水樹	90L 100-200	600 H	防護蓋(T-2)	小口径樹
B	雨水樹	90Y 100-200	760 H	防護蓋(T-2)	小口径樹

※雨水樹・トラップ樹は泥溜り150mm以上設けること。

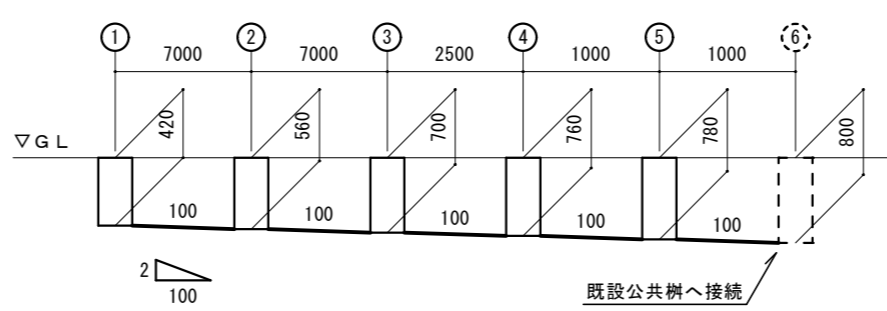
汚水勾配図（住宅①、③）



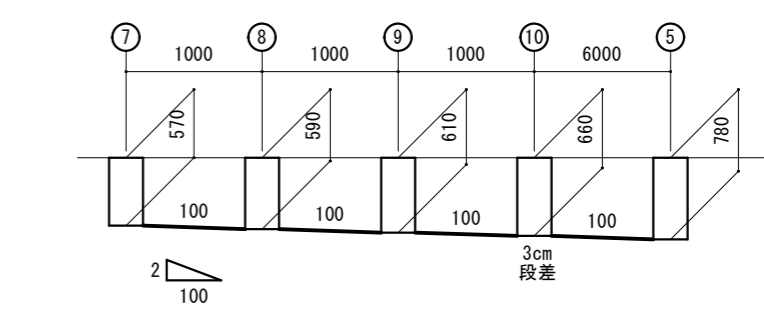
汚水勾配図（住宅①、③）



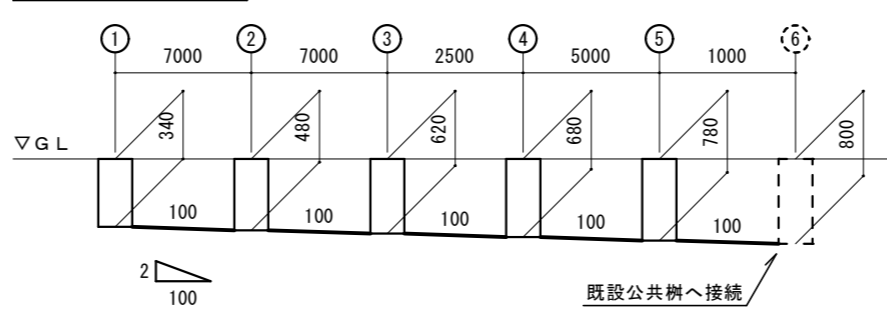
汚水勾配図（住宅②、④）



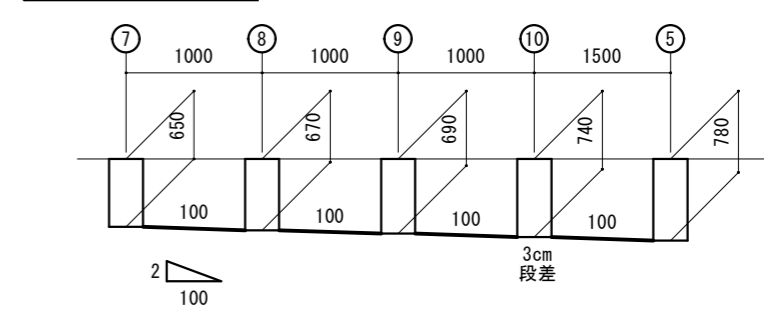
汚水勾配図（住宅②、④）



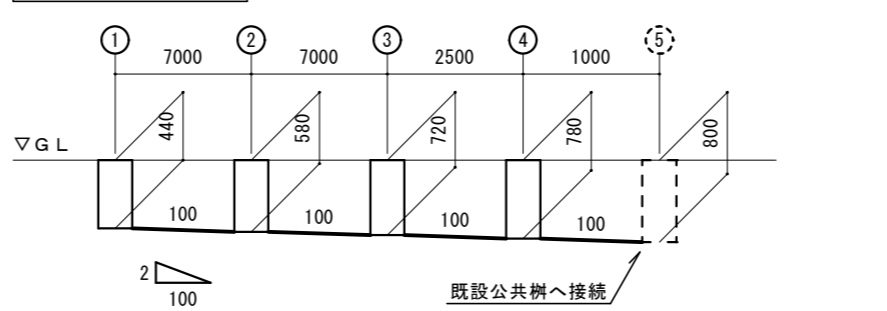
汚水勾配図（住宅⑦）



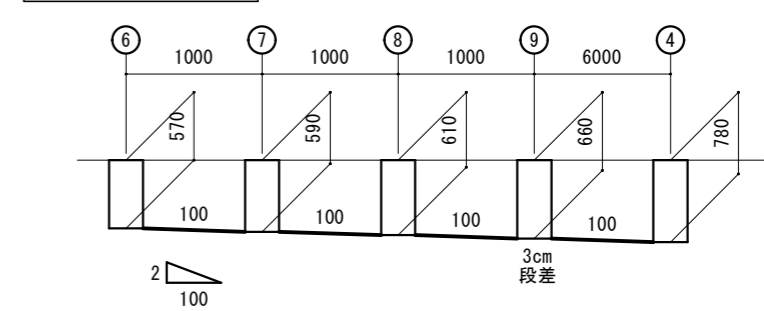
汚水勾配図（住宅⑦）



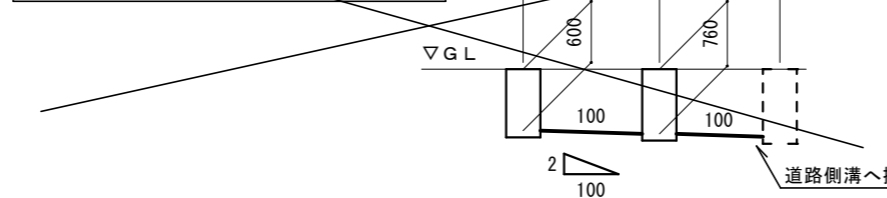
汚水勾配図（住宅⑧）



汚水勾配図（住宅⑧）



雨水勾配図（住宅①・②・③・④・⑦・⑧共通）



有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所 23(1) 1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成

担当

工事名称

刈屋口公営住宅改築工事（3工区）

日付
令和7年度

製図

図面名称

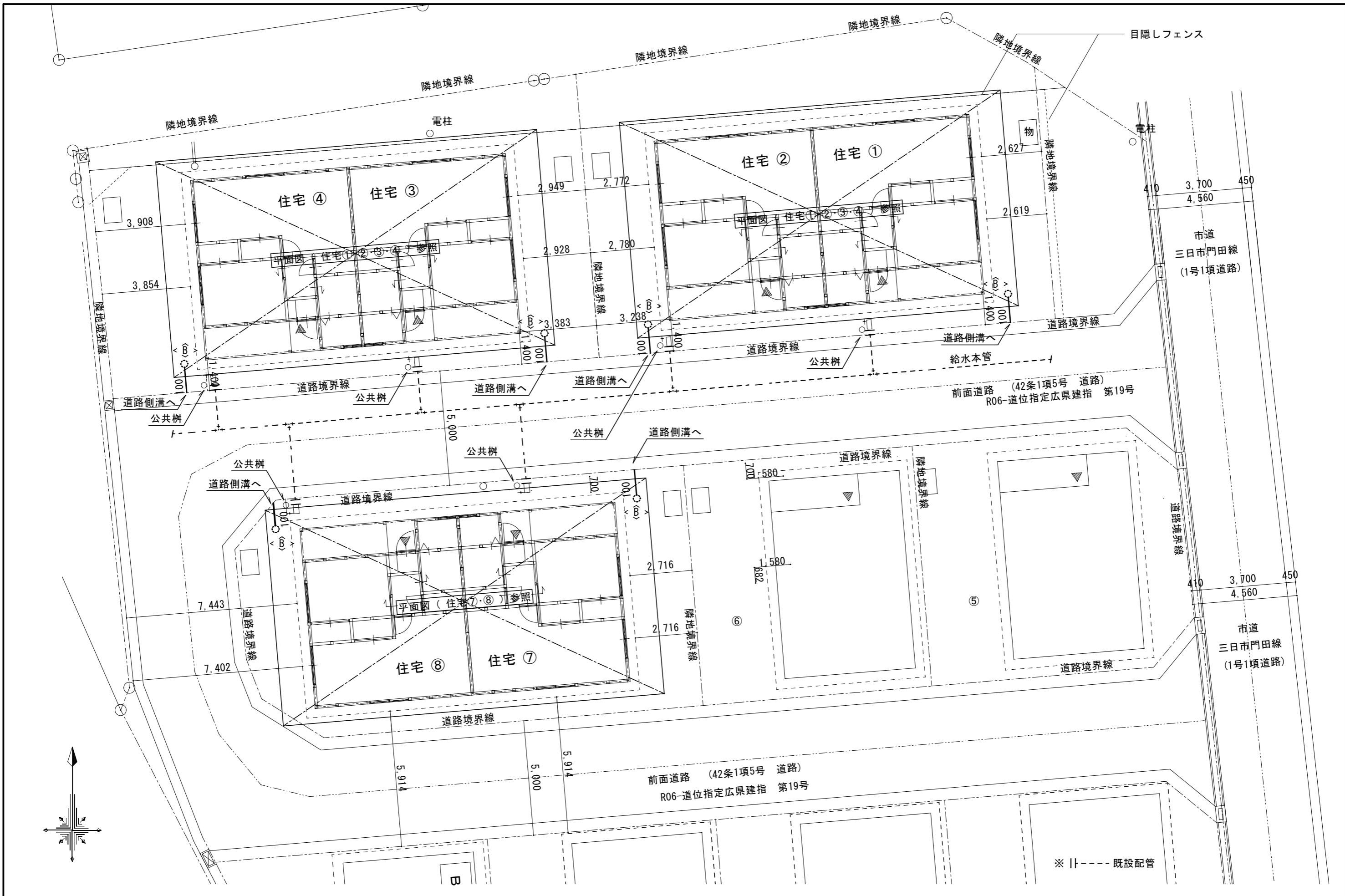
樹表・勾配図

縮尺

S=N:S

図番

M-03



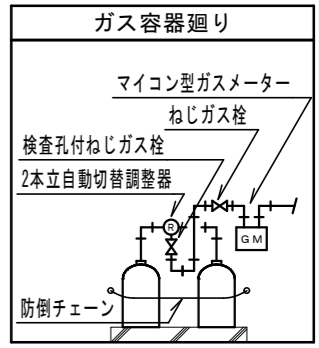
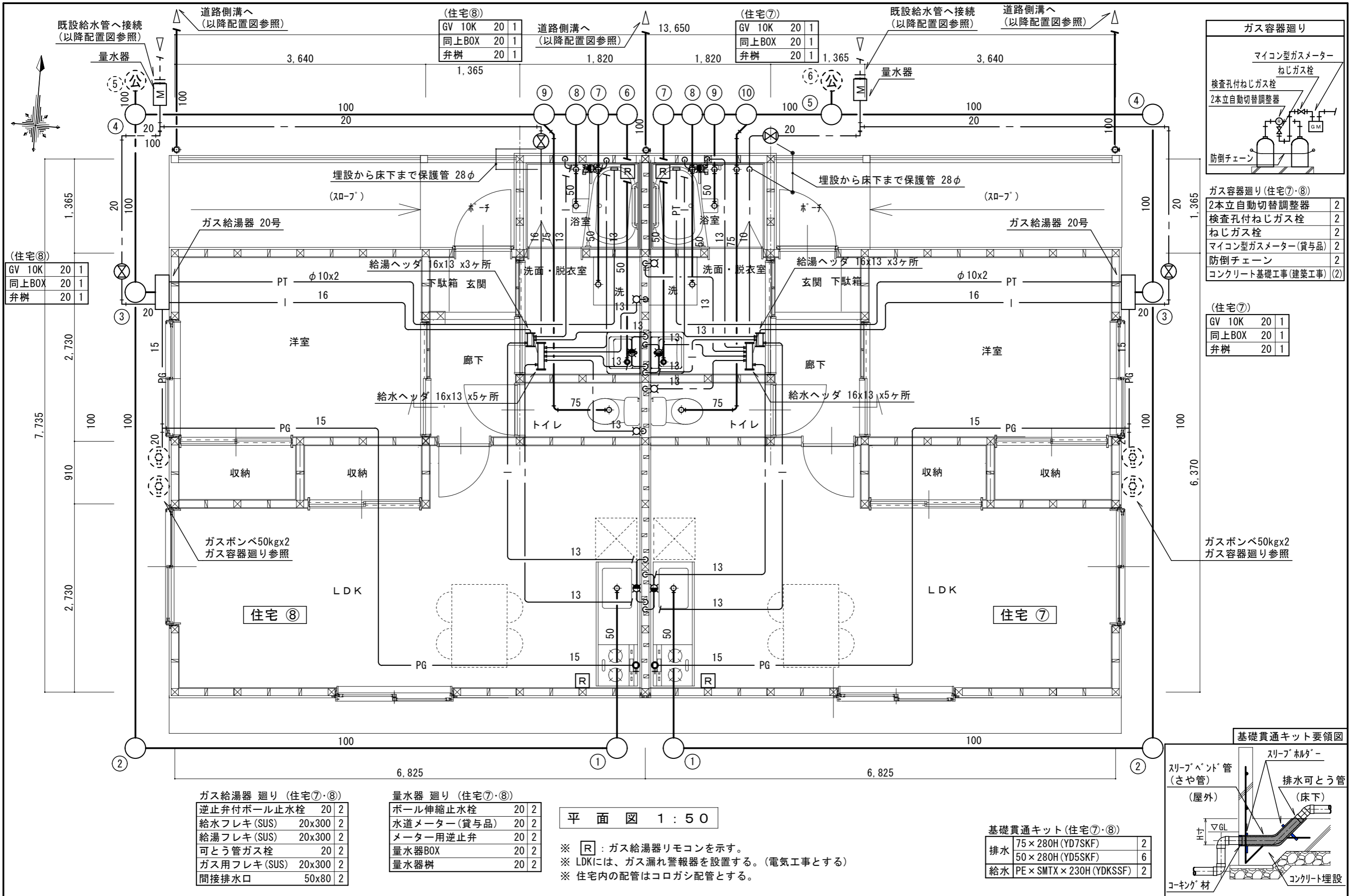
有限会社 谷口設計事務所
 一級建築士事務所 23(1) 1191号
 一級建築士 第257054号 竹中 哲成

担当
 製図

工事名称
 刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)
 図面名称
 機械設備配置図

縮尺
 S=1:150

日付
 令和7年度
 図番
 M-04



ガス容器廻り (住宅⑦・⑧)

2本立自動切替調整器	2
検査孔付ねじガス栓	2
ねじガス栓	2
マイコン型ガスメーター(貸与品)	2
防倒チェーン	2
コンクリート基礎工事(建築工事)	(2)

(住宅⑦)

GV 10K	20	1
同上BOX	20	1
弁柵	20	1

ガスポンベ50kgx2
ガス容器廻り参照

ガス給湯器 廻り (住宅⑦・⑧)

逆止弁付ボール止水栓	20	2
給水フレキ(SUS)	20x300	2
給湯フレキ(SUS)	20x300	2
可とう管ガス栓	20	2
ガス用フレキ(SUS)	20x300	2
間接排水口	50x80	2

量水器 廻り (住宅⑦・⑧)

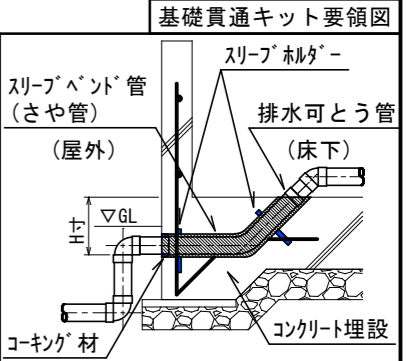
ボール伸縮止水栓	20	2
水道メーター(貸与品)	20	2
メーター用逆止弁	20	2
量水器BOX	20	2
量水器柵	20	2

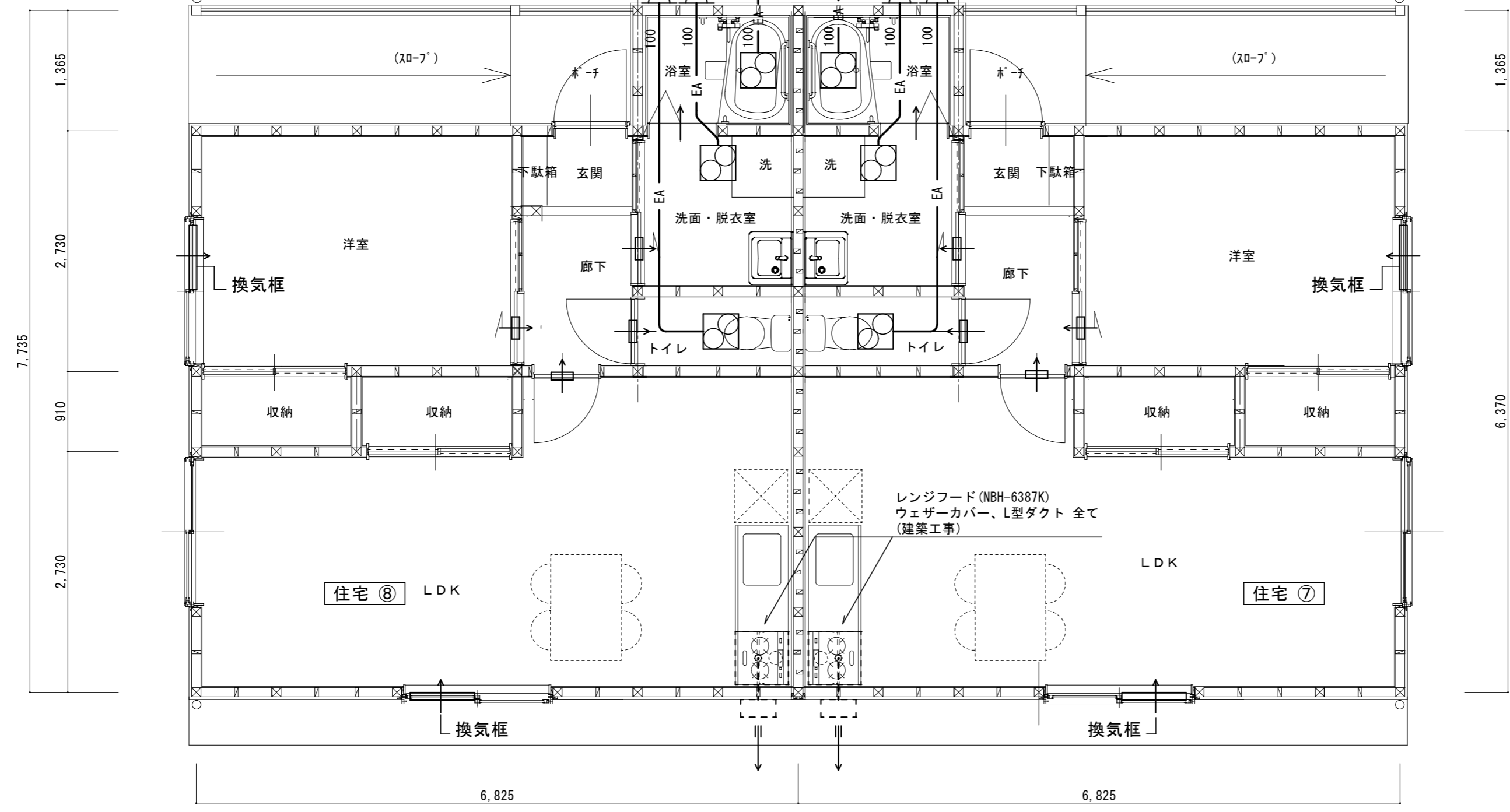
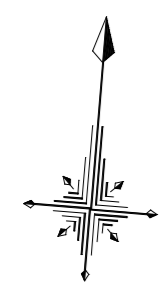
平面図 1:50

※ [R] : ガス給湯器リモコンを示す。
 ※ LDKには、ガス漏れ警報器を設置する。(電気工事とする)
 ※ 住宅内の配管はコロガシ配管とする。

基礎貫通キット(住宅⑦・⑧)


排水	75×280H(YD7SKF)	2
	50×280H(YD5SKF)	6
給水	PE×SMTX×230H(YDKSSF)	2





平面図 1:50

※ は、シックハウス対策機器を示す。
 ※ は、アンダーカットを示す。

	 有限会社 谷口設計事務所 一級建築士事務所 23(1)1191号 一級建築士 第257054号 竹中 哲成	担当 工事名称 刈屋口公営住宅改築工事 (3工区)	日付 令和7年度
		製図 図面名称 換気設備 平面図	縮尺 S=1:50